NTT docomo

XPERIA 1 Ⅷ SO-51G

取扱説明書

はじめに

「SO-51G」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末には視覚に障がいのある方にご利用いただけるように、画面上の情報などを読み上げるTalkBack機能があります。
機能をオンにするには音量ボタン（＋）と音量ボタン（－）を同時に3秒以上押してください。解除も同様です。なお、あらかじめTalkBackショートカットの設定が必要です。
TalkBackの設定については「ユーザー補助」（P.189）をご確認ください。

取扱説明書について

●**『クイックスタートガイド』（本体付属品）**
各部の名称と機能について説明しています。

●**『取扱説明書』（PDFファイル）**
機能の詳しい案内や操作について説明しています。ドコモのホームページでダウンロードできます。

❖注意

- SO-51Gに関する重要なお知らせを次のホームページに掲載しております。ご利用の前に必ずご確認ください。
  https://www.sony.jp/xperia/support/

操作説明文の表記について

本書では、キーアイコン（P.50）を◁、○、□と表記しています。
また、ボタン操作や画面に表示されるアイコン・項目の選択操作などを次のように表記して説明しています。

表　記	操作内容
シャッターボタンを1秒以上押す	本体側面のシャッターボタンを1秒以上押す
ホーム画面で →⋮をタップ	ホーム画面でをタップして、次に表示された画面で⋮をタップする
ホーム画面で →［設定］→［画面設定］	ホーム画面でをタップして、次に表示された画面で「設定」を、さらに表示された画面で「画面設定」をタップする
アイコンをロングタッチ	画面上のアイコンを長めに（1～2秒間）触れたままにする

❖ お知らせ

- 本書においては、「SO-51G」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定の操作について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 本書はホームアプリが「ドコモホーム（docomo LIVE UX）」の場合で説明しています（P.73）。別のアプリを設定している場合などは、操作手順が説明と異なることがあります。
- 本端末の対応SIMはnanoSIMカードです。以降「SIMカード」と記載します。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

- SO-51G本体



- クイックスタートガイド

本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
https://onlineshop.docomo.ne.jp/products/accessories/list

目次

■本体付属品 1

注意事項 4

本端末のご利用について 4
安全上のご注意（必ずお守りください） 6
取り扱い上のご注意 16
防水／防塵性能 23

ご使用前の準備 29

各部の名称と機能 29
SIMカード 31
microSDカード 33
充電 36
電源を入れる／切る 42
初期設定 43
本端末で利用する暗証番号について 46

基本操作 49

基本操作 49
文字入力 54
画面表示とアイコン 60
タスクマネージャ 66
分割画面 67
ポップアップウィンドウ 68
片手モード 70
情報を検索する 71

ホーム画面 73

ホームアプリの切り替えかた 73
docomo LIVE UX 73
Xperiaホーム画面 80
かんたんホーム画面 83
アプリ画面 87
アプリ一覧 89

電話／電話帳 95

電話をかける／受ける 95
通話中の操作 100
通話履歴 101
電話の設定 104
電話帳 105

メール／ウェブブラウザ ... 110

ドコモメール 110
＋メッセージ 110
メッセージ 116
Gmail 117
緊急速報「エリアメール」 118
Chrome 119

カメラ／フォト 124

カメラ 124
フォト 130

アプリ 131

dメニュー 131
Playストア 131
おサイフケータイ 132
ミュージック 136
位置情報サービスについて 137
スケジュール 139
時計 141

本体設定 143

設定メニューを表示する 143
Google 144
ネットワークとインターネット 144
接続設定 157
アプリ 158
通知 161
音設定 162
モード 165
画面設定 165
壁紙とスタイル 168
ストレージ 169
バッテリー 170
システム 171
デバイス情報 177
セキュリティ 178
プライバシー 183
位置情報 185
ドコモのサービス／クラウド 186
パスワードとアカウント 187
Digital Wellbeing、保護者による使用制限 188
安全性と緊急情報 189
ユーザー補助 189

ファイル管理 192

ストレージ構成 192
ファイル操作 192

データ通信 194

Bluetooth機能 194
docomo Starlink Direct 198

外部機器接続 199

パソコンとの接続 199

海外利用 201

国際ローミング（WORLD WING）の概要 201
海外で利用可能なサービス 201
海外でご利用になる前に 202
滞在先で電話をかける／受ける 205
国際ローミングの設定 207
帰国後の確認 208

付録 209

トラブルシューティング 209
ソフトウェアアップデート 217
保証とアフターサービス 220
主な仕様 223
認証および準拠について 224
携帯電話機の電波防護への適合性について 225
Radio-Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information 228
FCC Statement for the USA 231
FCC ID 232
輸出管理規制について 232
知的財産権について 233

索引 236

注意事項

本端末のご利用について

- 本端末は、5G・LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しているSIMロックが設定されていない端末です。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリアおよび LTEサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが◢の状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合があります。
- LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- SIMカードとeSIMの同時利用については、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ユーザーやゲストが利用できる機能の利用により発生したお客様、または第三者の損害やトラブルに関して、当社としては一切の責任を負いかねます（P.175）。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねます。
- ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。

- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 初期設定にて、ドコモが提供するアプリが自動的にインストールされる場合があります。その際、モバイルネットワークをご利用の場合にはパケット通信料が発生する可能性があります。アプリはお客様から事前に同意をいただき当社に提供いただいたお客様の情報およびその他の当社が保有しているお客様の情報を用いてお客様のニーズを推測し自動的に選定されます。お客様の情報の取り扱いについては当社プライバシーポリシーに定めるとおり適正に管理します。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi®通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや内部ストレージの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください（P.180）。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありません。

- 本端末は有機ELディスプレイを使用しています。長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止のため、長時間同じ画像を表示し続けないようにしてください。
- 画面の明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変化する場合があります。また、見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ **ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。**

■ **ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。**

■ **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ **次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1. 本端末、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、SIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険


禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れたり濡らさないでください。
また、濡れた状態や風呂場、加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.23「防水／防塵性能」

禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意いただきたい例

- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む

禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

本端末の背面パネルは取り外せません。取り外そうとしないでください。また、内蔵電池の膨れなどにより本端末が膨れている場合も、背面パネルを取り外そうとしたり、無理に押し込まないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりや砂などが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

ワイヤレスチャージャーや本端末に金属製のもの（金属を含む材質のシール、ストラップ、クリップなど）を貼り付けたり、間に挟まないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、本端末に装着しているカバーなどは取り外してください。

カバーの材質や厚み、本端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
・電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く。
・本端末の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意



破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
⇒P.23「防水／防塵性能」



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



乳幼児の手の届く場所、および、ペットが触れる場所に置かないでください。
SIMカード／microSDカードトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴やゲームなど、継続しての使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

2. 本端末の取り扱いについて

⚠危険


禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告


禁止

ライト／フラッシュの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障がいなどの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。


禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。


禁止

本端末内のSIMカード／microSDカードトレイ挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やステープラーの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、SIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。


指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障がいの原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



ディスプレイ部や背面パネル、カメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意



モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。


禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。


指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。


指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
⇒P.15「材質一覧」


指示

本端末の受話口／セカンドスピーカー部（正面中央上）、メインスピーカー部（背面左下）、バイブレータ部（背面右上）、メインカメラ部（正面右上から中央上、背面左上から中央上）に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やステープラーの針など）が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。


指示

子供や監督を必要とする方などの手の届くところに置かないでください。
本端末は磁石を使用しています。磁石を飲み込むと、窒息の危険性や腸などを傷つけ深刻な症状を引き起こすおそれがあります。磁石を飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。


指示

医療機器に近づけないでください。
本端末は磁石を使用しているため、ペースメーカ、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与えるおそれがあります。本端末をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本端末のご使用前に担当医師にご相談ください。


指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3. アダプタ、ワイヤレスチャージャーの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタやワイヤレスチャージャーのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタやワイヤレスチャージャーには触れないでください。
感電などの原因となります。

禁止

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

アダプタやワイヤレスチャージャーのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。
また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、ワイヤレスチャージャーに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意



コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

4. SIMカードの取り扱いについて

⚠注意



SIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合、もしくは装着している方が周囲にいる可能性がある場合は、装着部から本端末を15cm以上離れるように携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。身動きが自由にとれないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6. 材質一覧

■ 本体

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース（上部、下部、側面部、音量ボタン／ズームボタン（＋／－）、シャッターボタン、カメラリング（メインカメラ周辺部））	アルミニウム合金	アルマイト処理
外装ケース（アンテナのカバー）	ポリカーボネート樹脂	塗装
外装ケース（アンテナスリット部、USB Type-C™接続端子部、ヘッドセット接続端子（3.5mmオーディオジャック）部）	PBT樹脂（ガラス繊維入り）	—
外装ケース（SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバー）	ポリカーボネート樹脂（ガラス繊維入り）	塗装
ライト／フラッシュレンズ、照度センサー（背面）のレンズ	ポリカーボネート樹脂	—
透明板（ディスプレイ、背面パネル）	強化ガラス	AFP処理
透明板（メインカメラレンズ）	強化ガラス	AFP処理＋AR処理
電源ボタン／指紋センサー	エポキシ樹脂	塗装
受話口／セカンドスピーカー（上部）メッシュ	ポリエステル樹脂	染色

使用箇所	材質	表面処理
SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーのゴムパッキン	シリコンゴム	—
SIMカード／microSDカードトレイ	ポリカーボネート樹脂（ガラス繊維入り）＋ステンレス合金	PVD処理

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**

  アダプタ、SIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となりますのでご注意ください。
- **破損や変形など、外観上に異常がみられた場合は、防水／防塵性能が維持できない場合があります。その場合は、「保証とアフターサービス」（P.220）をご確認の上、お問い合わせください。**
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - 端子や各センサーなどが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
  指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
  充電は5℃～35℃の範囲でしていただき、風呂場や湿度の高い場所では充電しないでください。
- **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本端末についてのお願い

- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーを閉じた状態でご使用ください。**
  水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
  指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。

- **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
  また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- **本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。**
  近接センサー／照度センサー、背面の照度センサーを使用する各種機能が動作しない、ワイヤレスチャージャーで充電できないなど、正常に動作しない場合があります。
  近接センサー／照度センサー、背面の照度センサーの位置は、以下をご参照ください。
  ⇒P.29「各部の名称と機能」
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

  なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

■ アダプタ、ワイヤレスチャージャーについてのお願い

- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **ワイヤレスチャージャーを使用する場合は、以下のことをしないでください。**
  - 指定の機器や専用ACアダプタ以外の使用
  - 本端末にアダプタやUSBケーブルを接続している状態での使用
  - 磁気カードや磁気を帯びたものを近づける
- **交通系ICカードなどの非接触ICカードは、ワイヤレスチャージャーやワイヤレス充電中の端末に近づけないでください。**
  非接触ICカードの破損の原因となります。

SIMカードについてのお願い

- **SIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- **環境保全のため、不要になったSIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **SIMカードに以下のことをしないでください。**
  - 曲げたり、重いものをのせる
  - ラベルやシールなどを貼った状態で本端末に取り付ける

Bluetooth®機能を利用する場合のお願い

- **本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **周波数帯について**
  本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。



2.4： 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。

FH/XX/DS/OF： 変調方式がFH-SS、その他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。

4： 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

8： 想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

▬ ▬ ▬ ： 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国／地域により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- **Bluetooth機器使用上の注意事項**

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
- その他、ご不明な点につきましては、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

■ 無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。**
- **無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **本端末で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報や注意事項をご確認いただくことができます。**

ホーム画面で⊞→［設定］→［デバイス情報］→［認証］

- **無線LANについて**

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。

- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

- **2.4GHz機器使用上の注意事項**

  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

  - この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  - その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

- **5GHz機器使用上の注意事項**

  本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を利用できます。

  - 5.2GHz帯（W52／36、40、44、48ch）
  - 5.3GHz帯（W53／52、56、60、64ch）
  - 5.6GHz帯（W56／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch）

  5.2/5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。

- **6GHz機器使用上の注意事項**

  本端末は、6GHz帯無線LANの周波数帯（6L）を使用できます。本端末が使用するチャネルは以下のとおりです。

  - 6GHz帯（1、5、9、13、17、21、25、29、33、37、41、45、49、53、57、61、65、69、73、77、81、85、89、93ch）

  LPIモードで動作する6GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています。

■ FeliCa®およびNFCリーダー／ライター機能についてのお願い

- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。**
  また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- **航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国／地域によっては利用が制限されている場合があります。**
  その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**

  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク㊣」が本端末の電子銘板に表示されております。
  電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

  ホーム画面で⊞→［設定］→［デバイス情報］→［認証］

  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。**

  法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。**
  海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

■ 音量について（高音圧注意）

- **耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。**



■ 本体温度の上昇について（高温注意）



• 使用中、本端末の表面温度が上昇すると、右のマークが表示されることがあります。右のマークが表示された場合、ディスプレイや背面パネルを含む製品表面が高温になります。継続して触れることがないようご注意ください。やけどの原因となります。

防水／防塵性能

SO-51Gは、SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。

※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。

※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SO-51Gが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
  - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーの開閉はしないでください。
- 汚れたり水道水以外が付着したりした場合に洗い流すことができます。
  - やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
  - 洗うときはSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください（P.27）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 風呂場で使用できます。
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（P.27）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度の変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

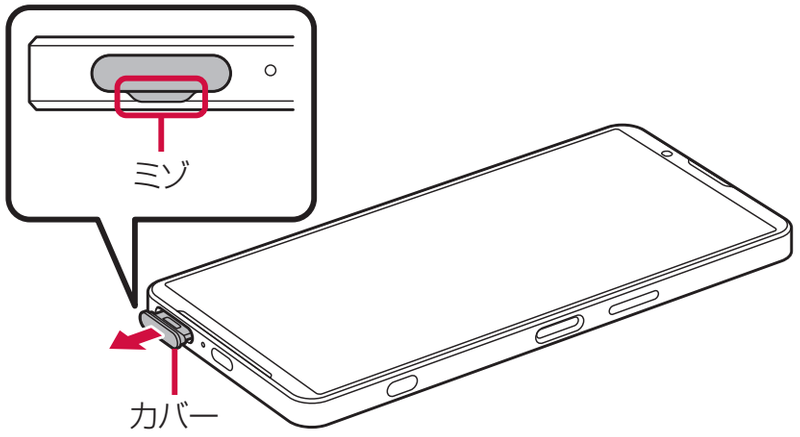
- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 受話口／セカンドスピーカー、送話口／メインマイク、メインスピーカー、セカンドマイク、声優先マイク、ヘッドセット接続端子（3.5mmオーディオジャック）、USB Type-C接続端子などを先の尖ったものでつつかないでください。

- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーの開きかた

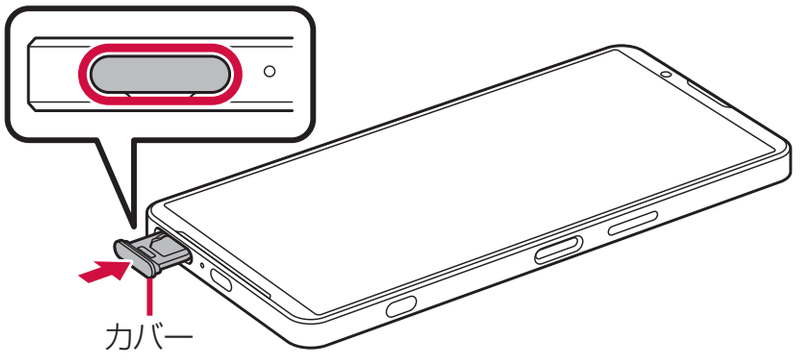
本端末の正面を上にして、下部の左寄りにあるSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のミゾに指先（爪）をかけ、カバーを引き出してください。

- カバーと、SIMカード／microSDカードを取り付けるトレイは一体になっています。



SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーの閉じかた

トレイを奥まで押し込み、本端末とカバーにすき間がないようにカバー全体をしっかりと押してください。



防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点で有料にて承ります。

ご使用にあたっての注意事項

次のような行為は行わないでください。

〈例〉

- 石鹸／洗剤／入浴剤をつける
- ブラシ／スポンジで洗う
- 洗濯機で洗う
- 強すぎる水流を当てる
- 海水につける
- 温泉で使う
- 砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定（P.23）以上の強い水流を直接当てないでください。SO-51GはIPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 受話口／セカンドスピーカー、送話口／メインマイク、メインスピーカー、ヘッドセット接続端子（3.5mmオーディオジャック）に水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。対処については、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて部品をお取り替えください。端末の状態によっては有料での修理となる場合がございますので、ご注意ください。
- 本端末が水で濡れた状態でイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

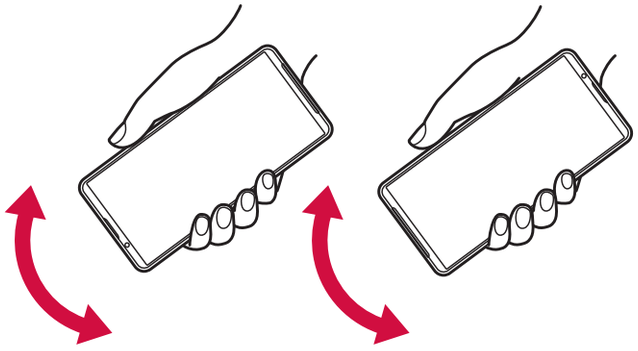
水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1　本端末をしっかりと持ち、正面、背面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

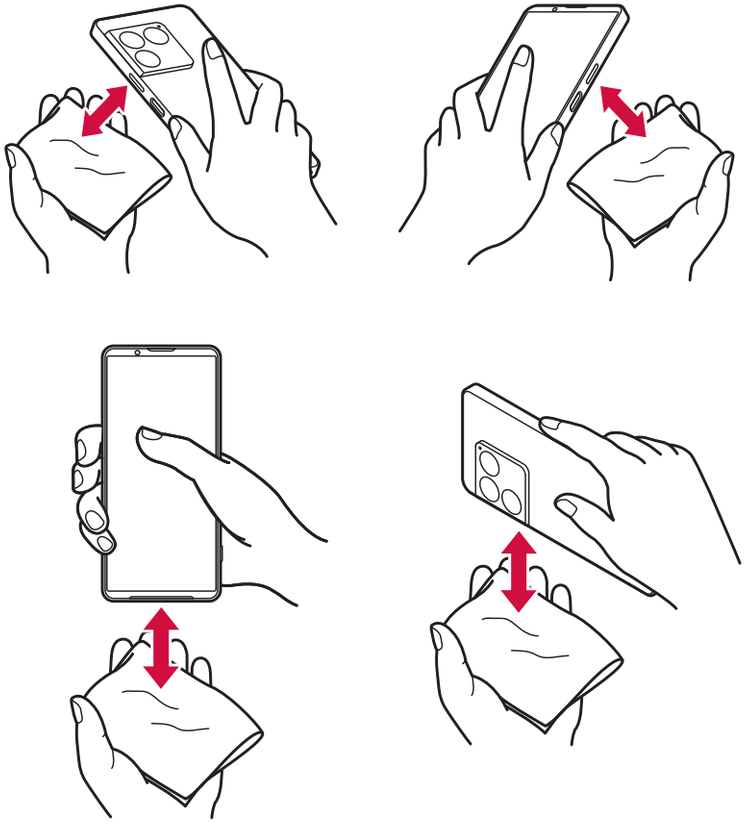


2　本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振り、上下の向きを変え、再度20回程度振る



3　本端末の次の部分やすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取る

- 受話口／セカンドスピーカー
- 送話口／メインマイク
- メインスピーカー
- セカンドマイク
- 声優先マイク
- ヘッドセット接続端子（3.5mmオーディオジャック）
- USB Type-C接続端子
- カメラリング（メインカメラ周辺部）
- 電源ボタン／指紋センサー
- 音量ボタン／ズームボタン（＋／－）
- シャッターボタン
- SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバー



※ 上下の向きを変えて拭き取ってください。

4 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させる
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。
- 常温の環境で約3時間、自然乾燥させてください。

充電のときは

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

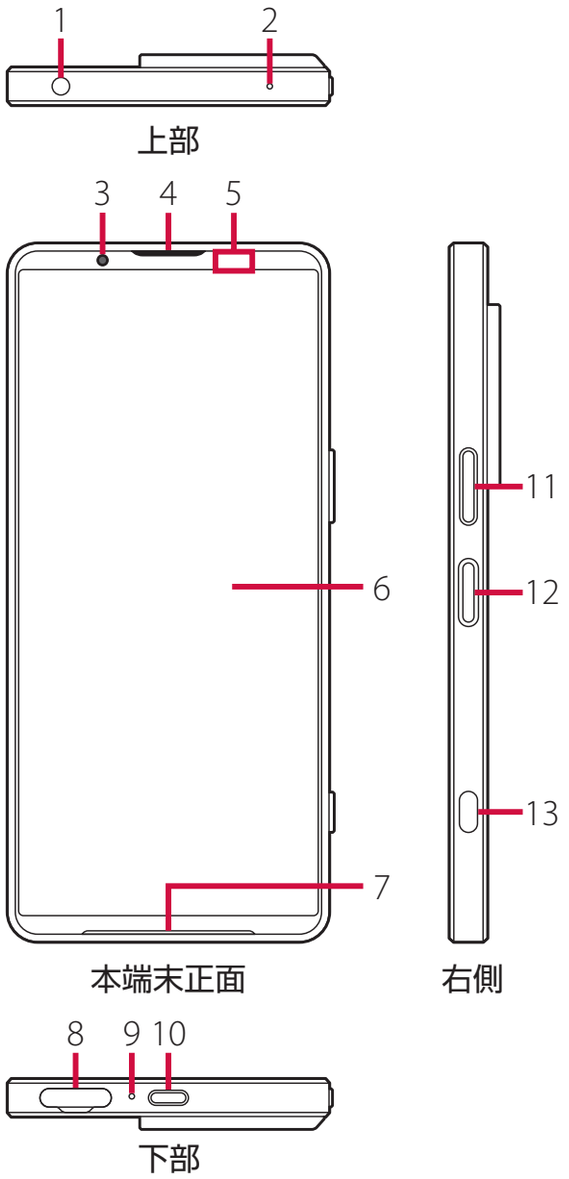
- 充電時は、本端末が濡れていないかを確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- 本端末が濡れている状態では、Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。本端末は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でType-Cプラグを挿入すると、本端末やType-Cプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショートによる異常発熱、故障、火災、やけど、感電などの原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能

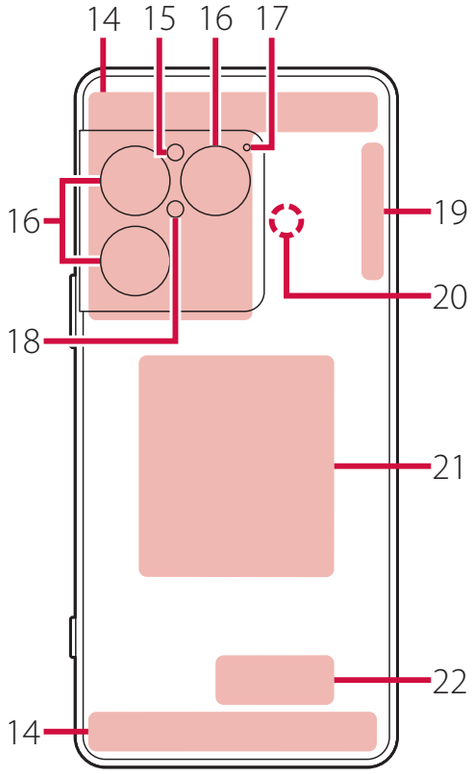
ここでは、本端末を縦に持ったときの正面、上部、下部、右側、背面にある各部の名称と機能について説明します。

- 表面に突起がなく、上部中央に短いミゾ、下部中央に長いミゾがある面を「正面」とします。また、その上側を「上部」、下側を「下部」、右側面を「右側」とします。
- 本端末を縦に持ったとき、左上に正方形状の突起がある面を「背面」とします。



1 ヘッドセット接続端子（3.5mmオーディオジャック）
2 セカンドマイク：動画の撮影時に使用します。
3 フロントカメラ→P.124
4 受話口／セカンドスピーカー
5 近接センサー／照度センサー※1：通話中に顔の接近を検知して誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
6 ディスプレイ（タッチスクリーン）→P.49
7 メインスピーカー

8　SIMカード／microSDカードトレイ
9　送話口／メインマイク
10 USB Type-C接続端子※2：充電時などに使用します。USB Power Deliveryに対応しています。
11 音量ボタン／ズームボタン（＋／－）：各種音量の調節やマナーモードの設定、電源を切るときなどに使用します。
12 電源ボタン／指紋センサー※1：電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するとき、指紋認証を行うときに使用します。1秒以上押すとGeminiを起動できます。
13 シャッターボタン：スクリーンショットの撮影やカメラの起動、写真／動画の撮影に使用します。→P.52、P.125、P.126、P.128



背面

14 5G／4Gアンテナ部※3
15 照度センサー※1：画面の明るさの自動制御に使用します。
16 メインカメラ→P.124
17 声優先マイク：動画の撮影時に使用します。
18 ライト／フラッシュ
19 5G／4G／Wi-Fi／Bluetooth／GPSアンテナ部※3
20 NFC／おサイフケータイかざし位置→P.132
21 ワイヤレス充電位置
22 Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※3

※1 センサー部分にはシールなどを貼らないでください。
※2 DisplayPort対応のUSB Type-Cケーブル（市販品）をつないでテレビや他のディスプレイモニターなどに、本端末の画面を表示できます。また、USB-LANアダプタ（市販品）を使うと、有線LANケーブル（イーサネット）でインターネットへ接続できます。お使いのUSB Type-Cケーブル、USB-LANアダプタ、接続先の機器によっては、正しく動作しない場合があります。
※3 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

❖注意
- 背面パネルは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

SIMカード

SIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

- 本端末では、nanoSIMカードを使用します。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- SIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話、パケット通信などの機能を利用することができません。
- SIMカードについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- SIMカードを取り付ける／取り外すときは、本端末の電源を切ってから行ってください。

SIMカードの暗証番号について

SIMカードには、PINコードという暗証番号があります（P.47）。

❖お知らせ

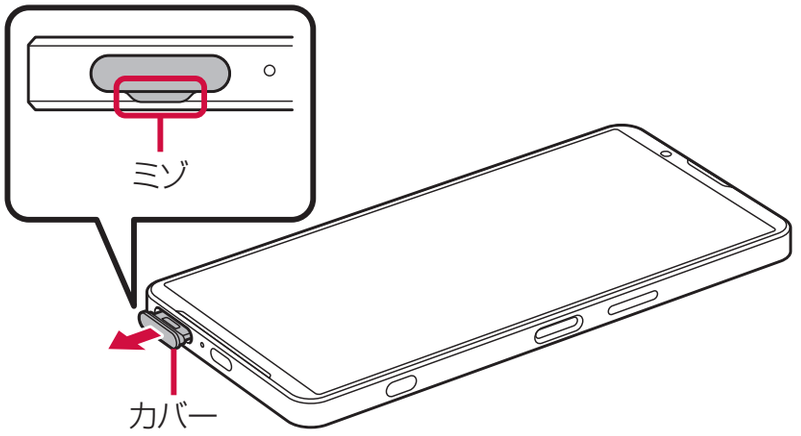
- SIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。

IMEI（端末識別番号）について

SIMカード／microSDカードトレイには、SIMカードを取り付ける面にIMEI（15桁の数字）が2つ刻印されています。上の数字はIMEI（SIMスロット1）、下の数字はIMEI（SIMスロット2）です。

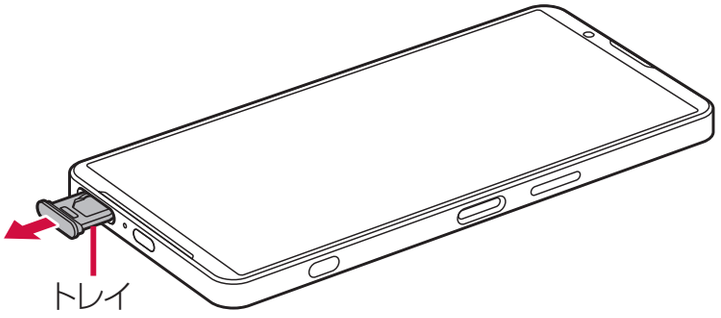
SIMカードを取り付ける

1 本端末の正面を上にして、下部の左寄りにあるSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のミゾに指先（爪）をかけ、カバーを引き出す



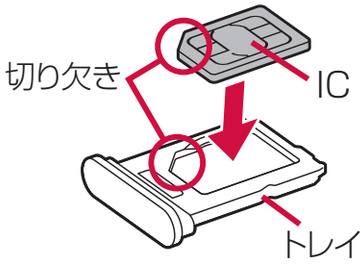
2 **カバーをまっすぐに引き出し、カバーと一体になっているSIMカード／microSDカードトレイを本端末から取り出す**

- 取り出したトレイの上の面にSIMカードを取り付けます。取り付ける面にご注意ください。



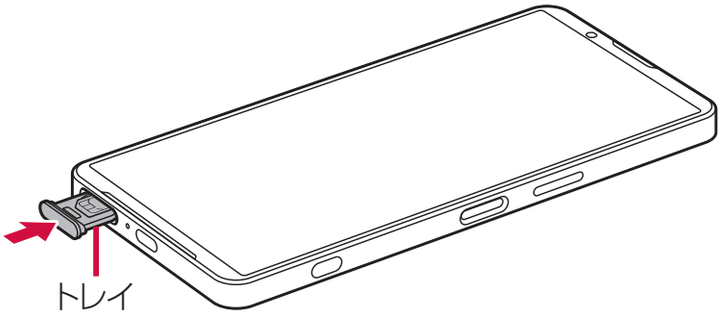
3 **SIMカードのIC面を上にして、切り欠きがカバーのある方向にしてトレイにはめ込む**

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- SIMカードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。

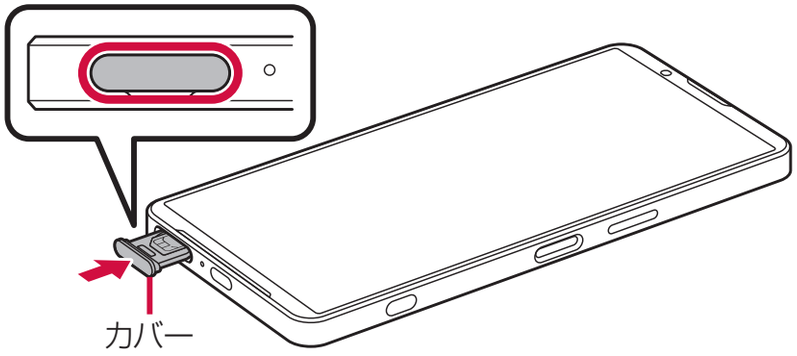


4 **本端末を水平にして、トレイごと本端末に差し込んでまっすぐに押し込む**

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。



5 **トレイを奥まで押し込み、本端末とカバーにすき間がないようにカバー全体をしっかりと押す**



SIMカードを取り外す

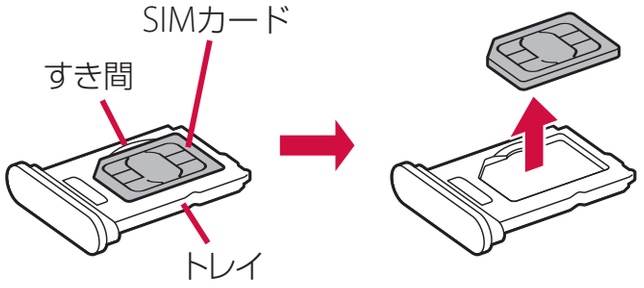
1 **本端末の正面を上にして、下部の左寄りにあるSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のミゾに指先（爪）をかけ、カバーを引き出す**

2 カバーをまっすぐに引き出し、カバーと一体になっているSIMカード／microSDカードトレイを本端末から取り出す

- 取り出したトレイの上の面にSIMカードが取り付けられています。

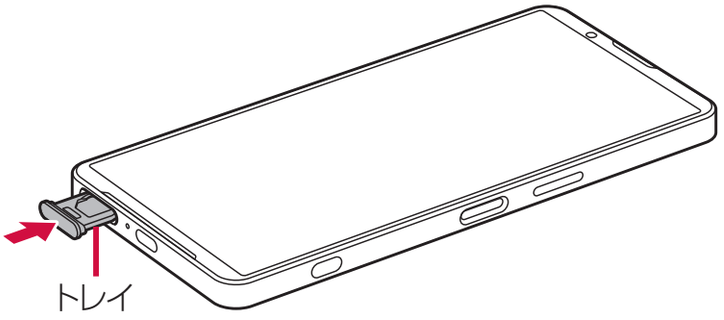
3 トレイからSIMカードを取り出す

- SIMカードとトレイのすき間に指先（爪）をかけて取り出してください。



4 本端末を水平にして、トレイを本端末に差し込んでまっすぐに押し込む

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。



5 トレイを奥まで押し込み、本端末とカバーにすき間がないようにカバー全体をしっかりと押す

microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

- 本端末では市販の2TBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2026年4月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードについては、各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを取り付けると、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、取り付けないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化を行う必要があります（microSDXCカードのデータはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先やコピー元の機器の規格に準拠したカード（microSDHCカードやmicroSDカードなど）をご利用ください。

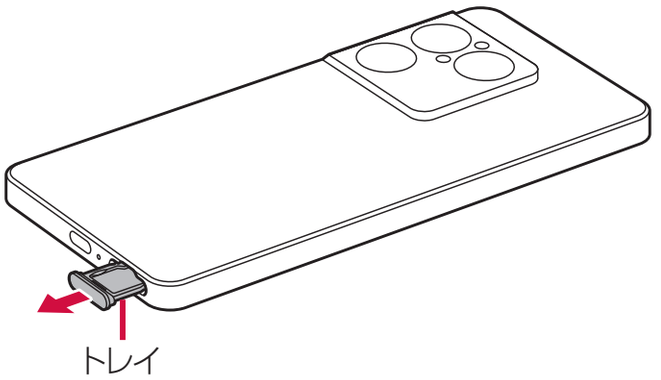
- microSDカードは互換性のある他の機器でも使用できますが、他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示・再生できないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できないことがあります。
- microSDカードを取り付ける／取り外すときは、本端末の電源を切ってから行ってください。

microSDカードを取り付ける

1 本端末の背面を上にして、下部の右寄りにあるSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のミゾに指先（爪）をかけ、カバーを引き出す

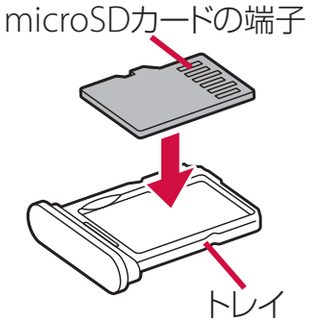
2 カバーをまっすぐに引き出し、カバーと一体になっているSIMカード／microSDカードトレイを本端末から取り出す

- 取り出したトレイの上の面にmicroSDカードを取り付けます。取り付ける面にご注意ください。



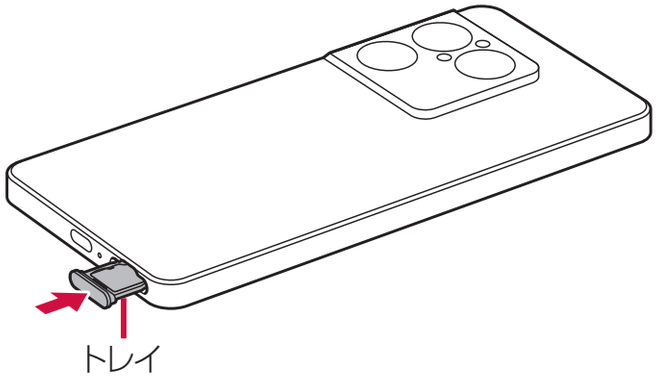
3 microSDカードの端子面を上にして、端子がカバーと反対になる方向にしてトレイにはめ込む

- microSDカードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。



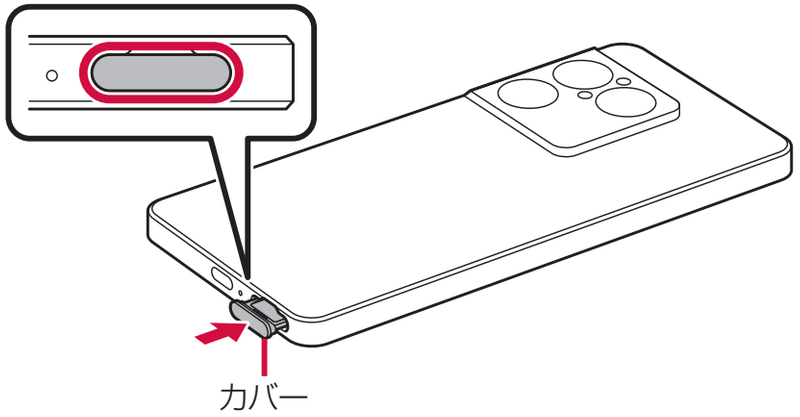
4 **本端末を水平にして、トレイごと本端末に差し込んでまっすぐに押し込む**

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。



5 **トレイを奥まで押し込み、本端末とカバーにすき間がないようにカバー全体をしっかりと押す**

- 本端末の電源を入れると、ステータスバーに[SD]が表示されます。



microSDカードを取り外す

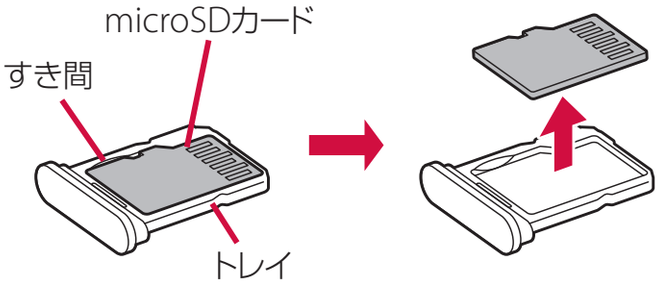
1 **本端末の背面を上にして、下部の右寄りにあるSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のミゾに指先（爪）をかけ、カバーを引き出す**

2 **カバーをまっすぐに引き出し、カバーと一体になっているSIMカード／microSDカードトレイを本端末から取り出す**

- 取り出したトレイの上の面にmicroSDカードが取り付けられています。

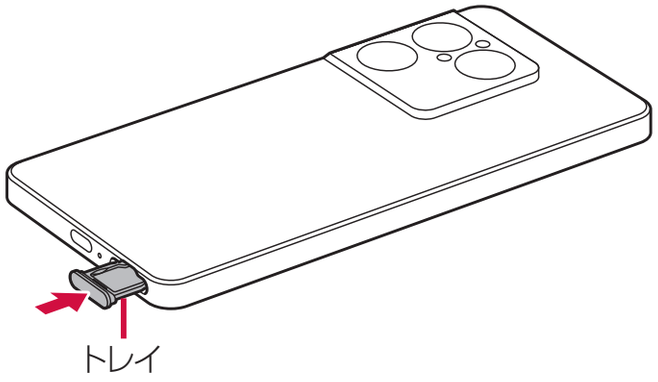
3 **トレイからmicroSDカードを取り出す**

- microSDカードとトレイのすき間に指先（爪）をかけて取り出してください。



4 本端末を水平にして、トレイを本端末に差し込んでまっすぐに押し込む

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。



5 トレイを奥まで押し込み、本端末とカバーにすき間がないようにカバー全体をしっかりと押す

充電

お買い上げ時の内蔵電池は十分に充電された状態ではありません。

- 充電時間の目安について（P.223）

十分に充電したときの使用可能時間（目安）

使用環境や内蔵電池の状態により、本端末を使える時間は異なります。

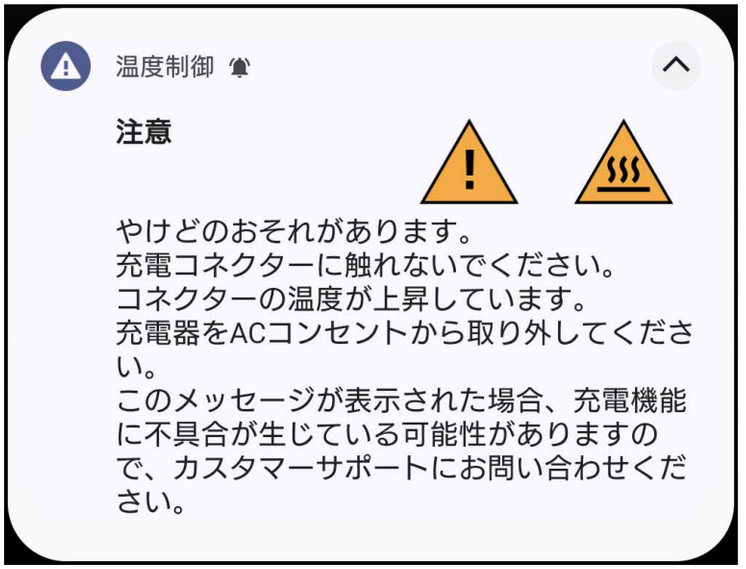
- 使用可能時間の目安について（P.223）

内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。
- 充電しながらアプリの使用や動画撮影などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 内蔵電池の情報は、ホーム画面で→［設定］→［システム］→［デバイス診断］→［コンポーネントの状態］→［バッテリーの状態］をタップして確認できます。

充電について

- 充電にはACアダプタ09M（別売品）またはACアダプタ08（別売品）を使用することをおすすめします。ACアダプタの取り扱いについて詳しくは、ACアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ09MまたはACアダプタ08の対応電圧はAC100Vから240Vです。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電には対応のACアダプタやUSBケーブル、ワイヤレスチャージャーをご使用ください。対応充電器以外をご使用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります。
- ACアダプタやUSBケーブルのプラグは、無理な力がかからないように水平にゆっくり抜き差ししてください。
- 電池残量は、画面上部のステータスバーで確認するか、ホーム画面で→［設定］→［バッテリー］をタップして確認できます。
- 電源オフの状態で充電を開始すると、操作はできませんが充電状況をお知らせする画面が起動します。このため、電源を切る必要がある場所では充電を行わないでください。
- このメッセージが表示された場合、充電機能に異常が発生しております。本端末の利用を停止し、ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理点検を依頼ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。



- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
https://onlineshop.docomo.ne.jp/products/accessories/list

電池の寿命を延ばすには（いたわり充電）

いたわり充電とは、お客様の充電の習慣（充電器に長く接続している時間帯）を学習して充電速度を調節し、電池の性能をより良い状態に保ち、電池の寿命を延ばすための機能です。

1 ホーム画面で→［設定］→［バッテリー］→［いたわり充電］

- いたわり充電画面が表示されます。

2 「いたわり充電の使用」のをタップ

❖お知らせ

- いたわり充電の機能をオフにするには、手順2で「いたわり充電の使用」のをタップします。
- いたわり充電中に通常の充電に切り替えるには、ステータスバーを下にドラッグ→いたわり充電の通知を開く（P.63）→［通常の充電］／［今回のみ100%まで充電］をタップします。
- いたわり充電の時間を手動で設定するには、いたわり充電画面で［手動］をタップします。設定した「開始時刻」と「満充電目標時刻」の間に充電を開始すると、いたわり充電を利用できます。
- いたわり充電画面で［常時］をタップすると、設定した制限容量まで充電を行うように設定できます。制限容量を設定するには、「制限容量」欄をタップ→［80%］／［90%］→［OK］をタップします。
- 「常時」に設定すると、本端末の電源を切った状態で充電をしても、いたわり充電を利用できます。

❖注意

- 習慣の学習の完了には7日以上かかる場合があります。

ACアダプタを使って充電する

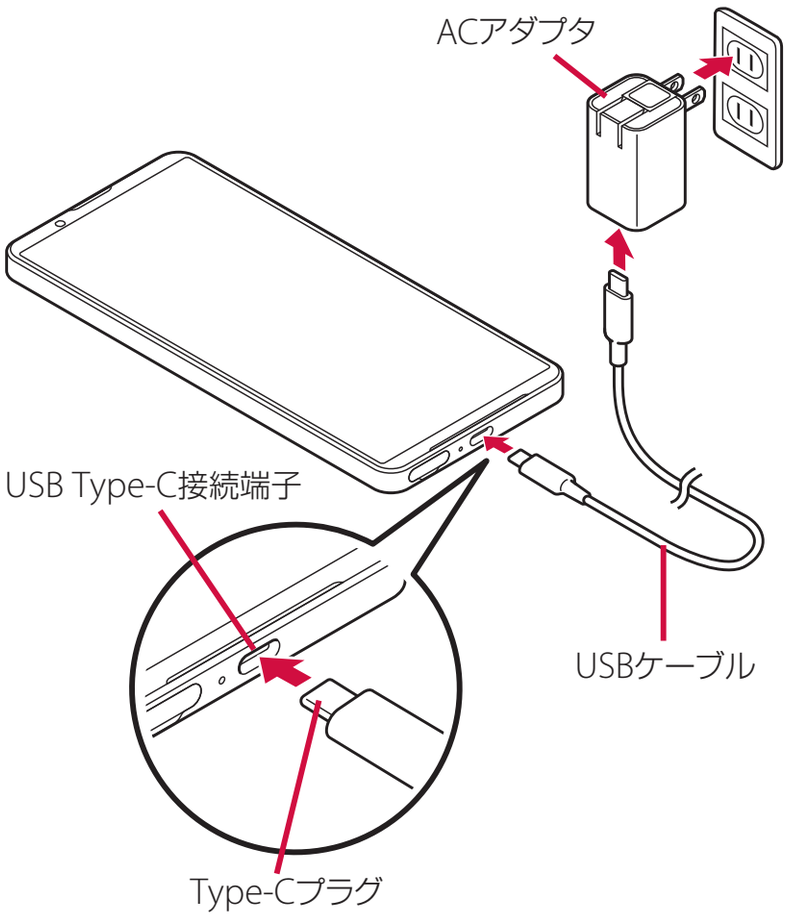
ACアダプタ09M（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

1 ACアダプタに付属されているUSBケーブルのType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

2 USBケーブルのもう一方のType-Cプラグを、ACアダプタのType-Cポートに水平に差し込む

3 ACアダプタの電源プラグを起こしてコンセントに差し込む

- 電源オンの状態で充電を開始すると充電開始音が鳴ります。



4 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、Type-Cプラグを本端末から水平に抜く

❖注意

- ACアダプタのType-Cプラグを無理に接続しないでください。無理に接続すると破損の原因となります。

DCアダプタを使って充電する

DCアダプタは、自動車のアクセサリーソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。
取り扱いについて詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレスチャージャーを使って充電する

ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、製品に付属されている取扱説明書をご覧ください。

- φマークが付いている製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）による無接点充電規格に適合しています。

ワイヤレス充電時のご注意

- 充電時は、本端末のワイヤレス充電位置（P.30）とワイヤレスチャージャーの位置を正しく合わせてください。
- 本端末にカバー（市販品）などを取り付けている場合は、取り外してから充電してください。
- 充電中は、設定などで本端末が振動しないようにしてください。振動により本端末が動くと、充電が完了しなかったり、落下したりするおそれがあります。

- 充電中にテレビやラジオから雑音が聞こえる場合は、テレビやラジオから離れた場所で充電してください。
- 周辺に他の無接点充電対応機器がある場合は、30cm以上離してください。本端末が正しく検出されず、充電ができない場合があります。
- 充電中は通話やデータ通信、テレビの受信状態が悪くなることがあります。
- 本端末とワイヤレスチャージャーの間に金属の異物が入らないようにご注意ください。異物が発熱するおそれがあります。
- 本端末とワイヤレスチャージャーの間にICカードなどを挟まないでください。ICカードが故障するおそれがあります。
- 充電中にカメラを使用すると、画像にノイズが入る場合があります。
- 充電中に本端末を使用すると、本端末の温度上昇を避けるために、充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。

本端末から他の機器を充電する（おすそわけ充電）

本端末のおすそわけ充電機能を利用してQi対応機器を充電できます。

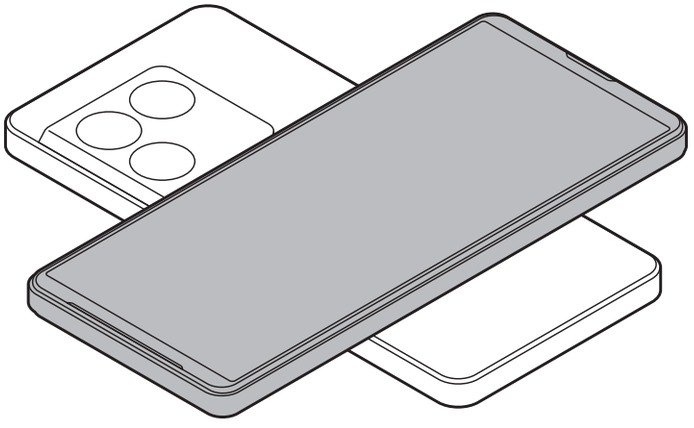
1 ホーム画面で→［設定］→［バッテリー］→［おすそわけ充電］

- おすそわけ充電画面が表示されます。

2 「おすそわけ充電の使用」のをタップ

- 相手機器を重ねる本端末背面の位置を示すマークが表示されます。
- 本端末の電池残量が「電池残量設定」で指定した設定値を下回るか、給電を開始してから「給電タイマー」で設定した時間が経過すると、おすそわけ充電が自動的に停止します。

3 相手機器を本端末背面のマークが表示された位置に重ねる



❖お知らせ

- 次の場合などはおすそわけ充電を利用できません。
  - ワイヤレス充電中
  - カメラの利用中
  - 本体が高温になっているとき
  - USB OTG機器を接続しているとき
- おすそわけ充電は、すべてのQi対応機器への給電を保証するものではありません。
- 本端末にカバー（市販品）などを取り付けている場合は、取り外してからおすそわけ充電を利用してください。

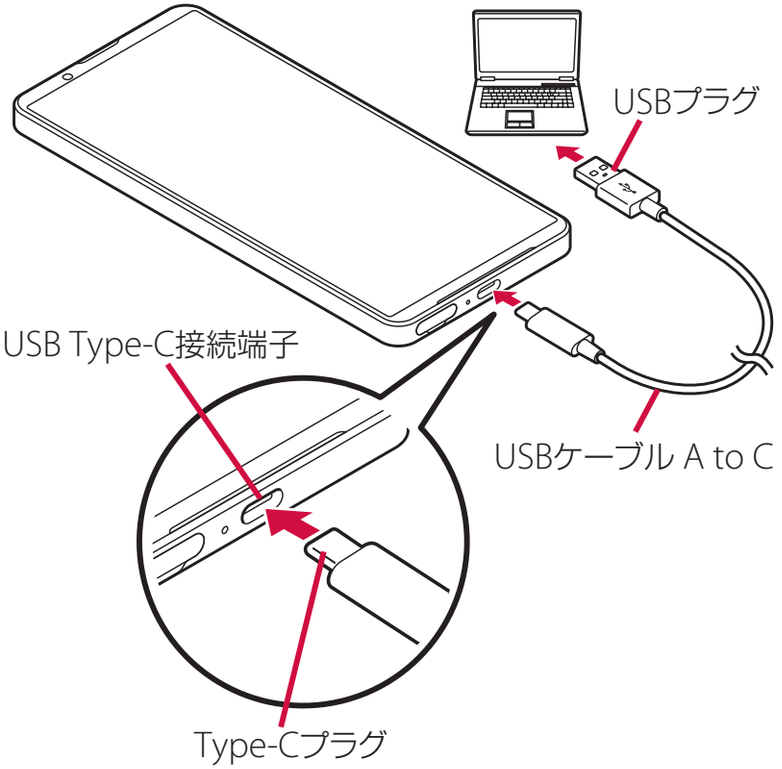
パソコンを使って充電する

本端末をパソコンに接続して充電するには、USBケーブル（市販品）が必要です。
USBケーブル A to C（市販品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

1 USBケーブル A to CのType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

2 USBケーブル A to CのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

- 電源オンの状態で充電を開始すると充電開始音が鳴ります。



- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。

3 充電が完了したら、USBケーブル A to CのUSBプラグをパソコンのUSBポートから抜き、Type-Cプラグを本端末から水平に抜く

❖注意

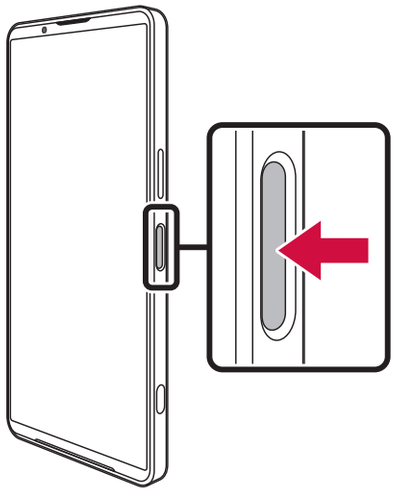
- USBケーブル A to CのType-Cプラグを無理に接続しないでください。無理に接続すると破損の原因となります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 本端末が振動するまで電源ボタンを長押し

- しばらくするとロック画面が表示されます。
- 電源を入れた後に「ようこそ」と表示されたときは、画面の指示に従って初期設定を行います（P.43）。



2 画面ロックを解除

- ホーム画面が表示されます。
- 画面ロックの解除方法について（P.43）

❖お知らせ

- PINコードを設定（P.47）している場合は、PINコード入力画面でPINコードを入力します（P.48）。

電源を切る

1 電源ボタンと音量ボタン（＋）を同時に押す

2 [電源を切る]

- ［再起動］をタップすると、本端末を再起動できます。

スリープモードにする

スリープモードにすると、画面が消灯してディスプレイ（タッチスクリーン）やボタンの誤動作が防止できたり、画面ロックがかかったりします。

1 電源ボタンを押す

- 再度電源ボタンを押すと、スリープモードが解除され、画面が点灯します。

❖お知らせ

- 何も操作せずに「画面自動消灯」（P.165）で設定した時間が経過すると、自動的に画面が消灯してスリープモードになります。
- 設定や操作の状況によっては、スリープモードにした後に時間と情報（P.167）が表示される場合があります。

画面ロックを解除する

ロック画面は、電源を入れたときや、電源ボタンを押してスリープモードを解除したときに表示されます。

- スリープモード中に時間と情報（P.167）が表示されている場合は、電源ボタンを押すとロック画面が表示されます。

1 ロック画面で画面を上にスワイプ（フリック）

❖ お知らせ

- ロック画面でショートカット（P.169）をロングタッチすると、指定した機能を利用できます。
- 画面ロックの解除方法は変更できます（P.180）。
- 指紋を登録すると、指紋認証で画面ロックを解除できます（P.181）。

初期設定

電源を入れた後に「ようこそ」と表示されたときは、画面の指示に従って各機能やサービスなどの初期設定を行います。

1 [開始する]

- ［日本語］をタップすると言語を変更できます。
- ［視覚補助］をタップすると、ユーザー補助機能に関する設定ができます。
- モバイルデータの設定、通話の設定、SMSの設定が表示された場合は、使用する番号を選択してください。
- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行ってください。
  - 別のデバイスを使ったセットアップ
  - ネットワーク接続の設定
  - ご確認いただきたい事項の確認・設定
  - 設定対象（自分用／子供用）の選択
  - Googleアカウントの設定
  - 画面ロックの設定
  - アプリとデータのコピーの操作
  - Googleサービスの設定
  - ブラウザと検索サービスの選択
  - Quick Shareの設定
  - Geminiの設定
  - Google Payの設定

2 ドコモ初期設定画面が表示されたら内容を確認→［次へ］

- 以降は画面の指示に従って以下の確認・設定を行ってください。
  - サービス向上のための情報利用に関するお願い
  - 機能の利用確認
  - dアカウントの設定
  - あんしん設定
  - かんたん一括設定
  - ホームアプリの選択
  - その他のアプリの設定
  - ナビゲーションモード

3 セットアップ完了画面が表示されたら［終了］

❖お知らせ

- 本書では、ナビゲーションモードを「3ボタンナビゲーション」に設定した場合で説明しています。
- 操作の状況などにより、表示される設定などが異なる場合があります。
- 初期設定の完了後、機能の利用確認画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 設定した各機能は後から変更できるものもあります（P.45、P.73、P.146、P.158、P.172、P.173、P.177、P.180、P.181、P.189）。
- オンラインサービスの設定を行う場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください（P.61）。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- 本端末にSIMカードを取り付けていない状態で、初めてeSIMを利用する場合は、Wi-Fiに接続して設定を進めると、eSIMに関する画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。eSIMは初期設定の完了後に設定することもできます（P.150）。
- 初期設定の完了後、通知パネルからデバイスのセットアップについての通知をタップ→画面の指示に従って設定→製品の登録画面で［製品の登録をする］をタップすると、本端末のサポート登録ができます。

Googleアカウントの設定を行う

Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。
初期設定でGoogleアカウントを設定しなかった場合や、別のGoogleアカウントを追加する場合は、次の操作で設定できます。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［パスワードとアカウント］→［アカウントを追加］→［Google］
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ
- 「Googleサービス」画面でバックアップをオンにして登録したGoogleアカウントは、バックアップアカウント（P.171）として登録されます。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ホーム画面で⊞→［設定］→［パスワードとアカウント］→設定したGoogleアカウントをタップ→［アカウントの同期］をタップすると、自動同期を行う項目のオン／オフを設定できます。

dアカウントの設定を行う

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdアカウント対応のサービスやdポイントを利用するときに必要なID／パスワードです。
初期設定でdアカウントを設定しなかった場合は、次の操作で設定できます。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ドコモのサービス／クラウド］→［dアカウント設定］
- dアカウントの説明画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 ［ご利用中のdアカウントを設定］／［新たにdアカウントを作成］
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ
- dアカウントについて詳しくは、手順2で☰→［ヘルプ］をタップしてdアカウント設定のヘルプをご覧ください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。各種暗証番号を用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号には、「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号を使用しないでください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、SIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。

■ 画面ロック用のPIN／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です（P.180）。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ PINコード

SIMカード／eSIMには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.48）。PINコードは、第三者によるSIMカード／eSIMの無断使用を防ぐため、SIMカードを本端末に差し込むたびに、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のSIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード（PUKコード）」（P.47）でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、SIMカード／eSIMがロックされます。その場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

1 **ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］→［セキュリティの詳細設定］→［SIMロック］**

2 **［SIMをロックする］**

- 2つのSIMを同時に利用している場合は、タブをタップしてSIMを選択→［SIMをロックする］をタップします。

3 **PINコードを入力→［OK］**

電源を入れたときにPINコードを入力する

1 **PINコード入力画面で、PINコードを入力**

2 **→をタップ**

❖お知らせ

- 「このSIMを使用する」（P.149）がオフの場合は、「このSIMを使用する」をオンに切り替えたときにPINコード入力画面が表示されます。

PINロックを解除する

1 **PINロック解除コード（PUKコード）を入力→→をタップ**

2 **新しいPINコードを入力→→をタップ**

3 **もう一度新しいPINコードを入力→→をタップ**

PINコードを変更する

- SIMカードロックを設定しているときのみ変更できます。

1 **ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］→［セキュリティの詳細設定］→［SIMロック］**

2 **［SIM PINを変更］**
- 2つのSIMを同時に利用している場合は、タブをタップしてSIMを選択→［SIM PINを変更］をタップします。

3 **現在のPINコードを入力→［OK］**

4 **新しいPINコードを入力→［OK］**

5 **もう一度新しいPINコードを入力→［OK］**

基本操作

基本操作

ディスプレイ（タッチスクリーン）の使いかた

ディスプレイ（タッチスクリーン）利用上のご注意

- ディスプレイ（タッチスクリーン）は指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はディスプレイ（タッチスクリーン）に触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイ（タッチスクリーン）が濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

ディスプレイ（タッチスクリーン）上の操作

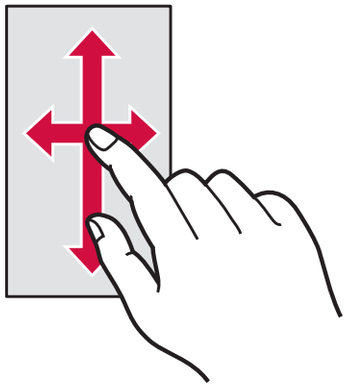
■ **タップ**
アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。
- 2回続けてすばやくタップすることを、ダブルタップといいます。

■ **ロングタッチ**
アイコンやメニューなどの項目に指で長く触れます。

■ **スワイプ（フリック）**
画面に触れて上下または左右にはらうように操作します。

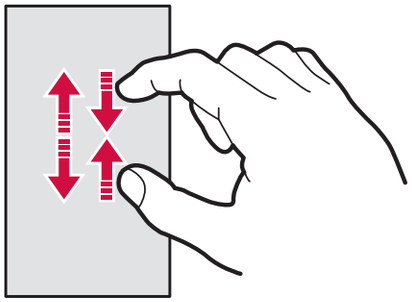
■ **ドラッグ**
画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。

■ **スクロール**
画面内に表示しきれないときなどに、表示内容を上下左右に動かして、表示位置をスクロール（移動）します。



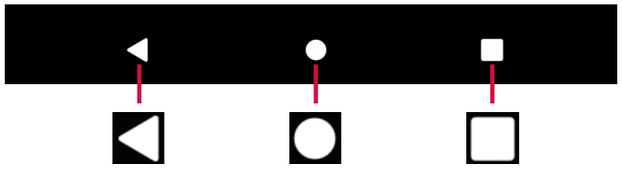
ピンチ

画面に2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）閉じたり（ピンチイン）して、表示の拡大／縮小などを行います。



キーアイコンの基本操作

画面下部に表示されるキーアイコンをタップすると、次の操作ができます。



◁	戻る	直前の画面に戻ります。また、メニューや通知パネルなどを閉じます。
○	ホーム	ホーム画面に戻ります。 ロングタッチすると、かこって検索を利用できます（P.72）。
□	履歴	タスクマネージャを利用できます（P.66）。 また、次の機能を利用することもできます。 • スクリーンショット（P.52） • 分割画面（P.67） • ポップアップウィンドウ（P.68）

※ 本書では、キーアイコンの操作を◁、○、□を使って説明しています。

❖ お知らせ

- 表示中の画面により、キーアイコンの色が異なる場合があります。

縦または横画面表示を自動で切り替える

本端末の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定できます。

1 ホーム画面で→［設定］→［画面設定］

2 「画面の自動回転」のをタップ

❖お知らせ

- 本機能をオフに設定中でも、本端末の向きを変えたときにが表示された場合は、をタップして縦／横画面表示を切り替えることができます。
- 表示中の画面によっては、縦画面または横画面に固定されて表示される場合があります。
- 地面に対して水平に近い状態で本端末の向きを変えると、自動で縦／横画面表示に切り替わらない場合があります。
- クイック設定パネルからも設定できます（P.64）。

マナーモードを設定する

- マナーモード設定中でも、シャッター音、動画撮影時の撮影開始／終了音、アラーム、動画・音楽などの音声は消音になりません。
- マナーモード設定中に「着信音の音量」（P.164）で音量を調節すると、マナーモードは解除されます。
- 音量ボタン（＋／－）を押して表示される音量調節バーで、スライダーを上下にドラッグするとメディアの音量を調節できます。また、をタップすると音量調節の画面が表示され、通話や着信音、通知、アラームの音量も調節できます。

マナーモード（バイブレーション）を設定する

1 音量ボタン（＋／－）を押す
- 音量調節バーが表示されます。

2 →をタップ
- 音量調節バーのアイコンがに変わります。

マナーモード（ミュート）を設定する

1 音量ボタン（＋／－）を押す
- 音量調節バーが表示されます。

2 →をタップ
- 音量調節バーのアイコンがに変わります。

表示されている画面を撮影する

現在表示されている画面の静止画を撮影できます（スクリーンショット）。

- 表示中の画面によっては撮影できない場合があります。

1 撮影する画面で電源ボタンと音量ボタン（ー）を同時に押す

- 静止画が保存され、画面下部にサムネイルとメニューが一定時間表示されます。

❖ お知らせ

- タスクマネージャ（P.66）で［スクリーンショット］をタップすると、表示中のサムネイルの画面を撮影できます。
- シャッターボタンを押しても、表示中の画面を撮影できます（操作状況によっては撮影できない場合があります）。
- サムネイルやメニューをタップすると、静止画を編集したり、Bluetoothやメールなどで送信したりできます。また、サムネイルを左右にスワイプ（フリック）すると、サムネイルとメニューの表示を消すことができます（静止画は削除されません）。
- メニューに「キャプチャ範囲を拡大」が表示された場合は、画像の撮影範囲を変更した静止画を保存できます。撮影範囲を変更するには、［キャプチャ範囲を拡大］→枠をドラッグして範囲を指定→［保存］をタップします。

表示されている画面を録画する

現在表示されている画面の動画を録画できます（スクリーンレコード）。

- 表示中の画面によっては録画できない場合があります。

1 2本の指でステータスバーを下にドラッグ

- クイック設定パネルが表示されます。

2 ［スクリーンレコード］

- 録画開始の確認画面が表示されます。
- 録画の開始前に、録画の対象（1つのアプリを録画／この画面の録画）や「録音」などの設定をしてください。

3 ［次へ］／［画面を録画］

- 録画の対象が「1つのアプリを録画」の場合は、アプリの選択画面が表示されます。録画するアプリを選択してください。
- 録画が開始され、画面上部に XX:XX（「XX:XX」は録画時間）が表示されます。
- 録画を停止する場合は、画面上部の XX:XX →［録画を停止］をタップします。

利用するアプリを選択する

メールを送信するときや画像を表示するときなど、特定の操作で複数のアプリを利用できる場合は、アプリを選択する画面が表示されます。

〈例〉メールを送信するアプリを選択する場合

1 ホーム画面で⊞→［ドコモ電話帳］→連絡先を選択→メールアドレスを選択

- アプリを選択する画面が表示されます。
- デフォルトのアプリが設定されている場合は、「デフォルトの設定をクリア」（P.53）で設定を解除すると、アプリを選択する画面が表示されます。

2 アプリを選択→［1回のみ］／［常時］

- 利用するアプリを毎回確認する場合は「1回のみ」、常に同じアプリを利用する場合は「常時」を選択します。「常時」を選択すると、次回に同じ操作を行ったときにアプリを選択する画面は表示されません。
- 以前に同じ操作で「1回のみ」を選択した場合は、アプリが選択された状態の画面が表示されます。別のアプリを利用する場合は「別のアプリを使用」欄からアプリを選択してください。

❖お知らせ

- 利用中の操作によっては、アプリを選択する画面で「1回のみ」／「常時」が表示されず、利用するアプリを毎回選択する必要があります。
- 「常時」に設定したアプリを解除するには、ホーム画面で⊞→［設定］→［アプリ］→［XX個のアプリをすべて表示］→設定を解除するアプリをタップ→［デフォルトで開く］→［デフォルトの設定をクリア］をタップします。

アプリの権限を設定する

データへのアクセスや通知の表示など、ユーザーの許可が必要な機能を利用するアプリを初めて起動すると、許可をリクエストする確認画面が表示されます。
許可をすると権限が付与され、アプリは該当する機能を利用できるようになります。

〈例〉「スケジュール」アプリを初めて起動した場合

1 ホーム画面で⊞→［ツール］→［スケジュール］

- 許可についての説明画面が表示されます。

2 ［次の画面へ］

- 確認画面が表示されます。

3 ［許可］／［許可しない］

- 他の確認画面が表示されたら、内容を確認して操作を繰り返します。

❖ お知らせ

- 許可をしないとアプリを起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で→［設定］→［アプリ］→［XX個のアプリをすべて表示］→設定を変更するアプリをタップ→［権限］→変更する権限をタップ→画面の指示に従って操作します。
- アプリによっては、許可についての説明画面が表示されない場合があります。また、確認画面の表示回数が異なる場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

文字入力

文字入力は、メールの作成や電話帳の登録などで文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボード（画面上のキーボード）を使用します。
お買い上げ時の入力方法は「Gboard」に設定されています。

❖ お知らせ

- ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面左下に表示される▼をタップします。
- Gboardについて詳しくは、文字入力画面で→［ヘルプとフィードバック］をタップしてヘルプをご覧ください。
- 使用状況により、キーボードの表示や操作などが変更される場合があります。

入力方法の切り替え

Gboard以外の入力方法に切り替えることができます。

- 本端末に他の入力方法をインストールし、「画面上のキーボード」（P.173）で利用する入力方法に設定している場合などに操作できます。

1 文字入力中に画面右下の をロングタッチ

- 入力方法の選択画面が表示されます。
- をタップすると、タップするごとに入力方法などが切り替わります。

2 利用する入力方法を選択

❖お知らせ

- 入力方法の選択画面に利用する入力方法が表示されない場合は、「画面上のキーボード」（P.173）で利用する入力方法の◯をタップします。

ソフトウェアキーボード

お買い上げ時のソフトウェアキーボードは日本語キーボード、レイアウトは「12キー」に設定されています。日本語キーボードでは、次のレイアウトを追加して利用できます。

- 文字入力のしかたについて（P.56）

12キー	携帯電話と同じ配列のキーボードです。キーを繰り返しタップして文字を選択します（トグル入力）。フリック入力もできます。
QWERTY	一般的なパソコンと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。フリック入力もできます。
手書き	手書きで文字を入力するキーボードです。
GODAN	日本語をローマ字入力するためのキーボードです。
五十音	五十音配列のキーボードです。対応するキーをロングタッチすると、濁点／半濁点を付けたり、小文字に切り替えたりできます。

日本語キーボードのレイアウトを追加する

12キー以外のレイアウトを使用するには、あらかじめ使用するレイアウトを追加する必要があります。

1 文字入力画面で✿→［言語］

2 ［日本語 12キー］

3 利用するレイアウトにチェックを入れる→［完了］

❖お知らせ

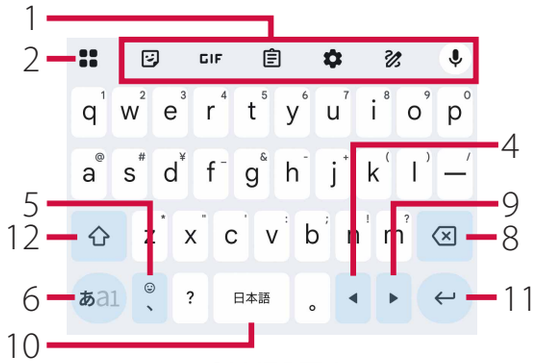
- レイアウトを追加すると、画面右下の🌐をタップするたびにキーボードが切り替わります。また、␣をロングタッチするとキーボードの変更画面が表示され、利用するキーボードを切り替えられます。
- 他の言語のキーボードを追加するには、手順2で［キーボードを追加］→利用する言語などを選択→必要に応じて国・地域などを選択→利用するレイアウトにチェックを入れる→［完了］をタップします。利用できるレイアウトは、言語によって異なります。
- 文字入力欄をタップしたときに入力レイアウトの選択画面が表示された場合は、ひらがな漢字と英字のレイアウトを設定できます。

文字入力のしかた

ソフトウェアキーボードでキーをタップすると、入力した文字に対して候補リストが表示されます。候補リストから入力する語句をタップすると、次々に文章を入力できます。ここでは、日本語キーボードの12キーとQWERTYについて説明します。



12キー



QWERTY

1 ツールバー
ツールアイコンの一覧が表示されます（P.57）。

2
すべてのツールアイコンが表示されます（P.57）。
また、ツールバーに表示するツールアイコンをカスタマイズできます。

3
トグル入力（P.58）した文字を、通常とは逆の順序で表示します。変換確定後にタップすると、変換前の表示に戻ります。

4
カーソルを左へ移動します。変換確定前の場合は、文字列の変換範囲を変更します。
上下左右にスワイプ（フリック）するとカーソルを移動できます（状況により操作できない場合があります）。

5 記／
絵文字、ステッカー、顔文字などの一覧を表示します。
QWERTYの場合は読点を入力します。また、ロングタッチするとアイコンが表示され、片手モードへの切り替えや絵文字などのリストの表示、設定画面の表示ができます。

6 aa1／aa1／aa1
文字種を「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に切り替えます。ロングタッチするとアイコンが表示され、設定画面の表示や、片手モードへの切り替えができます。

7
濁点／半濁点を付けたり、大文字／小文字に切り替えたりします。

8
カーソル位置の前の文字を削除します。

9
カーソルを右へ移動します。変換確定前の場合は、文字列の変換範囲を変更します。
上下左右にスワイプ（フリック）するとカーソルを移動できます（状況により操作できない場合があります）。

10 ␣ ／日本語
スペースを入力します。ひらがな漢字入力時で変換確定前の場合は表示が「変換」に変わり、タップすると変換候補の表示／切り替えができます。ロングタッチすると、キーボードの変更画面が表示されます（状況により操作できない場合があります）。

11 ↩
改行します。変換確定前にタップすると、文字を確定します。
※ 文字入力欄によっては🔍や→|、✓、→などが表示されます。

12 ⇧／⬆
小文字／1文字のみ大文字の入力に切り替えます。ダブルタップするとキーの表示が⬆に変わり、大文字の入力に切り替わります。

❖ お知らせ

- 候補リスト内の⌄をタップすると、表示領域が拡大されます。ソフトウェアキーボードを表示させるには、⌃をタップします。

ツールアイコンの利用

ツールバーに表示されているツールアイコンをタップして、次の操作ができます。

(ステッカー)	ステッカーの一覧を表示します。
GIF (GIF)	対応している入力欄にGIF画像を挿入します。
(クリップボード)	クリップボードに保存された文字列を引用して、文字を入力します。
(設定)	設定画面を表示します。
(手書き入力)	手書き入力に切り替えます。
(音声)	音声入力に切り替えて、音声で文字を入力します。
(テーマ)	ソフトウェアキーボードのテーマを変更します。
(片手モード)	片手で操作できるサイズのソフトウェアキーボードに切り替えます。
(テキスト編集)	文字列の選択、切り取り、コピー、貼り付けなどをします。
(Gboardを共有)	利用しているレイアウトなどの情報を、Bluetoothやメールなどで送信します。
(翻訳)	単語や文章などを翻訳して入力します。
(フローティング)	ソフトウェアキーボードを任意の位置に移動できるようにします。
:-) (顔文字)	顔文字の一覧を表示します。
(サイズ変更)	ソフトウェアキーボードのサイズを変更します。
(次の言語)	キーボードを切り替えます。複数のレイアウトやキーボードを利用しているときに表示されます。
☆ (記号)	記号の一覧を表示します。
(絵文字)	絵文字の一覧を表示します。
(元に戻す)	元に戻す／やり直す操作を行います。

フリック入力

12キーのキーに触れると、キーに割り当てられた文字や数字、記号が表示されます。入力する文字などが表示されている方向にフリックすると、文字を入力できます。

- QWERTYでは、各キーを上にフリックすると、数字や記号を入力できます。

〈例〉12キーで「な」行を入力する場合

「な」はタップするだけで入力できます。
「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。



トグル入力

12キーで同じキーを連続してタップすると、キーに割り当てられた文字や数字、記号を入力できます。
同じキーに割り当てられた文字などを続けて入力する場合は、変換範囲を示すカーソルの色が変わるのを待ってから（約1秒）、次の文字を入力します。すぐに次の文字を入力する場合は、▶をタップするとカーソルの色が変わります。

〈例〉「あお」と入力する場合

1 「あ」を1回タップ→（カーソルの色が変わるまで）約1秒待つ

2 「あ」を5回タップ

または

1 「あ」を1回タップ→（すぐに）▶をタップ

2 「あ」を5回タップ

音声入力

音声入力に切り替えて、音声で文字を入力できます。

1 キーボード上部の右端にある🎤（音声入力を使用）をタップ

- 音声入力に切り替わります。

2 「お話しください」と表示されたら、送話口／メインマイクに向かって入力する内容を話す

テキストの編集

文字入力画面やウェブサイトなどのテキストを切り取りまたはコピーし、他のアプリなどに貼り付けることができます。

1 文字列をロングタッチ

- 文字列が選択され、周辺に編集メニューが表示されます。
- 文字列をダブルタップしても操作できます。

2 ／を上下左右にドラッグして文字列の範囲を選択

3 編集メニューの利用する項目をタップ

- 文字列を切り取り／コピーすると、サムネイルとメニューが一定時間表示されます。が表示された場合は、タップするとサムネイルとメニューが一定時間表示されます。

切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。
共有	選択した文字列を他のアプリで使用します。
すべて選択	テキストをすべて選択します。
ウェブ検索	選択した文字列に関連するウェブ上の情報を検索します。
⋮	表示されていない編集メニューを表示します。←をタップすると、元の編集メニューに戻ります。

❖お知らせ

- コピーまたは切り取った文字列を貼り付けるには、挿入する位置でロングタッチ→［貼り付け］をタップします。テキストが入力されている場合は、挿入する位置でタップ→→［貼り付け］をタップします。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合や、編集メニューの表示が異なる場合があります。
- サムネイルやメニューをタップすると、切り取り／コピーした文字列を編集したり、Bluetoothやメールなどで送信したりできます。また、サムネイルを左右にスワイプ（フリック）すると、サムネイルとメニューの表示を消すことができます（切り取り／コピーした文字列は削除されません）。

単語リスト

あらかじめ単語リストに語句を登録しておくと、文字入力時の候補リストに優先的に表示されます。

1 文字入力画面で✿→［単語リスト］→［単語リスト］→言語を選択

2 ＋をタップ

3 画面の指示に従って単語などを入力

4 ←をタップ

❖ お知らせ

- 登録した語句を削除するには、手順2で削除する語句を選択→ をタップします。

文字入力の設定

Gboardなどの入力方法ごとに、文字入力の各種設定ができます。

1 ホーム画面で→［設定］→［システム］→［キーボード］

2 ［画面上のキーボード］→入力方法を選択

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

❖ お知らせ

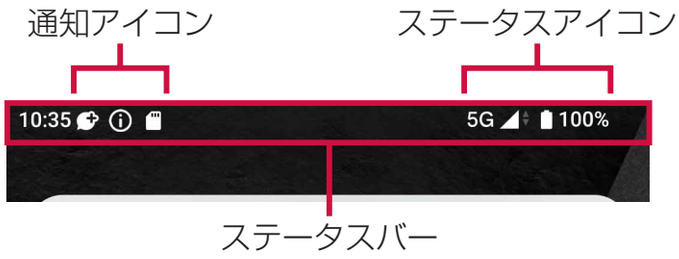
- 設定できる項目は、入力方法により異なります。
- Gboardの場合は文字入力画面で をタップしても、設定画面を表示できます。

画面表示とアイコン

ステータスバーに表示されるアイコンで、アプリの通知情報や本端末の状態などを確認できます。通知パネルを表示すると、ステータスバーに表示された通知情報などの詳細を確認できます。また、クイック設定パネルを表示して機能のオン／オフを設定したりできます。

ステータスバー

画面上部のステータスバーには、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコンや、電波状態や電池残量などをお知らせするステータスアイコンが表示されます。



❖ お知らせ

- アプリがカメラやマイクにアクセスすると画面に／／が一定時間表示され、アクセス中はステータスバーなどにが表示されます。の表示中に通知パネルやクイック設定パネルを表示すると、アクセス中のアプリを確認できます。

ステータスアイコン

ステータスバーに表示される主なステータスアイコンは次のとおりです。

	電波状態（5段階）※1※2	—
5G	5G使用可能	—
5G+	5G＋使用可能※3	—
4G+	4G（LTE）使用可能※4	—
R	国際ローミング中	—
	圏外	—
	音声サービス利用不可	—
	モバイルデータ通信利用不可	—
	Wi-Fi接続中（5段階）※1	P.146
	インターネット利用不可のWi-Fiネットワークに接続中、およびWi-Fiの電波が不安定な状態	P.146
	Wi-Fiアクセスポイントをオンに設定中	P.153
	Bluetooth機器に接続中	P.195
	機内モード設定中	P.153
	マナーモード（ミュート）設定中	P.51
	ハンズフリーで通話中（スピーカーオン）	P.100
	送話口／メインマイクをオフにして通話中（ミュート）	P.100
	アラームなどを設定中	P.141
	サイレントモード設定中	P.165
	GPS測位中	P.138
	VPN接続中	P.156
	データセーバー設定中	P.156
	STAMINA®モード設定中	P.170
	電池の状態	—
	充電中	P.36
	充電が必要な状態	—

※1 通信中はアイコンの右側に↕が表示されます。
※2 2つのSIMを同時に利用している場合は、2つの電波状態が表示されます。
※3 5G高速・大容量通信が可能なときに表示されます。
※4 本端末は、LTE接続時は常に4G+が表示されます。

通知アイコン

ステータスバーに表示される主な通知アイコンは次のとおりです。

	新着Gmailあり	P.117
	新着＋メッセージあり	P.110
	新着メッセージあり	P.116
	データを受信／ダウンロード	—
	データを送信／アップロード	—
	Bluetooth通信でデータなどの受信通知あり	P.197
	microSDカードをマウント中	P.35
	アプリのアップデート通知あり	—
	ソフトウェアアップデート通知あり	P.217
	電話着信中／発信中	P.95
	電話通話中	P.95
	通話保留中	P.100
	不在着信あり	P.102
	伝言メモ通知あり／留守番電話あり	P.98、P.103

	メモ／スケジュールの通知あり	P.91、P.140
	ストップウォッチ計測中※	P.142
	タイマー使用中※	P.142
	アラームの鳴動中／アラームのスヌーズ中／次のアラームあり	P.141
	USB機器を接続中	P.169
	Wi-Fiオープンネットワーク利用可能	P.147
	いたわり充電中	P.38
	おすそわけ充電の通知あり	P.40
	電池残量が少ない状態（20%以下）	—
	エラー／注意などの通知あり	—
	非表示の通知あり	—
	おまかせロック設定中	—
	スクリーンレコード通知あり	P.52
	内部ストレージの空き容量低下	—
	dアカウント設定の認証失敗	P.45
	音声を共有中	P.196

※ ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

❖ お知らせ

- 通知によっては、他の通知とまとめられて通知アイコンが表示されない場合があります。その場合は、通知パネルで通知を開く（P.63）と確認できます。

通知パネル

ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知の内容を確認したり、対応するアプリを起動したりできます。

1 ステータスバーを下にドラッグ



1 明るさのレベル
- 画面の明るさを調節できます。

2 クイック設定ツール
- クイック設定ツール（P.64）の一部が表示されます（使用状況によって表示が異なる場合があります）。
- タップして各機能のオン／オフなどを設定できます。
- ロングタッチすると、機能によっては設定画面などが表示されます。

3 通知
- が表示された場合は、タップするとポップアップウィンドウ（P.68）でアプリを起動できます。

- 通知を左右にスワイプ（フリック）すると、一覧から削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合があります。
- 通知をロングタッチすると、通知の設定を変更したり、「サイレント」や「優先」などの設定をしたりできます。ただし、通知によっては設定できない場合があります。
- 会話の通知を開いたときに／が表示された場合は、タップするとフローティングアイコン（バブル）の表示／非表示を設定できます。フローティングアイコン（バブル）は他のアプリを起動中でも表示され、会話の新着通知を確認したり、タップしてメッセージを確認・送信したりできます。

4 管理
- 通知の設定を変更できます（P.161）。
- 「通知履歴」（P.161）がオンの場合は「履歴」と表示され、通知の履歴を確認できます。

5 カメラやマイクへのアクセス通知
- アプリがカメラやマイクにアクセスしているときに表示されます。
- ／／をタップすると通知が表示され、アクセス中のアプリを確認できます。また、が表示された通知をタップするとアプリの権限画面が表示され、権限の設定を変更できます。

6 通知を開く／閉じる
- タップして通知を開くと、表示しきれない通知内容や操作メニューを表示できます。
- 通知によっては表示されない場合や、タップしても通知が開かない場合があります。

7 操作メニュー
- 通知を開くと「かけ直す」や「返信」などの操作メニューが表示される場合があります。
- 通知によっては、操作メニューの項目をタップして、通知パネル上で＋メッセージの返信などの操作ができる場合があります。

8 通知の消去
- 削除できる通知があるときに表示され、「サイレント」のセクションに振り分けられた通知をすべて削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合があります。

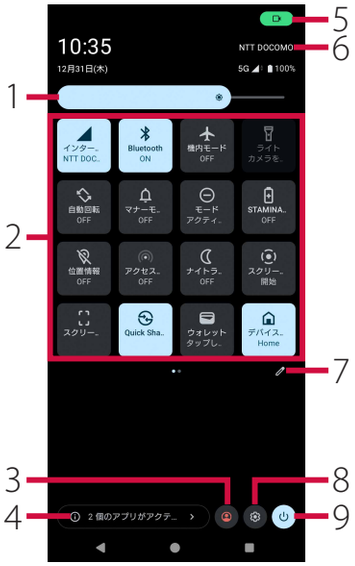
9 すべて消去
- 削除できる通知があるときに表示され、通知をすべて削除します。ただし、通知によっては削除できない場合があります。

❖ お知らせ
- 操作の状況によってはクイック設定ツールの下に音楽などの操作パネルが表示され、再生／一時停止や音声出力先の切り替えなどができます。
- フローティングアイコン（バブル）を任意の方向に少しドラッグ→画面下部のまでドラッグしても、フローティングアイコン（バブル）を非表示にできます。
- 通知パネルを閉じるには、をタップするか、通知パネルを上にドラッグします。
- ステータスバーに通知アイコンが表示されていない場合でも、本端末の状態を示す通知などが表示されることがあります。
- ロック画面で画面を下にスワイプ（フリック）しても通知パネルを表示できます（設定状況によっては、画面ロックの解除方法を入力しないと表示されない場合があります）。

クイック設定パネル

機能のオン／オフなどを設定できます。

1 2本の指でステータスバーを下にドラッグ



1 明るさのレベル
- 画面の明るさを調節できます。

2 クイック設定ツール
- ロングタッチすると、機能によっては設定画面などが表示されます。
- クイック設定ツールの下にページ枚数と現在の表示位置を示すインジケーターが表示されている場合は、クイック設定ツールを左右にスワイプ（フリック）するとページを切り替えられます。
- 使用状況によって表示が異なる場合があります。

インターネット	インターネットに接続するネットワークを切り替えたり、「モバイルデータ」や「Wi-Fi」のオン／オフを設定したりできます。
Bluetooth	Bluetooth機能のオン／オフを設定できます。
機内モード	機内モードのオン／オフを設定できます。
ライト	ライト／フラッシュのオン／オフを設定できます。
自動回転	本端末の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定できます。
マナーモード（XXXX）※	マナーモードを設定できます。
モード	モード（P.165）を選択してオン／オフを設定できます。
STAMINAモード	STAMINAモードのオン／オフを設定できます。
位置情報	位置情報のオン／オフを設定できます。
アクセスポイント	Wi-Fiアクセスポイントのオン／オフを設定できます。
ナイトライト	ナイトライトのオン／オフを設定できます。
スクリーンレコード	表示されている画面を録画できます（P.52）。
スクリーンショット	現在表示されている画面の静止画を撮影できます。
Quick Share	付近の対応機器とファイルを共有できます。
ウォレット	「ウォレット」アプリを起動して、ウォレットに追加した電子マネーなどを利用できます。

デバイスコントロール	本端末に接続されているスマートホームデバイス（市販品）などのコントロールを表示して操作できます。
QRコードスキャナ	QRコードをスキャンできます。
アラーム	アラームを設定できます。
キャスト	Google Cast™対応機器などに本端末の画面を表示できます。

※「XXXX」には、マナーモードの状態が表示されます。

3 ユーザー
- アイコンが表示されていない場合は、「ユーザー」（P.175）をオンにすると表示されます。
- 本端末の使用者の切り替えや、ユーザー／ゲストの追加、ゲストの使用の終了などができます。
- [ユーザーを管理] をタップすると、設定メニューの「ユーザー」が表示されます（P.175）。
- 使用状況によって表示されるアイコンが異なる場合があります。

4 実行中のアプリの件数
- タップすると、使用していない状態でもアクティブで実行中のアプリを確認できます。「停止」が表示されている場合は、タップしてアプリを停止できます。
- 対象のアプリがない場合は表示されません。

5 カメラやマイクへのアクセス通知（P.63）

6 通信事業者名
- 2つのSIMを同時に利用している場合は、2つの通信事業者名が表示されます。

7 編集
- 編集画面を表示して、クイック設定ツールの追加や削除、並び順の変更ができます。
- 編集画面で［リセット］をタップすると、お買い上げ時の状態に戻ります。

8 設定
- 設定メニューを表示します（P.143）。

9 電源ボタンメニューの表示
- タップすると電源ボタンメニューが表示され、「緊急通報」「電源を切る」「再起動」の操作ができます。

❖ お知らせ

- クイック設定ツールは、使用状況によって表示が異なる場合や、自動的に追加される場合があります。
- 通知パネルを下にドラッグしたり、ロック画面でステータスバーを下にドラッグしたりしても、クイック設定パネルを表示できます。
- 操作の状況によってはクイック設定ツールの下に音楽などの操作パネルが表示され、再生／一時停止や音声出力先の切り替えなどができます。
- クイック設定パネルを閉じるには、◁をタップするか、クイック設定パネルを上にドラッグします。

タスクマネージャ

最近使用したアプリをサムネイル表示して、アプリの確認や起動、切り替え、終了ができます。

1 □をタップ

- アプリがサムネイル表示されます。
- 左右にスワイプ（フリック）すると、サムネイルを切り替えることができます。

❖ お知らせ

- サムネイルをタップすると、アプリの起動や切り替えができます。ただし、表示されているサムネイルによっては、アプリを起動できない場合があります。
- 上部に2つのアイコンが表示され、2つのアプリの画像が表示されたサムネイルをタップすると、分割画面を表示できます。
- サムネイルを上にスワイプ（フリック）するとサムネイルが削除され、アプリを終了できます。画面下部またはサムネイルの左端の［すべてクリア］をタップすると、すべてのサムネイルを削除できます。
- 「アプリ固定」（P.179）をオンに設定している場合は、サムネイルの上部に表示されるアイコンをタップ→［固定］→［OK］をタップすると、アプリが固定されて表示中のアプリ以外は使用できなくなります。アプリの固定を解除するには画面の指示に従って操作してください。
- 画面下部のメニューを利用して次の操作ができます。
  - スクリーンショット（P.52）
  - ポップアップウィンドウ（P.68）
  - マルチウィンドウ（P.67）

分割画面

画面を分割し、2つのアプリを同時に表示して操作できます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。
- ご使用のアプリによっては、分割画面で利用できない場合があります。

1 □をタップ

- アプリがサムネイル表示されます。

2 サムネイルの上部に表示されるアイコンをタップ

3 [分割画面]

- 分割画面で利用できないアプリの場合、「分割画面」は表示されません。

4 分割画面に表示する他のアプリのサムネイルをタップ

- 表示するアプリがサムネイル表示されていない場合は、○をタップして表示するアプリを起動し、手順1から操作し直してください。

❖ お知らせ

- 分割画面のアプリは上下（横画面表示の場合は左右）に分割して表示されます。
- 分割画面の中央に表示される仕切り線の▬を上下（横画面表示の場合は左右）にドラッグすると、アプリの表示範囲を変更できます。
- ▬を画面上端または下端（横画面表示の場合は左端または右端）までドラッグすると、分割画面を終了できます。
- 手順2で上部に2つのアイコンが表示された分割画面のサムネイルをタップしても、分割画面を表示できます。

アプリを切り替える（マルチウィンドウ）

分割画面に表示しているアプリを切り替えることができます。

- 分割画面を表示していない場合は、アプリを指定して分割画面を起動できます。

1 □→ [マルチウィンドウ]

- サイドセンス（P.174）のマルチウィンドウメニューが表示されます。左側には画面の上下を示す枠が、右側にはアプリアイコンなどが表示されます。
- サイドセンスバーやマルチウィンドウメニューの説明画面が表示された場合は、各画面で［OK］をタップしてください。

2 画面左側から切り替えるアプリが表示された枠をタップ

3 画面右側から表示するアプリアイコンをタップ

- 分割画面が表示されます。
- ［もっと見る］をタップすると、表示されていないアプリの一覧を表示できます。

❖お知らせ

- 手順2で、画面右側から2つのアプリがペアになったアプリアイコンをタップすると、2つのアプリを同時に切り替えることができます。
- 分割画面を表示している状態でマルチウィンドウメニューを表示した場合、手順2で次の操作ができます。
  - ［マルチウィンドウ終了］をタップすると、分割画面を終了します。
  - ［アプリの上下入れ替え］をタップすると、アプリの上下を入れ替えます。
  - ［ポップアップ］をタップすると、分割画面の下に表示しているアプリをポップアップウィンドウで表示します。

ポップアップウィンドウ

ポップアップウィンドウでアプリを起動すると、メイン画面（全画面）で表示したアプリの上に重ねて表示することができます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。
- 複数のポップアップウィンドウを同時に表示できます。
- ご利用のアプリによっては、ポップアップウィンドウで利用できない場合があります。

1 □をタップ

- アプリがサムネイル表示されます。

2 起動するアプリのサムネイルを表示

- サムネイルを左／右にスワイプ（フリック）し、起動するアプリのサムネイルを表示します。

3 ［ポップアップウィンドウ］

- サムネイル表示の上にポップアップウィンドウが表示されます。
- 「ポップアップウィンドウ」を選択できない場合は、アプリをポップアップウィンドウで起動できません。
- 他のアプリのサムネイルを表示して［ポップアップウィンドウ］をタップする操作を繰り返すと、複数のポップアップウィンドウを表示できます。

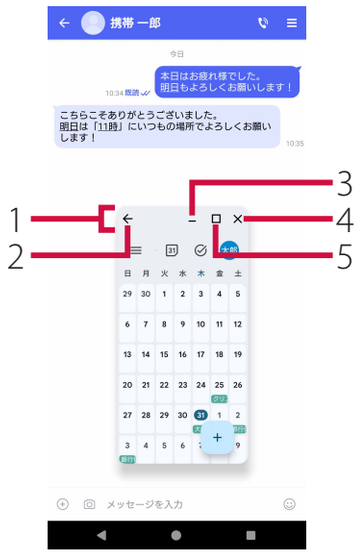
4 他のアプリのサムネイルをタップ

- ポップアップウィンドウの下に、メイン画面（全画面）でアプリが表示されます。
- 表示するアプリがサムネイル表示されていない場合は、◯をタップして表示するアプリを起動してください。
- 操作するアプリを切り替えるには、ポップアップウィンドウまたはメイン画面（全画面）で表示しているアプリの表示部分をタップします。

❖お知らせ

- 手順3でサムネイルの上部に表示されるアイコンをタップ→［ポップアップウィンドウ］をタップしても、アプリをポップアップウィンドウで起動できます。
- 手順4でサムネイルの上部に表示されるアイコンをタップ→［分割画面］→他のアプリのサムネイルをタップするか、上部に2つのアイコンが表示された分割画面のサムネイルをタップすると、分割画面の上にポップアップウィンドウを表示できます。
- 通知パネルの通知（P.62）からポップアップウィンドウを起動することもできます。
- 操作状況によってはポップアップウィンドウを利用できない場合があります。

■ ポップアップウィンドウ



1 メニューバー

- アプリを操作していないときは、操作アイコンが薄く表示されます。
- アイコンがない部分をダブルタップすると、ポップアップウィンドウが最大化されます。最大化中にアイコンがない部分をダブルタップすると、元のサイズに戻ります。
- アイコンがない部分を任意の方向にドラッグすると、ポップアップウィンドウを移動できます。

2 戻る

- 直前の画面に戻ります。戻る画面がない場合は、ポップアップウィンドウを非表示にします（アプリによって動作が異なる場合があります）。

3 最小化
- ポップアップウィンドウを非表示にします。再表示するには、アプリ一覧画面などでアプリアイコンをタップするか、□をタップしてメニューバーが表示されたサムネイルをタップします。ただし、☒をタップして閉じたアプリの場合は、メニューバーが表示されたサムネイルをタップするとメイン画面（全画面）で表示されます。

4 閉じる
- ポップアップウィンドウを閉じます。

5 メイン画面（全画面）への切り替え
- アプリの表示をメイン画面（全画面）に切り替えます。

❖お知らせ
- ポップアップウィンドウの四隅のいずれかを任意の方向にドラッグすると、ポップアップウィンドウのサイズを変更できます。
- ポップアップウィンドウについて詳しくは、ホーム画面で⊞→［設定］→［システム］→［ジェスチャー］→［サイドセンス］→画面下部の［活用ガイド］→［ポップアップウィンドウ］をタップして、活用ガイドをご覧ください。

片手モード

片手モードを使用すると画面が下方向にスライドされ、画面上部に指が届きやすくなります。

片手モードの設定をする

- あらかじめ「ナビゲーションモード」（P.173）を「ジェスチャーナビゲーション」に設定してください。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［システム］→［ジェスチャー］→［片手モード］

2 「片手モードを使用」の◯をタップ

❖お知らせ
- 「下にスワイプで」欄を「通知を表示」に設定すると、ナビゲーションハンドルを画面の下端付近までスワイプ（フリック）したときに通知パネルが表示されます。
- ［片手モードのショートカット］をタップすると、片手モードを使用するためのショートカット操作を設定できます。
- 「片手モードのショートカット」で「ユーザー補助機能ボタン」や「音量ボタン」を設定すると、「ナビゲーションモード」が「3ボタンナビゲーション」のときでも、ショートカット操作で片手モードを使用できます。

片手モードを使用する

1 ナビゲーションハンドルを画面の下端付近までスワイプ（フリック）

- 画面が下方向へスライドされます。

❖ お知らせ

- 片手モードを終了するには、画面上部の「片手モードの使用」が表示されたエリアをタップします。
- 片手モードを使用中に何も操作しないまま一定の時間が経過したときや、画面が消灯したとき、横画面表示に切り替わったときなど、操作状況によっては片手モードが自動的に終了する場合があります。

情報を検索する

検索ボックスに文字を入力すると、知りたい情報を検索できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ

2 検索するキーワードを入力

- 文字入力について（P.54）
- 検索候補が一覧表示されます。

3 検索候補またはソフトウェアキーボードの（検索）をタップ

❖ お知らせ

- ホーム画面で［Google］→［Google］をタップしても「Google」アプリを起動できます。
- 検索候補にアプリが表示された場合は、選択するとアプリが起動します。
- 検索結果画面などでGoogleアカウントメニューを表示→［設定］をタップすると検索の設定などができます。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットの（音声検索）をタップ

2 送話口／メインマイクに向かって検索するキーワードを話す

かこって検索を利用する

かこって検索は、画面上の画像やテキストなどの気になる情報を円で囲んで、Googleで検索ができる機能です。

- あらかじめ検索する情報を画面に表示してください。

1 □（ホーム）をロングタッチ

- 画面下部にGoogle検索バーが表示されます。

2 画面をドラッグして検索する情報を円で囲む

- 画面下部に検索結果が表示されます。
- 検索する情報をタップ／ロングタッチしたり、ドラッグしてハイライト表示したりしても検索できます。

❖ お知らせ

- かこって検索について詳しくは、Google検索ウィジェットなどで「かこって検索」を検索し、Googleのヘルプをご覧ください。

ホーム画面

ホームアプリの切り替えかた

本端末ではホームアプリを「ドコモホーム（docomo LIVE UX）」「Xperiaホーム」「かんたんホーム」に切り替えられます。

- 「ドコモホーム（docomo LIVE UX）」について（P.73）
- 「Xperiaホーム」について（P.80）
- 「かんたんホーム」について（P.83）

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［アプリ］

2 ［デフォルトのアプリ］→［ホームアプリ］

3 ［かんたんホーム］／［ドコモホーム（docomo LIVE UX）］／［Xperiaホーム］のいずれかをタップ

- 「かんたんホーム」を選択した場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

❖お知らせ

- ホームアプリを切り替えると、ホーム画面のレイアウトなどによっては、画面上のウィジェットやアプリアイコンショートカットなどが正しく表示されない場合があります。

docomo LIVE UX

ドコモが提供するホームアプリです。ホーム画面を直感的にカスタマイズすることができます。

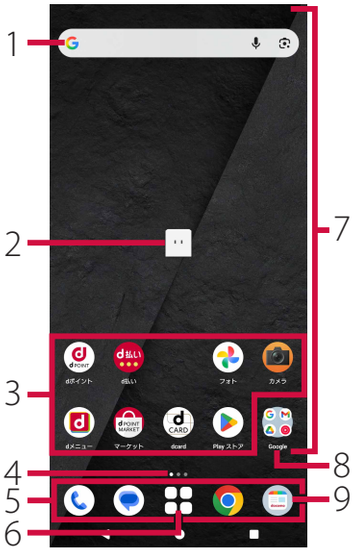
docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で⊞→⋮→［ヘルプ］をタップしてヘルプを参照するか、以下のホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。すべてのアプリはアプリ一覧画面に格納されており、アプリアイコンショートカットがホーム画面に配置されます。

- ホーム画面を左右にスワイプ（フリック）するとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上にドット（点）または数字が表示される場合があります。



1 ウィジェット
- ウィジェット（Google検索）を起動できます。
- ウィジェットによってはロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行できます。

2 マチキャラ
- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。

3 アプリアイコンショートカット
- タップすると、アプリを起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが吹き出しで表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。複数の吹き出しが表示された場合、下の吹き出し内の項目をロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

4 インジケーター
- ホーム画面の現在の表示位置を示します。
- ホーム画面を左右にスワイプ（フリック）したときのみ表示されます。

5 ドック
- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

6 アプリ一覧ボタン
- すべてのアプリを表示します。本端末内のアプリを検索できます。

7 カスタマイズエリア
- アプリアイコンショートカット、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

8 フォルダ
- 複数のアプリアイコンショートカットなどが格納されています。

9 SmartNews for docomo
- SmartNews for docomoを表示します（P.78）。

❖お知らせ

- 通知パネルにアプリのアップデートやセットアップの一時停止をお知らせする通知が表示されている場合は、アプリをダウンロードしてください（P.94）。

ホーム画面の管理

アプリアイコンショートカットなどを移動する

1 ホーム画面で移動するアプリアイコンショートカットやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動する位置までドラッグ

- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

アプリアイコンショートカットを追加する

1 ホーム画面で⊞をタップ

2 ホーム画面に追加するアプリアイコンをロングタッチ

- ショートカットメニューが表示されます。

3 [ホーム画面に追加]

- 同じアプリアイコンショートカットを複数貼り付けることも可能です。

アプリアイコンショートカットをホーム画面から削除する

1 ホーム画面で削除するアプリアイコンショートカットをロングタッチ

2 任意の方向に少しドラッグ→画面上部の「削除」までドラッグ

- ショートカットメニューの［ホーム画面から消す］または✕をタップしても、アプリアイコンショートカットを削除できます。
- ホーム画面からアプリアイコンショートカットは削除されますが、アプリ自体はアンインストールされません。

ウィジェットなどを削除する

1 ホーム画面で削除するウィジェットなどをロングタッチ

2 必要に応じて任意の方向に少しドラッグ→画面上部の「削除」までドラッグ

アプリをアンインストールする

- アンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリによっては、アンインストールできない場合があります。

1 ホーム画面でアンインストールするアプリアイコンショートカットをロングタッチ

- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリアイコンショートカットをロングタッチします。

2 任意の方向に少しドラッグ→画面上部の「アンインストール」までドラッグ

- ショートカットメニューの［アンインストール］または🗑をタップしても、アプリをアンインストールできます。
- アプリをアンインストールできない場合、「アンインストール」は表示されません。

3 ［OK］

- アンインストールすると、アプリ一覧画面からもアプリアイコンが削除されます。

フォルダ名を変更する

1 ホーム画面でフォルダをタップ

2 フォルダ名または［名前の編集］をタップ

3 フォルダ名を入力

- 入力が終了したら、ソフトウェアキーボードの✓をタップします。

ホーム画面の設定をする

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ→［ホーム設定］

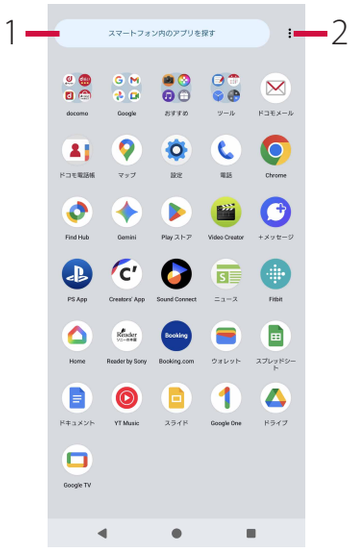
通知ドット	アプリにお知らせがあるときのドット（点）のオン／オフができます。
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	新しいアプリをインストールした際に、ホーム画面に自動でアプリアイコンショートカットを貼り付けるか、アプリ一覧画面のみにアプリアイコンを表示するかを選択できます。 • お買い上げ時は、インストールしたアプリはアプリ一覧画面の最後に表示されます。
ホーム設定アイコン	ホーム画面上ののオン／オフができます。
壁紙設定	ホーム画面とロック画面の壁紙を変更できます。
マチキャラ設定	マチキャラのオン／オフやキャラ変更など、マチキャラに関する設定ができます。

my daiz NOW 表示設定	ホーム画面の一番左にあるmy daiz NOWの表示設定ができます。
上スワイプ操作設定	上スワイプ（フリック）起動アプリのオン／オフやアプリの設定ができます。
ホームの使い方	ホーム画面のチュートリアルを確認できます。
ヘルプ	ホーム画面の詳しい使いかたを確認できます。

アプリ一覧画面

ホーム画面で⊞をタップすると表示されます。アプリ一覧画面ではアプリの並べ替えやフォルダの作成、アプリ名でアプリを検索することができます。

• アプリ一覧について（P.89）



1　アプリ検索バー
- タップすると文字入力でアプリを検索することができます。

2　アプリ一覧設定
- ⋮ →［アプリ一覧設定］をタップすると、アプリ一覧画面のすべてのアプリの並び替え方法を変更できます。手動またはソート（つかった順、アプリ名順、インストール順）を選択できます。

アプリー覧画面の管理

アプリアイコンなどを移動する

アプリー覧設定（P.77）を「アイコンを自由に並び替え」に設定している場合は、アプリー覧画面のアプリアイコンを自由に移動して並び替えられます。

1 アプリー覧画面で移動するアプリアイコンなどをロングタッチ

2 移動する位置までドラッグ

❖お知らせ

- アプリー覧設定を「ソートメニューで並び替え」に設定している場合は、アプリー覧画面で［つかった順］／［アプリ名順］／［インストール順］のいずれかをタップすると自動で並び替えることができます。

フォルダ名を変更する

1 アプリー覧画面でフォルダをタップ

2 フォルダ名または［名前の編集］をタップ

3 フォルダ名を入力

- 入力が終了したら、ソフトウェアキーボードの✓をタップします。

SmartNews for docomo

SmartNews for docomoは、世の中で「いま」起きていることや、あなたの生活に役立つ、良質で身近な情報を毎日お届けするニュースアプリです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。表示チャンネルやPush通知、星座や天気の地域など、お好みの設定にカスタマイズすることもできます。

記事の見かた

1 ホーム画面でをタップ

- 初期画面が表示された場合は、画面に従って操作し、規約に同意することで利用できます。
- チャンネル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にスワイプ（フリック）するとチャンネルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタップ

- 記事一覧画面で記事をタップすると、その記事の詳細を読むことができます。

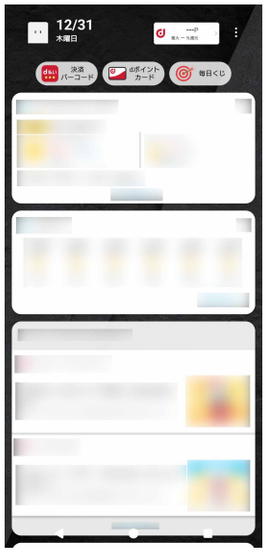
my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や運行、グルメなどの生活に便利な情報がチェックできます。

my daiz NOWを表示する

1 ホーム画面の左端のページで右にスワイプ（フリック）

- 上下にスワイプ（フリック）すると、表示するカードを切り替えられます。
- 左にスワイプ（フリック）すると、ホーム画面に戻ります。
- 利用の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。



2 読みたいカードをタップ

- カードをタップすると、詳細な情報を確認できます。
- 画面左上に表示されるmy daiz（キャラクター）をタップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

表示を設定する

my daiz NOWの表示／非表示を設定できます。

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ→［ホーム設定］

2 「my daiz NOW表示設定」の をタップ

- my daiz NOWが表示されなくなります。
- 「my daiz NOW表示設定」の をタップすると、再表示できます。

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

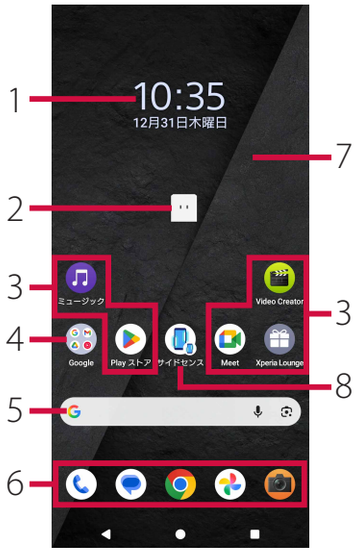
1 **ホーム画面で⊞→⋮をタップ**

2 **[アプリ情報]**

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

Xperiaホーム画面

ホームアプリを「Xperiaホーム」に設定した場合のホーム画面について説明します。



1 ウィジェット：時計ウィジェット

2 マチキャラ

- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。
- お買い上げ時は、ホーム画面上にマチキャラが表示されない状態になっています。表示させるには、次の設定をしてください。
  ホーム画面を上にスワイプ（フリック）→［ドコモ］→［my daiz］→画面の指示に従って確認・設定→「他のアプリの上に重ねて表示」設定画面が表示されたら［my daiz］→「他のアプリの上に重ねて表示できるようにする」の をタップ

3 アプリアイコンショートカット
- タップすると、アプリを起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが吹き出しで表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。複数の吹き出しが表示された場合、下の吹き出し内の項目をロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

4 フォルダ
- 複数のアプリアイコンショートカットなどが格納されています。

5 ウィジェット：Google検索

6 ドック
- アプリアイコンショートカットやフォルダなどを配置でき、ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

7 壁紙

8 ウィジェット：サイドセンス
- タップするとサイドセンスの設定画面が表示されます。

❖お知らせ
- ホーム画面を上にスワイプ（フリック）すると、アプリ画面を表示できます。
- ホーム画面でドックより上の部分を左右にスワイプ（フリック）するとページが切り替わり、ドックの上に現在の表示位置を示すインジケーターが表示されます。
- アプリアイコンショートカットなどをロングタッチして画面の左端／右端までドラッグすると、隣のページに移動できます。また、右端のページの画面右端までドラッグすると、ホーム画面のページを追加できます。
- ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチすると、ウィジェットの追加、壁紙とスタイルの変更などの操作ができます。
- ホーム画面を下にスワイプ（フリック）すると、通知パネルを表示できます。
- 通知パネルにアプリのアップデートやセットアップの一時停止をお知らせする通知が表示されている場合は、アプリをダウンロードしてください（P.94）。
- アプリの通知があるとき、アプリアイコンショートカットやフォルダにドット（点）が表示される場合があります。

ホーム画面にフォルダを追加する

ホーム画面に追加したアプリアイコンショートカットなどをフォルダに格納して整理できます。

1 ホーム画面でアイコンをロングタッチ→別のアイコンの上までドラッグ

❖お知らせ
- フォルダにアイコンを格納するには、ホーム画面で格納するアイコンをロングタッチ→フォルダの上までドラッグします。
- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ→フォルダ名または［名前の編集］をタップします。
- フォルダを削除するには、ホーム画面で削除するフォルダをロングタッチ→画面上部の「削除」までドラッグします。フォルダ内のアプリアイコンショートカットなども削除されます。

ホーム画面にウィジェットを追加する

ウィジェットとは、ホーム画面に追加して利用するアプリのことです。ウィジェットを利用して簡単にアプリを起動できます。

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ

2 [ウィジェット]
- 説明画面が表示された場合は［OK］をタップしてください。

3 ウィジェットの種類をタップ→追加するウィジェットをロングタッチ
- ホーム画面が表示されたら、任意の場所までドラッグします。
- 設定画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ
- ホーム画面に追加したウィジェットをロングタッチしたときに枠が表示された場合は、枠をドラッグして表示サイズを変更できます。
- ウィジェットを削除するには、ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ→必要に応じて任意の方向に少しドラッグ→画面上部の「削除」までドラッグします。

壁紙を変更する

ロック画面やホーム画面の壁紙を変更できます。

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ

2 [壁紙とスタイル]

3 [ロック画面]／[ホーム画面]→[壁紙の変更]

4 壁紙に設定する画像を選択

5 画面の指示に従って壁紙を設定

❖お知らせ
- 画面の配色をカスタマイズしたり、ダークモードに設定したりなど、画面のスタイルを変更することもできます（P.168）。

ホーム画面の設定を行う

1　ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ

2　［ホームの設定］

Google™アプリを表示	ホーム画面に「Google」アプリの画面を表示するかどうかを設定します。1枚目のページを右にスワイプ（フリック）すると表示できます。
通知ドット	アプリにお知らせがあるときのドット（点）のオン／オフができます。
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	アプリをインストールしたとき、アプリアイコンショートカットをホーム画面に追加するかどうかを設定します。
ホーム画面の回転を許可	本端末の向きに合わせて、ホーム画面を縦／横画面表示に切り替えるかどうかを設定します。オンに設定した場合、本端末の向きを変えたときに表示される をタップして縦／横画面表示を切り替えます。

かんたんホーム画面

ホームアプリを「かんたんホーム」に設定した場合のホーム画面について説明します。かんたんホームに設定すると、基本的な機能に限定したホーム画面や設定メニューを利用できます。

1　ホーム画面で→［設定］→［アプリ］

2　［デフォルトのアプリ］→［ホームアプリ］→［かんたんホーム］

3　［OK］

- 文字サイズを変更しない場合は、「フォントサイズを推奨のサイズに設定する」のチェックを外します。

❖ お知らせ

- かんたんホームのショートカットをホーム画面に配置することで、ショートカットからホームアプリを切り替えることもできます。ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ→［ウィジェット］→［かんたんホーム］→追加するショートカットをロングタッチ→ホーム画面が表示されたら、任意の場所までドラッグします。

■ かんたんホーム画面のアプリ



1 マチキャラ
- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。
- お買い上げ時は、ホーム画面上にマチキャラが表示されない状態になっています。表示させるには、次の設定をしてください。
  かんたんホーム画面で［その他アプリ］→［my daiz］→画面の指示に従って確認・設定→「他のアプリの上に重ねて表示」設定画面が表示されたら［my daiz］→「他のアプリの上に重ねて表示できるようにする」の をタップ

2 アプリアイコン
- タップすると、アプリを起動できます。

3 Google検索

4 その他アプリ
- かんたんホーム画面に表示されていないアプリが一覧で表示されます。

5 短縮
- 短縮機能を利用します（P.85）。

❖お知らせ
- 標準のホーム画面に切り替えるには、かんたんホーム画面で［設定］→［ホーム切替］→［OK］→［ドコモホーム（docomo LIVE UX）］／［Xperiaホーム］をタップします。
- アプリの通知があるとき、アプリアイコンなどにドット（点）が表示される場合があります。

短縮機能を利用する

頻繁に使用する連絡先を「短縮1」～「短縮3」に登録しておくと、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

連絡先を登録する

頻繁に使用する連絡先を、あらかじめ「ドコモ電話帳」アプリに登録してください。

1 かんたんホーム画面で［短縮1］／［短縮2］／［短縮3］のいずれかをタップ→［OK］

2 登録する連絡先を選択

- 「短縮1」／「短縮2」／「短縮3」の表示が、登録した連絡先の名前に変更されます。

❖お知らせ

- 短縮に登録した連絡先を変更／削除／編集する場合は、かんたんホーム画面で短縮の連絡先を選択→［メニュー］→［登録先を変更］／［登録先を解除］／［登録先を編集］のいずれかをタップします。

電話をかける

1 かんたんホーム画面で短縮の連絡先を選択→［電話をかける］

- 通話中の操作について（P.100）

メッセージ／メールを送信する

1 かんたんホーム画面で短縮の連絡先を選択→［メッセージを送る］／［メールを送る］

- ＋メッセージの送信方法について（P.112）
- メッセージの送信方法について（P.116）
- Gmailの送信方法について（P.117）

かんたん設定を利用する

1 かんたんホーム画面で［設定］

電話番号	自分の電話番号が表示されます。 • 2つのSIMを同時に利用している場合は、2つの電話番号が表示されます。

画面設定	画面の明るさ	画面の明るさを調節します。
	明るさの自動調節	「画面の明るさ」の設定を基準に、周囲の明るさなどに応じて自動で画面の明るさを調節します。
	画面の自動回転	本端末の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定します。
	フォントサイズ	文字サイズを設定します。
	消灯時間変更	画面が消灯するまでの時間を設定します。
	ロック画面設定	画面ロックの解除方法や指紋を設定します。
音設定	マナーモード切替	マナーモードを設定します。
	着信音変更	着信音を設定します。
	操作時バイブレーション	キーアイコンをタップしたときなどに、本端末を振動させるかどうかを設定します。
	タッチ操作音	メニューを選択したときなどに音を鳴らすかどうかを設定します。
	着信時のバイブレーション	着信中に本端末を振動させるかどうかを設定します。
ホームカスタマイズ		P.86
詳細設定		標準のホーム画面で表示される設定メニューを表示します（P.143）。
ホーム切替		標準のホーム画面に切り替えます。

かんたんホーム画面のアプリを変更する

1 かんたんホーム画面で［設定］→［ホームカスタマイズ］

2 ［アプリの変更］／［アプリの並べ替え］

3 変更するアプリを選択→新しく表示するアプリを選択／移動先を選択

- 「アプリの変更」を選択した場合、「設定」と「その他アプリ」は変更できません。

4 ［OK］

❖お知らせ

- 手順2で［初期化］→［OK］をタップすると、お買い上げ時の状態に戻ります。ただし、短縮に登録した連絡先は初期化されません。

アプリ画面

ホームアプリを「Xperiaホーム」に設定すると、すべてのアプリはアプリ画面に表示されます。

- ホームアプリの切り替えかたについて（P.73）

1 ホーム画面を上にスワイプ（フリック）



1 検索バー
- アプリを検索できます。

2 アプリアイコン一覧
- アプリアイコンをロングタッチするとショートカットメニューが吹き出しで表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。複数の吹き出しが表示された場合、下の吹き出し内の項目をロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

3 メニュー
- アプリアイコンの並び順を設定したり、アプリ画面を編集したりできます。

4 マチキャラ
- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。
- お買い上げ時は、ホーム画面上にマチキャラが表示されない状態になっています（P.80）。

❖お知らせ

- アプリの通知があるとき、アプリアイコンやフォルダにドット（点）が表示される場合があります。

アプリをホーム画面に追加する

アプリのショートカットをホーム画面に追加できます。

1 アプリ画面で追加するアプリアイコンをロングタッチ

- フォルダ内のアプリを追加する場合は、フォルダをタップしてから追加するアプリアイコンをロングタッチします。

2 任意の方向に少しドラッグ

- ホーム画面が表示されたら、任意の場所までドラッグします。

❖ お知らせ

- アプリ画面でフォルダをロングタッチすると、アプリアイコンショートカットをフォルダごと追加できます。
- アプリアイコンショートカットを削除するには、ホーム画面で削除するアプリアイコンショートカットをロングタッチ→任意の方向に少しドラッグ→画面上部の「削除」までドラッグします。画面上部に「アンインストール」が表示された場合は、「アンインストール」までドラッグするとアプリをアンインストールできます。

アプリをアンインストールする

- アンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリによっては、アンインストールできない場合があります。

1 **アプリ画面でアンインストールするアプリアイコンをロングタッチ**

- ショートカットメニューが表示されます。
- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリアイコンをロングタッチします。

2 **[アプリ情報]**

- アプリ情報画面が表示されます。

3 **[アンインストール]**

- アプリをアンインストールできない場合、「アンインストール」は表示されません。「無効にする」と表示された場合は、アプリを無効化（P.160）することができます。

4 **[OK]**

アプリ画面を編集する

メニュー（P.87）でアプリアイコンの並び順を「カスタム」に設定している場合は、アプリアイコンを任意の場所に並べ替えたり、フォルダに格納して整理したりできます。

1 アプリ画面で⋮→［カスタマイズ］
- カスタマイズ画面が表示されます。

2 アプリアイコンをロングタッチ

3 任意の場所までドラッグ
- フォルダの上までドラッグすると、アプリアイコンをフォルダに格納できます。
- 別のアプリアイコンの上までドラッグすると、フォルダを追加できます。

❖お知らせ
- カスタマイズ画面を閉じるには、⋮→［終了］をタップするか、◁をタップします。
- フォルダ内のアプリアイコンをフォルダから出すには、フォルダをタップ→アプリアイコンをロングタッチ→アプリアイコンを置く場所までドラッグします。
- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ→フォルダ名または［名前の編集］をタップします。アプリ画面で同じ操作を行っても、フォルダ名を変更できます。

アプリ一覧

インストールされているアプリは次のとおりです。ここでは、ホームアプリを「ドコモホーム（docomo LIVE UX）」に設定した場合で説明します。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。
- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 初期設定時の状況などにより、搭載されるアプリやアプリの配置が異なる場合があります。

あんしんセキュリティ ※1
無料で使えるウイルス対策機能に加え、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策や、ダークウェブモニタリングをご利用いただけるアプリです。

ウォレット
電子マネーやポイントカードなど、日常生活に欠かせないものをまとめて管理できるアプリです。

おサイフケータイ ※1
複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます。→P.132

おすすめアプリ ※1
ドコモがお客様の利用状況に合わせておすすめするアプリやサービスを確認・インストールできるアプリです。

カメラ※2
ソニーが培ってきたノウハウを凝縮した機能を搭載しており、クリエイティブな写真やプロが撮影したような動画を撮影できます。→P.124

カレンダー※3
予定やタスクを登録して管理できます。

緊急情報※3
緊急事態の共有、安全確認などの機能を利用できる緊急情報サービスにログインできます。

災害用キット※1
「災害用伝言板」や緊急速報「エリアメール」(P.118)「どこでも災害・避難情報」「復旧エリアマップ」をご利用いただくためのアプリです。

スケジュール※1
スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。→P.139

スプレッドシート
スプレッドシートの作成・編集・共有や、Excelファイルの表示・編集・保存ができます。

スマホ故障診断※1
「電池がすぐなくなる」「おサイフケータイが使えない」など、故障かな？と思ったときに、いつでもどこでもスマホやタブレットの故障有無を診断できるアプリです。診断結果にもとづいた改善提案やお手続き方法もご案内します。

スライド
プレゼンテーションの作成・編集・共有や、PowerPointファイルの表示・編集・保存ができます。

設定
本端末の各種設定ができます。→P.143

データ保管BOX※1
データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で管理できるサービスです。

電卓※1
四則演算をはじめ、いろいろな計算ができます。

電話
電話の利用や通話履歴の確認、電話の各種設定ができるアプリです。→P.95

ドキュメント
ドキュメントの作成・編集・共有や、Wordファイルの表示・編集・保存ができます。

時計※1
アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチ、おやすみ時間を利用できます。→P.141

ドコモ電話帳
ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。→P.105

ドコモメール
ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→P.110

ドライブ
Googleドライブに保存したファイルを閲覧・管理・共有できます。

ニュース
最新のニュースやお好みの情報をまとめて閲覧できます。

フォト※3
写真や動画を表示できます。Googleアカウントにバックアップすることもできます。→P.130

マップ
現在地の表示、他の場所の検索や経路の検索などGoogleマップのサービスを利用できます。→P.138

ミュージック※2
音楽を再生できます。→P.136

メッセージ※3
Googleのメッセージアプリです。→P.116

メモ※1
メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。

Amazonショッピング※4
Amazonでよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。

Booking.com
世界中の宿泊施設、航空券、レンタカーなどを検索・予約できるアプリです。

Chrome
Chromeでウェブサイトを閲覧できます。→P.119

Creators' App
クリエイターの撮影から制作までをサポートするプラットフォーム「Creators' Cloud」にアクセスできます。

d払い※4
ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、お買い物をすることができます。

dフォト※4
スマホやパソコンにある写真・動画を「無料で5GBまで」ドコモのクラウドにお預かりするサービスです。撮影した写真をフォトブックにする「プリントサービス機能」のご利用には、別途お申し込みとdフォト プリントアプリのインストールが必要です。

dポイント※4
dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

dポイントマーケット※4

dポイントマーケットは、いつもの買物がよりおトクになるネットショッピングサイトです。

dポイントマーケットを経由してお買物をするだけで、いつものショップでもらえるポイントにプラスしてdポイントが必ずもらえます。

※ホーム画面やアプリ一覧画面では「マーケット」と表示されます。

dメニュー ※4

「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスにアクセスすることができるポータルサイトです。→P.131

dcard※4

dカードのご利用明細、たまったdポイント、おトクな情報のエントリーを確認できるアプリです。また、ドコモが提供する電子マネー「iD」の設定ができます。

Disney DX※4

Disney DX（ディズニー DX）は、お得な特典や、ディズニープラスをもっと楽しむための豊富なコンテンツがお楽しみいただけるアプリです。

ドコモからディズニープラスに入会いただくことですべての機能のご利用が可能です。

Facebook※4

Facebookは、人とのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。

Files※3

静止画や動画、音楽などのデータや、ダウンロードしたファイルを探すことができます。→P.192

Find Hub

紛失したAndroid™デバイスの位置をGoogleマップ上で特定したり、音を鳴らしたり、遠隔操作でロックやデータ消去を行ったりできます。

Fitbit

健康とフィットネスの取り組みを総合的に把握。運動習慣、睡眠の質、食生活の改善や、ストレス軽減に役立つ方法が見つかるアプリです。

Game enhancer※2

ゲーム体験を向上させる機能を提供します。ゲーム中のパフォーマンス最適化、誤操作防止などの専用設定でさらにゲームを楽しみやすくします。

Game enhancerについて詳しくは、次のヘルプガイドをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mobile/xperia-1m8-entertainment/ja/

Gemini

テキスト、音声、画像、カメラを使って、新しい知識の習得などができます。

Geminiについて詳しくは、Gemini画面でGoogleアカウントメニューを表示→［ヘルプ］→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

Gmail※3

Googleや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。→P.117

Google※3

キーワードを入力して知りたい情報を検索できます。→P.71

Google One

データのバックアップやGoogleアカウントのストレージの管理などができます。

Google TV

映画やテレビ番組などをレンタル・購入して再生できます。

Home

スマートホームデバイス（市販品）の設定、管理、操作ができるアプリです。

iDアプリ※4

ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざしてショッピングができます。→P.135

Kindle※4

Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。

LinkedIn※1

あなたのビジネスを支援する機能が多数搭載されたSNSアプリです。

Meet※3

ビデオ通話や会議などができるアプリです。

my daiz※4

出発時間に合わせて天気や電車の遅延を知らせたり、さまざまな問いかけに対話で応えてくれるサービスです。
あなたに合ったタイミングで、あなたに合った情報をお届けします。

Playストア

Google Playからアプリやゲームなどをダウンロード・購入できます。→P.131

PS App

PlayStation®Storeで最新のゲーム情報を確認したり、ゲーム仲間などと情報交換をしたりできるアプリです。

Reader by Sony

ソニーの本屋「Reader Store」で購入した電子書籍を読むことができるアプリです。

SmartNews for docomo※4

世の中で「いま」起きていることや、あなたの生活に役立つ、良質で身近な情報を毎日お届けするニュースアプリです。→P.78

Sound Connect

「Sony | Sound Connect」アプリを利用して、アプリ連携機能対応のソニー製ヘッドホン（市販品）の設定を、お好みにカスタマイズできます。

Video Creator

友達との共有やSNS投稿しやすい、短い動画を手軽に作れる動画編集アプリです。
Video Creatorについて詳しくは、次のヘルプガイドをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mobile/xperia-1m8-entertainment/ja/

Xperia Lounge※2

ソニーの製品やキャンペーン情報などを紹介するアプリです。

YouTube※3

YouTubeで動画を再生できます。

YT Music

YouTube Musicで音楽やミュージックビデオを再生できます。

＋メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます。→P.110

※1「ツール」フォルダ内に格納されています。
※2「おすすめ」フォルダ内に格納されています。
※3「Google」フォルダ内に格納されています。
※4「docomo」フォルダ内に格納されています。

❖お知らせ

- 通知パネルにアプリのアップデートやセットアップの一時停止をお知らせする通知が表示されている場合は、アプリのダウンロードが完了していません。以下の方法でダウンロードできます。
  - Wi-Fiに接続する（ダウンロードが自動的に開始されます）
  - ステータスバーを下にドラッグ→アプリのアップデートをお知らせする通知をタップ→画面の指示に従ってWi-Fiなどの設定を行う
  - モバイルネットワークでダウンロードする場合は、ステータスバーを下にドラッグ→セットアップの一時停止をお知らせする通知を開く（P.63）→［データを使用］をタップする
- プリインストールされている一部のアプリはアンインストールできます。また、アンインストールしたアプリは、「Playストア」（P.131）などから再度ダウンロードできる場合があります。
- アプリによっては、ダウンロード・インストールが必要になるものがあります。
- 複数のアプリを起動していると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。使用しないアプリはタスクマネージャを利用して終了することをおすすめします（P.66）。

電話／電話帳

電話をかける／受ける

電話をかける

1 ホーム画面で（電話）→「キーパッド」タブをタップ

2 電話番号を入力→［音声通話］

- （バックスペース）をタップすると、番号を削除できます。

3 通話が終了したら（通話を終了）をタップ

❖お知らせ

- 手順2で電話番号が未入力の状態で［音声通話］をタップすると、発信履歴の最新の電話番号が入力されます。
- 手順2で電話番号を入力すると画面上部にメニューが表示され、新しい連絡先の作成やメッセージの送信などができます。入力した番号と一致する連絡先が表示された場合は、（通話）をタップして発信できます。
- VoLTEは、音声通話を高品質でご利用いただけます。
  VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種どうしであること
  - VoLTEが利用できるエリアであること
  - 「優先ネットワークの種類」（P.204）が「5G（推奨）」「4G」のいずれかに設定されていること
- VoLTE（HD+）は、通話の音声がVoLTEよりさらに高音質でご利用いただけます。
  VoLTE（HD+）のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて自分と相手がVoLTE（HD+）対応機種である必要があります。
- 2つのSIMを同時に利用している場合は、電話をかけるときに使用するSIMを設定できます（P.105）。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

❖注意

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番の緊急通報を発信した場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
  ただし、お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。

なお、「184」を付加してダイヤルした場合など、通話ごとに非通知で発信した場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番に発信した際には、携帯電話からかけていることと、警察機関などの緊急通報受理機関側から確認などの電話をする場合があるため電話番号と明確な現在地を伝えてください。また、途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

❖お知らせ

- 日本国内では、SIMカードを取り付けていない、またはeSIMを設定していない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 画面ロックの解除方法を入力する画面で［緊急通報］をタップして、緊急通報をかけることができます。
- 着信拒否の設定がオンの状態でも、緊急通報を発信すると緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否の設定は無効になります。
  着信拒否の設定を有効にするには、ホーム画面で（電話）→「ホーム」タブをタップ→（ナビゲーションドロワーを開く）→［設定］→［ブロック中の電話番号］→［再度有効にする］をタップします。この操作を行うまで、着信拒否の設定は無効のままです。
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE（LTEネットワーク）のみ利用できます。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

ポーズ（,）（;）を入力して発信する

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を入力する必要があるサービスを利用する場合は、あらかじめ電話番号の他に追加する番号を入力して発信できます。

■ 2秒間の停止（,）を利用する

電話がつながると、追加した番号が約2秒後に自動的に送信されます。

1 **ホーム画面で（電話）→「キーパッド」タブをタップ**

2 **電話番号を入力→（その他のオプション）→［2秒間の停止を追加］→追加する番号を入力→［音声通話］**

3 **通話が終了したら（通話を終了）をタップ**

■ 待機（;）を利用する

電話がつながったら自動的に待機し、追加した番号を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

1 **ホーム画面で（電話）→「キーパッド」タブをタップ**

2 **電話番号を入力→（その他のオプション）→［待機を追加］→追加する番号を入力→［音声通話］**

3 **確認画面で［はい］**

4 **通話が終了したら（通話を終了）をタップ**

国際電話をかける（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。
WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 **ホーム画面で（電話）→「キーパッド」タブをタップ**

2 **＋（［0］をロングタッチ）→国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力→［音声通話］**

3 **通話が終了したら（通話を終了）をタップ**

❖お知らせ

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話を受ける

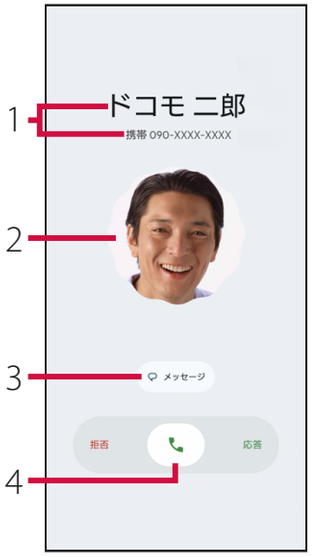
電話の着信があると、着信画面が表示されます。

- 画面の点灯中（ロック画面を除く）やアプリの起動中は、画面上部に通知が表示されます（P.99）。

1 着信画面で（応答ボタン）を右にスワイプ（フリック）

2 通話が終了したら（通話を終了）をタップ

■ 着信画面



1 通話相手の名前や電話番号など
2 連絡先に設定された写真／画像
3 メッセージ送信（P.99）
4 通話アイコン
- 右にスワイプ（フリック）すると応答、左にスワイプ（フリック）すると応答を拒否できます。

❖ お知らせ

- ホーム画面で（電話）→「ホーム」タブをタップ→（ナビゲーションドロワーを開く）→［設定］→［着信時の操作］→［着信時の操作］→［シングルタップ］をタップすると、着信画面で（応答）／（拒否）をタップする操作に変更できます。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で伝言メモを起動できます。

1 着信画面でステータスバーを下にドラッグ→［伝言メモ］

❖ お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに（電話の通知）が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ→伝言メモの通知をタップすると、伝言メモリストが表示され、録音された伝言メモを確認できます。

着信音を聞こえないようにする

1 着信時に音量ボタン（＋／－）または電源ボタンを押す

❖ お知らせ

- マナーモード（バイブレーション）設定中は着信時に音量ボタン（＋／－）または電源ボタンを押すと、着信バイブレータの振動を止めることができます。
- ホーム画面などで音量ボタン（＋／－）を押し、（音声の設定）をタップすると、着信音量や通話音量などを調節できます。

応答を拒否する

1 着信画面で（拒否ボタン）を左にスワイプ（フリック）

応答を拒否してメッセージを送信する

電話に出られない場合などに、応答を拒否してメッセージを送信できます。

1 着信画面で［メッセージ］

2 送信するメッセージをタップ

- ［カスタム返信を作成...］をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

❖お知らせ

- あらかじめメッセージを編集する場合は、ホーム画面で（電話）→「ホーム」タブをタップ→≡（ナビゲーションドロワーを開く）→［設定］→［クイック返信］→メッセージを選択して編集→［OK］をタップします。

アプリ起動中に電話を受ける

画面の点灯中（ロック画面を除く）やアプリの起動中に着信があると、画面上部に通知が表示されます。

1 ［応答］

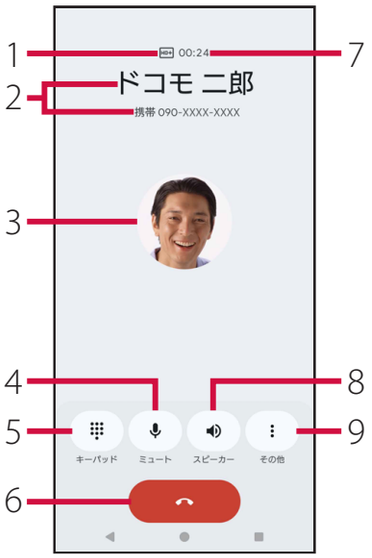
- 通話ができます。
- 応答を拒否する場合は［拒否］をタップします。
- 表示された通知の上部をタップすると、着信画面が表示されます。

2 通話が終了したら（通話を終了）をタップ

通話中の操作

通話中画面で音声出力先やミュートを設定したり、電話番号を入力して別の相手に電話をかけたりすることができます。

■ 通話中画面



1 VoLTE通話の音声品質
- VoLTE通話中に表示されます。

2 通話相手の名前や電話番号など
3 連絡先に設定された写真／画像
4 ミュート：送話口／メインマイクの消音のオン／オフを設定
5 キーパッド：通話中にプッシュ信号を送信
6 通話終了
7 通話時間
8 スピーカー：スピーカーフォンのオン／オフを設定
- 通話相手の声をメインスピーカーとセカンドスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
- Bluetooth機器などと接続している場合は、タップして音声出力先を切り替えられます。

9 その他
- タップすると、以下のメニューが表示されます。
  通話を追加：通話を追加できます。
  ビデオ通話：Google Meetを利用してビデオ通話ができます。
  録音：通話の録音を開始／停止できます。［録音］をタップすると通話を録音する旨のメッセージが自分と通話相手に流れ、通話の録音が開始されます。
  保留：通話を保留／再開できます。

❖ 注意

- 聴力を損なわないために、スピーカーフォンがオンになっている状態で本端末を耳に当てないでください。

❖ お知らせ

- 通話を保留／追加するには「キャッチホン」の契約が必要です。
- 発信中／着信中／通話中／保留中は、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。
  ホーム画面など別の画面に切り替えると、画面上部に通話時間が表示されます。通話時間をタップすると、通話中画面に戻ります。

通話音量を調節する

1 通話中に音量ボタン（＋／－）を押す

通話履歴

ホーム（電話）画面には、着信履歴や発信履歴などが時系列に一覧で表示されます。

通話履歴を表示する

1 ホーム画面で（電話）→「ホーム」タブをタップ

■ ホーム（電話）画面



1 メニュー
2 フィルター
- フィルターをタップすると、表示する通話履歴を絞り込めます。

3 お気に入り
- ［追加］をタップして選択した連絡先や、ドコモ電話帳でお気に入りに登録した連絡先が表示されます。

4 電話番号／名前
- タップすると、「連絡先に追加」「メッセージ」「履歴を開く」などのメニューが表示されます。通話を録音した場合は、録音の操作アイコンも表示されます。
- ロングタッチすると、通話履歴の電話番号の下に「電話番号をコピー」「発信前に電話番号を編集」「ブロックまたは報告」「削除」などのメニューが表示されます。

5 連絡先に設定した画像など
- タップすると連絡先のプロフィール画面が表示されます。

6 最近の通話履歴
- 2つのSIMを同時に利用している場合は、使用したSIMの名称が表示されます。

7 切替タブ
- ホーム／キーパッドのタブを切り替えます。

8 連絡先を検索
9 連絡先を表示
10 電話発信
- タップすると、通話履歴の電話番号に発信します。

通話履歴の電話番号を電話帳に登録する

1 ホーム画面で（電話）→「ホーム」タブをタップ

2 登録する電話番号をタップ→［連絡先に追加］

3 ［新しい連絡先を作成］
- すでに登録済みの連絡先に追加する場合は、追加する連絡先を選択します。

4 プロフィール編集画面で名前などの必要な項目を入力

- 項目を追加する場合は、［その他の項目］をタップします。

5 ［保存］

通話履歴を削除する

1 ホーム画面で（電話）→「ホーム」タブをタップ

2 削除する通話履歴をロングタッチ→［削除］→［削除］

❖お知らせ

- 通話履歴をすべて削除するには、手順2で≡（ナビゲーションドロワーを開く）→［通話履歴を削除］→［OK］をタップします。

不在着信を表示する

不在着信がある場合は、ステータスバーに（電話の通知）が表示されます。

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 ［不在着信］

❖お知らせ

- 「不在着信」の通知で操作メニューの［かけ直す］／［メッセージ］をタップすると、不在着信の相手に電話をかけたり、メッセージを送信したりできます。
- ロック画面に不在着信の通知が表示された場合は、タップしてからロックを解除すると通話履歴を表示できます。

伝言メモ

伝言メモを設定すると、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。

- 1件あたりの最大録音時間は約60秒です。

1 ホーム画面で(電話)→「ホーム」タブをタップ→≡(ナビゲーションドロワーを開く)をタップ

2 [設定]→[通話アカウント]→表示されたSIMをタップ

3 [伝言メモ]

- 説明画面が表示された場合は[OK]をタップします。

伝言メモ	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答時間設定	応答するまでの時間を設定します。
ローミング時の使用	海外渡航時に伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答メッセージ	応答メッセージを日本語または英語に切り替えます。
伝言メモリスト	録音された伝言メモを確認できます。

❖お知らせ

- 伝言メモを再生すると、伝言メモリストのアイコンが▶(未再生メッセージを再生)から▶(再生)に色が変わります。
- 伝言メモを削除するには、伝言メモリスト画面で伝言メモをロングタッチ→[削除]／[すべて削除]→[OK]をタップします。

ステータスバーから伝言メモを確認する

録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに(電話の通知)が表示されます。

1 ステータスバーを下にドラッグ→伝言メモの通知をタップ

- 伝言メモリストが表示されます。
- 伝言メモを再生するには、伝言メモをタップします。

❖お知らせ

- ロック画面に伝言メモの通知が表示された場合は、タップしてからロックを解除すると伝言メモリストを表示できます。

電話の設定

発着信の設定やクイック返信のメッセージ編集など、電話に関する設定ができます。

1 ホーム画面で(電話)→「ホーム」タブをタップ→≡(ナビゲーションドロワーを開く)→[設定]

2 各項目を設定

着信拒否の設定

1 ホーム画面で(電話)→「ホーム」タブをタップ→≡(ナビゲーションドロワーを開く)→[設定]

2 [ブロック中の電話番号]

連絡帳にない番号	電話帳に登録していない番号からの着信を拒否するかどうかを設定します。
非通知	電話番号が通知されていない着信を拒否するかどうかを設定します。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否するかどうかを設定します。
不明な発信者	電話番号を通知不可能な着信を拒否するかどうかを設定します。
番号を追加	着信とメッセージを拒否する電話番号を追加します。

通話設定

1 ホーム画面で(電話)→「ホーム」タブをタップ→≡(ナビゲーションドロワーを開く)→[設定]

2 [通話アカウント]

3 表示されたSIMをタップ

- 2つのSIMを同時に利用している場合は、設定するSIMを選択してください。

伝言メモ	P.103
ドコモオフィスリンク設定※1	オフィスリンク※2の保留転送、プレフィックスなどに関する設定を行います。

※1「発信先」(P.105)の設定状況により表示されない場合があります。その場合は、「発信先」で設定するSIMに変更してください。

※2 オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

発信の設定

2つのSIMを同時に利用している場合は、電話をかけるときに使用するSIMを設定できます。

1 ホーム画面で(電話)→「ホーム」タブをタップ→≡(ナビゲーションドロワーを開く)→［設定］

2 ［通話アカウント］→［発信先］

3 発信するときに使用するSIMをタップ、または［最初に確認する］

- 「最初に確認する」に設定すると、電話をかけるときにSIMの選択画面が表示され、使用するSIMを選択できます。

電話帳

電話帳では、電話番号、メールアドレス、各種サービスのアカウントなど、連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。

電話帳を表示する

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→［ドコモ電話帳］

- 連絡先一覧画面が表示されます。

❖お知らせ

- 電話帳にてクラウドサービスをご利用になるには、「ドコモ電話帳」アプリが必要です。「ドコモ電話帳」アプリを初めて使用する（アプリの初期化後を含む）ときや「ドコモ電話帳」アプリでクラウドにログインするときには、「クラウド機能の利用について」画面が表示され、クラウドの利用を開始できます。
- 所有者以外のユーザーに切り替えて利用する場合は、ドコモ電話帳のクラウドサービス機能は利用できません。
- エクスポート・インポートの機能を利用すると、電話帳のデータをmicroSDカードにバックアップ・復元できます（P.109）。

■ 連絡先一覧画面

連絡先一覧画面では、連絡先の名前などが表示されます。連絡先に写真や画像を設定したり、グループごとの連絡先を表示したりすることもできます。



1 メニュー
2 連絡先に設定された写真／画像
3 検索
4 連絡先に登録された名前
- タップするとプロフィール画面が表示されます。

5 登録

電話帳を管理する

連絡先を登録する

1 ホーム画面で（アプリー覧）→［ドコモ電話帳］→（新しい連絡先を作成）をタップ

- Googleアカウントなどを設定している場合は、保存先のアカウントを選択します。

2 プロフィール編集画面で名前などの必要な項目を入力

- 項目を追加する場合は［その他の項目］をタップします。

3 ［保存］

❖お知らせ

- 連絡先一覧の並びは、姓または名のふりがなの五十音順、アルファベット順に表示されます。ふりがなが空欄の場合は登録した姓または名の五十音順、アルファベット順に表示されますが、漢字の姓名は「他」欄に表示されます。
- 英字（半角）の姓名は、名-姓の順に表示されます。

電話帳から電話をかける

1 ホーム画面で（アプリー覧）→［ドコモ電話帳］→連絡先を選択

2 プロフィール画面で電話番号をタップ

連絡先を編集する

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[ドコモ電話帳]→編集する連絡先を選択

2 プロフィール画面で(編集)をタップ

- 連絡先を統合している場合は、編集する連絡先を選択します。

3 必要な項目を選択して編集

4 [保存]

連絡先をお気に入りに登録する

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[ドコモ電話帳]→お気に入りに登録する連絡先を選択

2 プロフィール画面で(お気に入りに追加)をタップして(お気に入りから削除)にする

❖お知らせ

- お気に入りに登録した連絡先は、連絡先一覧画面で★(お気に入り)の欄に表示されます。また、「電話」アプリの「お気に入り」にも表示されます(P.101)。

メニューを利用する

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[ドコモ電話帳]→(ナビゲーションドロワーを開く)→[設定]

- 連絡先一覧画面で連絡先を選択→プロフィール画面で(その他のオプション)をタップすると、プロフィール画面のメニューが表示されます。

■ 連絡先一覧画面

ユーザー情報	自分のプロフィールを表示して編集できます(P.109)。
クラウドメニュー ※	クラウドメニューを表示します。
海外利用設定	ドコモ電話帳を海外で利用する際、クラウドとの同期や設定など、通信が発生する機能を利用するかどうかを設定します。
利用状況レポート設定	利用状況の情報をドコモに送信するかどうかを設定します。 • クラウドの利用開始と連動してオンになります。
アカウント	P.187
新しい連絡先のデフォルト アカウント	連絡先をどのアカウントに登録するかを設定します。登録する際に［保存先］をタップして、アカウントを変更することもできます。
表示する連絡先	連絡先一覧画面に表示する連絡先を設定します。

フリガナ（名前）	連絡先にふりがな入力欄を表示するかを設定します。
インポート	連絡先をインポートします（P.109）。
エクスポート	連絡先をエクスポートします（P.109）。
番号指定拒否	着信拒否の設定を行います（P.104）。

※ クラウドへのログインが必要です。

■ プロフィール画面

統合／統合された連絡先を表示	表示している連絡先を統合／分割します。
削除	表示している連絡先を削除します。
共有	表示している連絡先をBluetooth機能やEメールなどを使って送信します。
ショートカットを作成	表示している連絡先のショートカットをホーム画面に作成します。
着信音を設定	表示している連絡先に着信音を設定します。

連絡先にラベル（グループ）を設定する

1 **ホーム画面で（アプリ一覧）→［ドコモ電話帳］→（ナビゲーションドロワーを開く）をタップ**

2 **［ラベルを作成］**

- すでにラベル（グループ）を作成している場合は、連絡先に設定したいラベル（グループ）を選択し、手順4に進みます。
- Googleアカウントなどを設定している場合は、ラベル（グループ）を作成するアカウントを選択します。

3 **ラベル（グループ）の名前を設定→［OK］**

4 **（連絡先を追加）→ラベル（グループ）に追加する連絡先をタップ**

❖ お知らせ

- 手順4で（その他のオプション）をタップすると、ラベル（グループ）名の変更やラベル（グループ）の削除ができます。連絡先が登録されている場合は、連絡先へのメールの送信や連絡先の削除もできます。

自分のプロフィールを確認して情報を編集する

1 **ホーム画面で（アプリ一覧）→［ドコモ電話帳］→（ナビゲーションドロワーを開く）→［設定］→［ユーザー情報］**

2 **（編集）→名前などの必要な項目を入力**

3 **［保存］**

電話帳をエクスポート／インポート／共有する

電話帳をmicroSDカードやSIMカード／eSIMからインポートしたり、microSDカードにエクスポートしたりできます。エクスポートした情報は、別の電話に移行する場合などに役立ちます。また、Bluetooth機能やEメールなどを使って、電話帳データの全件データ送信ができます。

- オンラインの同期サービスでも電話帳を同期できます（P.187）。
- microSDカードへエクスポート／インポートする場合は、あらかじめmicroSDカードを本端末に取り付けておきます（P.34）。

1 **ホーム画面で（アプリ一覧）→［ドコモ電話帳］→（ナビゲーションドロワーを開く）→［設定］→［エクスポート］／［インポート］**

2 **エクスポート方法やインポート元を選択→項目を選択**

- ［すべての連絡先を共有］をタップしてエクスポートする場合は、画面表示を確認してステータスバーを下にドラッグ→ドコモ電話帳の通知をタップして送信するアプリを選択します。
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。
ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で⊞（アプリ一覧）→［ドコモメール］

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

＋メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプなどをチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやり取りだけではなく、複数人でのグループメッセージのやり取りもできます。
＋メッセージを利用していない相手とは、「＋メッセージ」アプリでショートメッセージサービス（SMS）での送受信をすることができます。
また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやり取りを行うことができます。
＋メッセージの詳細については、ホーム画面で⊞（アプリ一覧）→［＋メッセージ］→［マイページ］→［ヘルプ］→［使い方ガイド］をタップして使い方ガイドを参照するか、以下のドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/

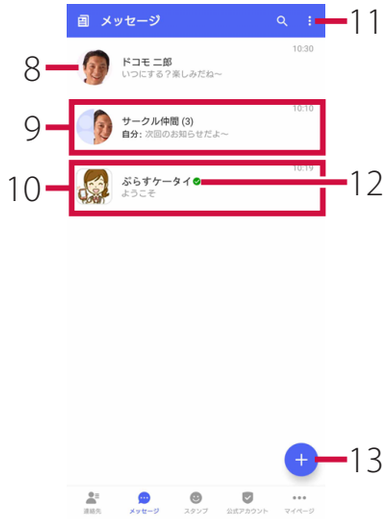
1 ホーム画面で⊞（アプリ一覧）→［＋メッセージ］

- 画面下部のメニューより［連絡先］をタップすると連絡先一覧画面が、［メッセージ］をタップするとメッセージ一覧画面が表示されます。

連絡先一覧画面



メッセージ一覧画面



1 切替タブ
- タップすることで、すべての連絡先を表示するか、＋メッセージの利用者（（＋メッセージステータス）のアイコンが表示されている連絡先）のみを表示するか、切り替えることができます。

2 マイプロフィール
- お客様の連絡先が表示されています。タップすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

3 公式アカウントを探す
- タップすると公式アカウントストアが表示されます。

4 お気に入りの連絡先
- お気に入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上段、「公式アカウントを探す」の下に表示されます。

5 （＋メッセージステータス）：＋メッセージを利用している連絡先を表すアイコン
- このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやり取りができたり、写真、スタンプなどをやり取りしたりすることができます。

6 連絡先
- タップすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

7 （連絡先を追加）：QRコードで追加／新しい連絡先

8 プロフィール画像
- 相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

9 メッセージ：メッセージ画面を表示

10 公式アカウント
- 企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角（□）で表示されます。

11 （その他のオプション）：サブメニューを表示
- すべて既読：未読メッセージをすべて既読にします。
- メッセージの並べ替え：メッセージの並べ替えを行います。

12 ✅（チェックマーク）：ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマーク
13 ＋（新しいメッセージを開始）：新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成

メッセージを送信する

1 ホーム画面で⊞（アプリ一覧）→［＋メッセージ］

2 画面下部のメニューより［メッセージ］→＋（新しいメッセージを開始）→［新しいメッセージ］／［新しいグループメッセージ］

- グループメッセージとは、＋メッセージサービス利用者（連絡先に（＋メッセージステータス）のアイコンが表示されている人）複数人でメッセージのやり取りができる機能です。

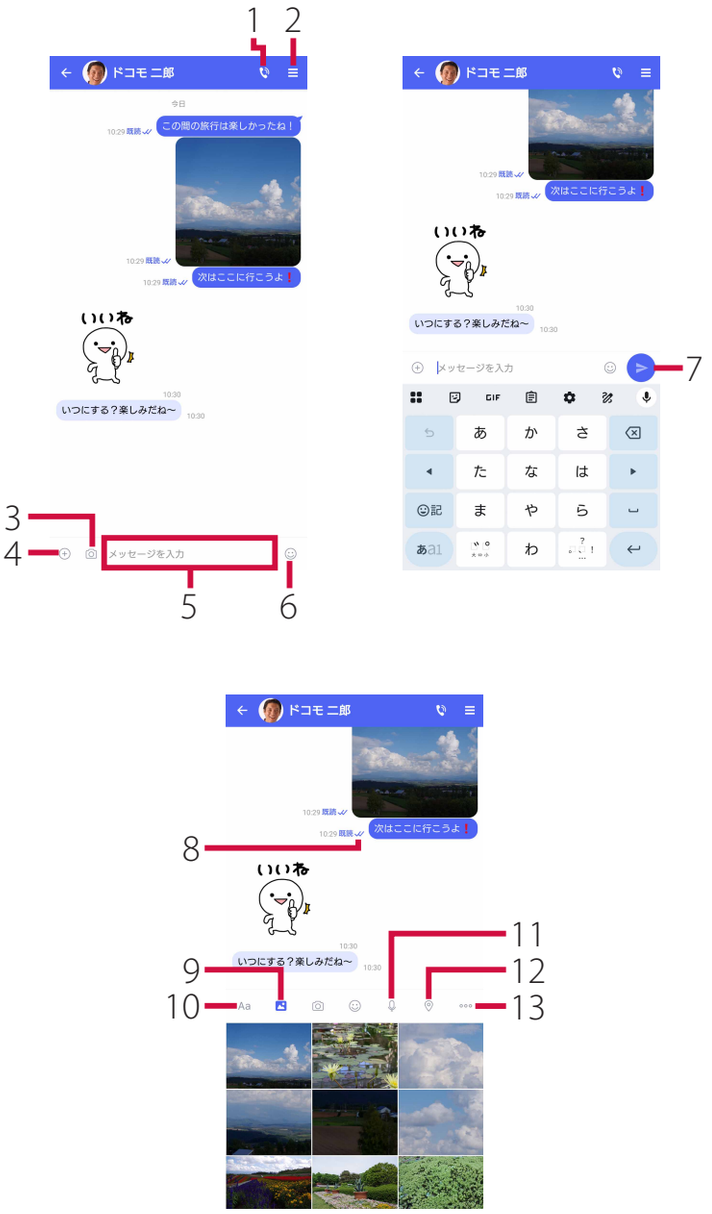
3 宛先を選択

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、［名前や電話番号を入力］をタップし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、［OK］をタップしてください。

4 メッセージ入力欄にメッセージを入力→▷（送信）をタップ

- 宛先が＋メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。

メッセージ画面



1 （通話を開始）：「電話」アプリを起動し、発信
2 （メッセージ詳細）：サブメニューを表示
- 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。

3 （写真を撮る）：カメラを起動
- ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。

4 ⊕（プラスマーク）：写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示
- シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。

5 メッセージ入力欄
- メッセージを入力することができます。

6 ☺（スタンプ）：スタンプ選択画面への切り替え
7 ➤（送信）：入力したメッセージを送信
8 メッセージの配信状態を表示
- 既読 ✓✓（メッセージの状態　表示）：相手がメッセージを閲覧済み
  送受信者両方の「メッセージの既読機能」がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。
- ✓（メッセージの状態　配信済み）：相手の端末でメッセージを受信済み
- （アイコン表示なし）：サーバにメッセージを送信済み
- ✕（メッセージの状態　送信失敗）：メッセージ送信に失敗

9 🖼（ギャラリー）：画像選択画面への切り替え
10 Aa（テキスト入力切り替え）：テキスト入力画面への切り替え
11 🎙（ボイスメッセージ）：音声録音画面への切り替え
12 📍（位置情報）：地図画面への切り替え
13 ∘∘∘（マイページ）：連絡先／スケッチ／ファイル共有を選択

ショートメッセージサービス（SMS）についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・地域・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「＋」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「＃」または「＊」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184／186を付与した場合はSMSを送信できません。

＋メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより「＋メッセージ」アプリをご利用いただくには、「＋メッセージ」アプリにて海外ローミング時の＋メッセージ利用設定をオンに設定していただく必要があります（お買い上げ時はオフに設定されています）。また、本端末のデータローミングの設定をオンにしてください。

- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で＋メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには「＋メッセージ」アプリを起動し、＋メッセージ利用規約などに同意いただく必要があります。

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

1 **ホーム画面で(アプリ一覧）→[＋メッセージ]**

2 **画面下部のメニューより［メッセージ］→読みたいメッセージのスレッドを選択**
- メッセージを返信する際に使用する各機能について（P.112）

メッセージを転送する

1 **ホーム画面で(アプリ一覧）→[＋メッセージ]**

2 **画面下部のメニューより［メッセージ］→スレッドを選択**

3 **転送するメッセージをロングタッチ→［転送］**

4 **宛先を選択→メッセージを入力→(送信）をタップ**

メッセージを削除する

1 **ホーム画面で(アプリ一覧）→[＋メッセージ]**

2 **画面下部のメニューより［メッセージ］→スレッドを選択**

3 **削除するメッセージをロングタッチ→［削除］→［削除］**
- 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
- 画像選択時など、「削除」が表示されない場合があります。その場合は、(その他のオプション）→［削除］→［削除］をタップしてください。

スレッドを削除する

1 **ホーム画面で(アプリ一覧）→[＋メッセージ]**

2 **画面下部のメニューより［メッセージ］→削除するスレッドをロングタッチ**

3 **［削除］→［削除］**
- グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

＋メッセージの設定を変更する

1 ホーム画面で⊞（アプリ一覧）→［＋メッセージ］

2 画面下部のメニューより［マイページ］→［設定］

メッセージ	メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
公式アカウント	公式アカウントの通知音が設定できます。
写真や動画	送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
テーマカラー・背景	テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
通知	通知に関する設定ができます。
プライバシー	パスコードやブロックなどが設定できます。
その他	ユーザー情報引き継ぎの設定や＋メッセージサービスの初期化などができます。

公式アカウント機能を利用する

1 ホーム画面で⊞（アプリ一覧）→［＋メッセージ］

2 画面下部のメニューより［公式アカウント］

3 公式アカウントストア画面にて利用したいアカウントをタップ

4 「利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します」にチェックを入れる

5 ［利用する］

利用するSMSアプリを変更する

利用するSMSアプリを切り替えます。
お買い上げ時は、次のSMSアプリがプリインストールされています。

- 「＋メッセージ」について（P.110）
- 「メッセージ」について（P.116）

1 ホーム画面で⊞（アプリ一覧）→［設定］→［アプリ］

2 ［デフォルトのアプリ］→［SMSアプリ］

3 ［＋メッセージ］／［メッセージ］

❖お知らせ

- 切り替え後はSMSでの送受信（有料）になる場合がありますのでご注意ください。
- 利用するSMSアプリの変更の詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/usage/#p14

メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、SMSを送受信できるGoogleのメッセージアプリです。

メッセージを送信する

1 ホーム画面で（メッセージ）

2 ［チャットを開始］

3 宛先を選択

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、「宛先」欄に電話番号を直接入力してください。
- ［グループを作成］をタップすると、複数人にメッセージを送ることができます。
- 2つのSIMを同時に利用している場合は、「経由」欄から使用するSIMを選択してください。

4 メッセージを入力→（SMSを送信）／（暗号化されたメッセージを送信）をタップ

メッセージを表示する

1 ホーム画面で（メッセージ）

2 読みたいメッセージを選択

Gmail

Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- Googleアカウント（P.45）やEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

❖お知らせ

- Gmailについて詳しくは、ホーム画面で［Google］→［Gmail］→≡（ナビゲーションドロワーを開く）→［ヘルプとフィードバック］をタップしてGmailのヘルプをご覧ください。

Gmailを送信する

1 ホーム画面で［Google］→［Gmail］

2 ［作成］

3 送信相手のEメールアドレスを入力

- CcまたはBccを追加する場合は、⌄（Cc、Bccを追加）をタップします。

4 件名や本文を入力

5 ▷（送信）をタップ

❖お知らせ

- ファイルを添付する場合は、Gmail作成中に📎（ファイルを添付）をタップし、画面の指示に従ってファイルを選択します。

Gmailを更新する

1 ホーム画面で［Google］→［Gmail］

2 受信トレイで画面を下にスワイプ（フリック）

- 受信トレイを更新します。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェアアップデート中
  - SIMカードロックを設定しているときのPINコード入力画面表示中
- メインユーザー（所有者）の通話とSMSの許可がオフになっている場合、サブユーザーは一律で災害・避難情報を受信できません。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴る

3 エリアメールの本文が表示される

受信したエリアメールを後で確認する

1 ホーム画面で⊞（アプリー覧）→［ツール］→［災害用キット］

2 ［緊急速報「エリアメール」］→［エリアメール］

3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

エリアメールを削除する

削除したエリアメールは元には戻せません。

1 **ホーム画面で(アプリ一覧)→[ツール]→[災害用キット]**

2 **[緊急速報「エリアメール」]→[エリアメール]**

3 **エリアメール一覧から、任意のエリアメールをロングタッチ→(ゴミ箱マーク)→[削除]**

Chrome

パケット通信またはWi-Fiによる接続でウェブサイトを閲覧できます。

利用するブラウザを変更する

利用するブラウザアプリを切り替えることができます。

1 **ホーム画面で(アプリ一覧)→[設定]→[アプリ]**

2 **[デフォルトのアプリ]→[ブラウザアプリ]**

3 **ブラウザアプリを選択**

ウェブサイトを表示する

1 **ホーム画面で(Chrome)をタップ**

2 **画面上部のアドレス入力欄をタップ**
- アドレス入力欄が表示されていない場合は、画面を下にスワイプ（フリック）すると表示されます。

3 ウェブサイトのアドレスまたは検索する語句を入力

- アドレス入力欄に（音声検索を開始）が表示されているときは、タップすると検索する語句を音声で入力できます。
- アドレス入力欄に（Googleレンズを使ってカメラで検索します）が表示されているときは、タップするとGoogleレンズが起動し、カメラを使って情報を検索できます。
- アドレスや文字の入力などに従って、一致するウェブサイトの候補が表示されます。

4 候補を選択するか、ソフトウェアキーボードの→（実行）をタップ

- ページを拡大／縮小するには、画面をピンチアウト／インします。
- 前のページに戻るには、（戻る）をタップします。

❖お知らせ

- ページ内のテキストをコピーするには、コピーするテキストをロングタッチ→（範囲選択）または（範囲選択）をドラッグしてコピーするテキストの範囲を選択→［コピー］をタップします。

新しいタブを追加する

複数のタブを開き、ウェブサイトの閲覧ができます。

1 ホーム画面で（Chrome）→⋮（Google Chromeの設定）→［新しいタブ］

2 ウェブサイトを表示

- アドレス入力欄の横に表示されているアイコン内の数字は、開いているタブの件数です。

シークレットタブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、ウェブサイトの閲覧ができます。

1 ホーム画面で（Chrome）→⋮（Google Chromeの設定）→［新しいシークレット タブ］

2 ウェブサイトを表示

❖お知らせ

- シークレットタブでは、アドレス入力欄の周囲がグレーになります。
- シークレットタブを閉じるには、「タブを閉じる」（P.121）をご参照ください。
- シークレットタブで開いたウェブサイトは履歴に残りません。タブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ダウンロードしたファイルやブックマークしたウェブサイトはシークレットタブでも保存されます。

タブを切り替える

1 **②（XX個のタブを表示）をタップ**
- 現在開いているタブがサムネイルで一覧表示されます。

2 **表示するタブをタップ**

❖お知らせ
- 手順1のアイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

タブを閉じる

1 **②（XX個のタブを表示）→閉じるタブの×（XXXタブを閉じます）をタップ**
- タブを左右にスワイプ（フリック）しても閉じることができます。

❖お知らせ
- 手順1のアイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

ページ内のテキストを検索する

1 **ホーム画面で（Chrome）→⋮（Google Chromeの設定）→[ページ内検索]**

2 **検索する語句を入力**
- ∧（前へ）／∨（次へ）をタップすると、前後の一致項目にハイライトが移動します。

❖お知らせ
- 検索バーを閉じるには、×（閉じる）をタップします。

Chromeの設定を変更する

1 **ホーム画面で（Chrome）→⋮（Google Chromeの設定）→[設定]**

ログイン	Google アカウントでChromeにログインし、同期を設定します。
Googleのサービス	Googleのサービスを設定します。
検索エンジン	検索エンジンを設定します。
アドレスバー	アドレスバーの位置を設定します。
プライバシーとセキュリティ	お支払い方法へのアクセスやページのプリロードなどを設定したり、閲覧履歴データを削除したりします。
安全チェック	データ侵害や安全ではないウェブサイトなどの脅威から保護できているかどうかを確認します。
Google パスワード マネージャー	ウェブサイトに入力したパスワードを保存するかどうかなどを設定します。
お支払い方法	お支払い方法の自動入力を利用するかどうかや、自動入力時に利用するクレジットカード情報を設定します。

住所やその他の情報	住所などの情報の自動入力を利用するかどうかや、自動入力時に利用する住所や名前、電話番号、メールアドレスなどの情報を保存します。
自動入力サービス	パスワード、パスキー、住所、お支払い方法などを自動入力できるようにする自動入力サービスを設定します。
タブとタブグループ	タブについて設定します。
ホームページ	⌂（ホームページを開く）をタップしたときに表示されるページについて設定します。
通知	Chromeの通知方法を設定します。
デザイン	Chromeのモード（色調）を設定したり、アドレス入力欄の右側に表示させるショートカットを設定したりします。
ユーザー補助機能	ズームや字幕などを設定します。
サイトの設定	CookieやJavaScriptなどサイトに関する設定をします。
言語	設定した言語でウェブサイトのテキストを表示します。 • ウェブサイトによっては設定した言語で表示されない場合があります。
ダウンロード	ダウンロード時の保存場所を確認できます。
Chromeについて	Chromeのバージョンなどを確認できます。

リンクを操作する

ページ内のリンクや画像をロングタッチすると、URLをコピーしたり、画像をダウンロードしたりできます。

❖ お知らせ

- ウェブサイトによってはファイルなどのダウンロードができない場合があります。

ブックマークと履歴を管理する

履歴の確認やブックマークの保存などができます。

ウェブサイトをブックマークする

1 ホーム画面で（Chrome）→ブックマークするウェブサイトを表示

2 ⋮（Google Chromeの設定）→☆（ブックマーク）をタップ

ブックマークを開く

1 ホーム画面で（Chrome）→⋮（Google Chromeの設定）→[ブックマーク]

2 開くブックマークをタップ

❖お知らせ

- ブックマークの一覧で⋮（XXXのオプション）をタップするか、ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集／削除／フォルダ移動などができます。

履歴を確認する

1　ホーム画面で（Chrome）→⋮（Google Chromeの設定）→［履歴］

2　確認する履歴をタップ

❖お知らせ

- 履歴を削除するには、履歴の⊗（XXXを削除）をタップします。
- 履歴をすべて削除するには、［閲覧履歴データを削除...］→削除する期間を選択→「閲覧履歴」にチェックが入っているかを確認し、［データを削除］をタップします。確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

カメラ／フォト

カメラ

さまざまな撮影方法で写真や動画を撮影します。スローモーションやぼけ効果での撮影をはじめ、プロ仕様の本格的な操作性や機能で撮影することもできます。
本書では、基本的な写真および動画の撮影方法について記載しております。
カメラの詳しい操作方法については、以下をご参照ください。
https://rd1.sony.net/help/mobile/xperia-1m8-entertainment/ja/

- 本端末で撮影した写真や動画などの撮影データは、内部ストレージに保存されます。microSDカードに保存する場合は、カメラを使用する前にmicroSDカードを取り付けて、保存先を変更してください。
- 撮影データ（4K動画撮影、120fps（フレームレート）での動画撮影、RAW形式での写真撮影、スローモーション撮影）の保存先をmicroSDカードにする場合は、高速書き込みが可能なmicroSDカード（ビデオスピードクラスV30以上推奨）をご使用ください。推奨されていないクラスのmicroSDカードを使用すると保存されない場合があります。
- 本端末の温度が上昇すると、カメラが起動しない場合や、停止する場合があります。

■ 著作権・肖像権について

お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権に関わる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

撮影／画像送信について

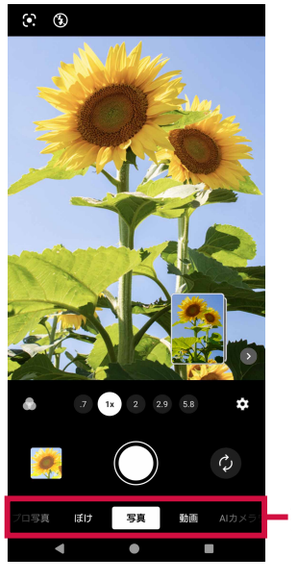
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラを起動する

1 ホーム画面で［カメラ］

- 撮影画面が表示されます。
- 本端末の向きに合わせて、撮影画面が縦または横に自動で切り替わります。



撮影モード

2 撮影モードを左右にドラッグして切り替える

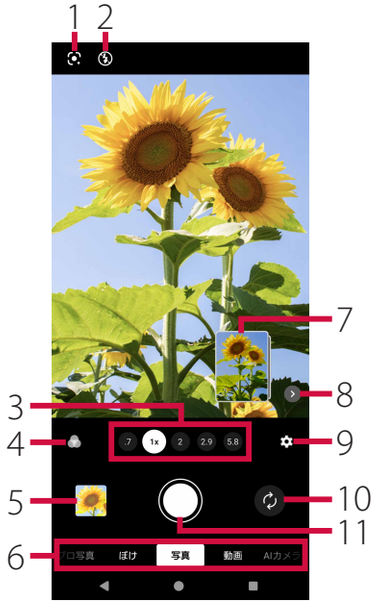
写真	写真を撮影します。
動画	動画を撮影します。
ぼけ	背景をぼかして写真を撮影します。
AIカメラワーク	被写体の位置が安定した滑らかな動画を撮影します。
プロ写真	本格カメラの操作性と機能で写真を撮影します。
プロ動画	本格カメラの操作性と機能で動画を撮影します。
その他	48MP、オートフレーミング、スロー、ぼけ動画、パノラマの撮影をします。

❖ お知らせ

- シャッターボタンを1秒以上押してもカメラをすばやく起動することができます。
- 撮影画面で何も操作しないまま一定の時間が経過すると、カメラが終了します。
- 撮影した写真や動画は「フォト」アプリで確認できます。

写真を撮影する

■ 写真モードの撮影画面



1 Googleレンズ起動
- タップしてGoogleレンズを起動し、カメラを使って情報を検索します。

2 フラッシュ
- タップしてオート／オフを切り替えます。

3 レンズ倍率アイコン
- レンズ倍率アイコン（0.7倍／1倍／2倍／2.9倍／5.8倍）をタップしてズームの倍率を変更します。
- レンズ倍率アイコンを左右にドラッグするとズーム操作ができます。

4 クリエイティブ
- タップしてプリセットからお好みの雰囲気の仕上がりを選択します。

5 サムネイル
- タップして撮影した写真や動画の確認や編集などをします。
  をタップしたり画面を下にスワイプ（フリック）したりすると、撮影画面に戻ります。

6 撮影モードの切り替え→P.125

7 AIカメラアシスタントのサブ画面
AIが認識したシーンに応じて、おすすめの表現をサブ画面に表示します。
- サブ画面を左右にスワイプすると４つのサブ画面が表示されます。お好みのサブ画面をタップすると、選択した画作りが適用されます。さらにをタップすると、細かな色味「明るさ/暖かさ/色合い/明暗/鮮やかさ」の調整が行えます。

8 サブ画面の表示／非表示
- ／をタップしてサブ画面を表示／非表示にします。

9 クイックメニュー→P.129
- タップすると「縦横比」「タイマー」「フラッシュ」のクイックメニューが表示されます。

10 メインカメラ／フロントカメラの切り替え
- タップするたびに切り替わります。

11 シャッター
- タップして写真を撮影します。
- ロングタッチすると動画を撮影できます。までドラッグすると、画面から指を離しても撮影を継続できます。（停止アイコン）をタップすると停止します。

1 撮影画面で撮影モードを「写真」に切り替える

2 被写体に本端末を向けて設定を変更

3 （シャッターアイコン）をタップまたはシャッターボタンを押す
- オートフォーカス機能で撮影するときは、シャッターボタンを半押しし、緑色のフォーカス枠が表示されたら、そのままシャッターボタンを止まるまでしっかり押してください。

ハンドシャッターで撮影する

フロントカメラで撮影する際に、カメラに手のひらを向けることで自動的に撮影することができます。アイコンをタップするなどの操作をせずに自分撮りができます。
- 「メニュー」（P.129）で「ハンドシャッター」のオン／オフを設定できます。

1 撮影画面で撮影モードを「写真」に切り替える

2 フロントカメラに切り替えてカメラに手のひらを向ける

- 手のひらマークが現れると撮影されます。
- 「タイマー」（P.129）を設定すると、設定した秒数が経過した後に撮影されます。

❖ お知らせ

- 表示される項目や操作は、設定状況、メインカメラ／フロントカメラによって異なります。
- 被写体の顔を検出すると、顔の位置に枠が表示されます。
- メインカメラで撮影画面の被写体をタップするとタッチトラッキングのフォーカス枠が表示され、被写体にピントを合わせ続けます。
- 撮影画面をタップすると明るさと色合い調節のスライダーが表示されます。スライダーをドラッグして明るさと色合いを調節できます。
- メインカメラでの撮影時、被写体が近づくと自動的に近接撮影（超広角レンズ）に切り替わり、画面上部に[マクロ]が表示されます。[マクロ]をタップしてオフにすることもできます。
- 夜間など光量が少なくなると自動的にナイト撮影が開始され、画面上部に[ナイト]が表示されます。暗い場所でも明るく見やすい写真が撮影できます。[ナイト]をタップしてオフにすることもできます。
- メインカメラでQRコードをスキャンできます。
- 次のようにズーム操作しても、倍率を細かく調節できます。
  - ズームボタン（＋／－）を押す
  - 画面をピンチアウト／イン
- フロントカメラでは、ズーム操作はできません。

動画を撮影する

■ 動画モードの撮影画面



1 ライト
- タップしてオン／オフを切り替えます。

2 解像度の現在の設定値
- タップするたびに「FHD」「4K」が切り替わります。

3 フレームレートの現在の設定値
- タップするたびに「24」「30」「60」「120」が切り替わります。

4 レンズ倍率アイコン→P.126

5 クリエイティブ／シネマティック
- タップしてプリセットからお好みの雰囲気の仕上がりを選択したり、シネマティックな階調や色再現を追求したプリセットを選択したりします。

6 サムネイル→P.126

7 撮影モードの切り替え→P.125

8 顔AF枠
- 被写体の顔を検出すると、顔の位置に枠が表示されます。

9 クイックメニュー→P.129
- タップすると「解像度」「フレームレート」「ライト」のクイックメニューが表示されます。

10 メインカメラ／フロントカメラの切り替え→P.126

11 撮影開始／停止
- タップして動画の撮影を開始／停止します。

1 撮影画面で撮影モードを「動画」に切り替える

2 被写体に本端末を向けて設定を変更

3 ●（撮影開始アイコン）をタップまたはシャッターボタンを押す
- 動画の撮影を開始します。

4 ■（撮影停止アイコン）をタップまたはシャッターボタンを押す
- 動画の撮影が停止します。
- ⏸（一時停止アイコン）／●（撮影再開アイコン）をタップすると録画を一時停止／再開できます。

❖お知らせ
- 表示される項目や操作は、設定状況、メインカメラ／フロントカメラによって異なります。
- 動画撮影時は、マイクを指などでふさがないようにしてください。
- メインカメラで撮影画面の被写体をタップするとタッチトラッキングのフォーカス枠が表示され、被写体にピントを合わせ続けます。
- 撮影画面をタップすると明るさと色合い調節のスライダーが表示されます。スライダーをドラッグして明るさと色合いを調節できます。
- メインカメラでの撮影時、被写体が近づくと自動的に近接撮影（超広角レンズ）に切り替わり、画面上部に🌷が表示されます。🌷をタップしてオフにすることもできます。
- 次のようにズーム操作しても、倍率を細かく調節できます。
  - ズームボタン（＋／－）を押す
  - 画面をピンチアウト／イン
- フロントカメラでは、ズーム操作はできません。
- 動画撮影中に◯（シャッターアイコン）をタップすると写真を撮影できます。その際、シャッター音は鳴りません。

撮影時の設定を変更する

- 表示される設定項目は、撮影方法、メインカメラ／フロントカメラによって異なります。
- 設定項目によっては、他の設定や機能と同時に使用できない場合があります。

クイックメニューから変更する

1 **撮影画面で⚙**
- クイックメニューが表示されます。

■ **縦横比**※1
撮影する写真の縦横比を設定します。

■ **タイマー**※1
セルフタイマーの秒数を設定します。設定した秒数がシャッターアイコンに表示されます。
◯（シャッターアイコン）をタップまたはシャッターボタンを押すと設定した秒数が経過した後に撮影します。

■ **フラッシュ**※1
フラッシュの発光方式を設定します。

■ **解像度**※2
撮影する動画の解像度を設定します。

■ **フレームレート**※2
フレームレートを変更します。

■ **ライト**※3
ライトを使用して動画を撮影するかどうかを設定します。

■ **メニュー**
さらに詳細にカメラの設定を変更できます。詳しくは、以下をご参照ください。
https://rd1.sony.net/help/mobile/xperia-1m8-entertainment/ja/

※1「写真」撮影時に設定できます。
※2「動画」撮影時に設定できます。
※3「動画」のメインカメラ撮影時に設定できます。

フォト

写真や動画を閲覧・再生したり、管理したりすることができます。

写真や動画を表示する

1 ホーム画面で［フォト］

2 画像または動画をタップ

- 写真や動画が表示されます。
- ファイル一覧画面でファイルをロングタッチすると、共有やゴミ箱などのメニューが表示されます。続けて他のファイルをタップして複数のファイルを選択することもできます。

❖お知らせ

- 「フォト」アプリについて詳しくは、フォト画面でGoogleアカウントメニューを表示→［ヘルプとフィードバック］をタップしてヘルプをご覧ください。

ファイル（写真や動画）を削除する

1 ホーム画面で［フォト］

2 削除するファイルをロングタッチ

- ファイルをロングタッチした後に、続けて他のファイルをタップして複数のファイルを選択することもできます。

3 ［ゴミ箱］→［ゴミ箱に移動］

- ゴミ箱に移動したファイルは、一定期間後にGoogleアカウントおよび同期しているデバイス（本端末）から削除されます。
- デバイス（本端末）からのみ削除し、Googleアカウントに残す場合はファイルがGoogleアカウントにバックアップされていることを確認の上、［デバイスから削除］→［デバイスから削除］をタップします。

アプリ

dメニュー

dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスにアクセスすることができるポータルサイトです。

1 ホーム画面で［dメニュー］

- ウェブブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

※ご利用時には、「サイトご利用にあたって」をご確認ください。
https://smt.docomo.ne.jp/portal/src/terms.html

Playストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを本端末にインストールできます。

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です（P.45）。
- 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくはGoogle Playのヘルプをご覧ください。
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlayストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリをインストールする

1 **ホーム画面で［Playストア］**

2 **アプリを検索→インストールするアプリをタップ**
- 表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ
- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

アプリをアンインストールする

1 **ホーム画面で［Playストア］**

2 **Googleアカウントメニューを表示**

3 **［アプリとデバイスの管理］→「管理」タブをタップ**

4 **アンインストールするアプリをタップ→［アンインストール］→［アンインストール］**
- 有料アプリをアンインストールする場合は、画面の指示に従って操作してください。詳しくはGoogle Playのヘルプをご覧ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に、おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。
おサイフケータイについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりできませんので、原則としてデータをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

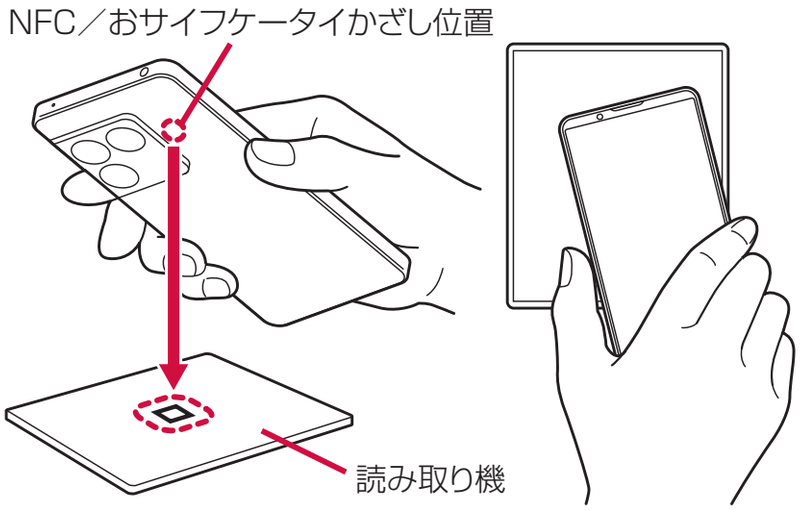
- 故障や機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

※おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。

- 背面のカメラバンプ右側にあるNFC／おサイフケータイかざし位置を対向機にかざしてください。
- NFC／おサイフケータイかざし位置を対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- NFC／おサイフケータイかざし位置を対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- NFC／おサイフケータイかざし位置と対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。



NFC／おサイフケータイの機能をオンにする

1 ホーム画面で→［設定］→［接続設定］→［接続の詳細設定］

2 ［NFC／おサイフケータイ］→「NFC／おサイフケータイ」のをタップ

- NFC／おサイフケータイの機能がオンになります。NFC／おサイフケータイの機能をオンにすると、おサイフケータイ対応サービスのすべてが利用できます。

❖お知らせ

- カメラを起動しているときは、NFC／おサイフケータイの機能はご利用いただけません。

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ アプリよりサービスを設定してください。

- あらかじめNFC／おサイフケータイの機能をオンにしてください（P.134）。

1 ホーム画面で→［ツール］→［おサイフケータイ］

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選択

3 サービスを設定する

- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

4 本端末のNFC／おサイフケータイかざし位置を読み取り機にかざす

❖お知らせ

- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定の時間は、利用できなくなることがあります。
- 本端末の「STAMINAモード」（P.170）や「データセーバー」（P.156）の設定に関わらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。

• 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

おサイフケータイの機能をロックする

おサイフケータイをロックすると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

「NFC／おサイフケータイ ロック ON/OFF」を設定する

スリープモード中に本端末をかざしての利用を制限します。

• 「画面ロック」（P.180）または「指紋」（P.182）を設定している場合は、解除してから利用してください。

1 ホーム画面で→［設定］→［接続設定］→［接続の詳細設定］

2 ［NFC／おサイフケータイ］→「NFC／おサイフケータイ ロック ON/OFF」の をタップ

■ NFC

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能などがご利用いただけます。

非接触型決済

• あらかじめNFC／おサイフケータイの機能をオンにしてください（P.134）。

1 ホーム画面で→［設定］→［接続設定］→［接続の詳細設定］

2 ［NFC／おサイフケータイ］→［非接触型決済］

3 アプリを選択、または［なし］

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざしてショッピングができます。

• iDをご利用の場合、iDアプリ等で設定を行う必要があります。発行の方法、ご利用にかかる費用等については、各カード会社にお問い合わせください。

• iDに関する情報については、iDのホームページをご覧ください。
https://id-credit.com/

ミュージック

「ミュージック」アプリを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽を再生します。

楽曲データを再生する

- 楽曲再生中にmicroSDカードのマウント（読み書き可能状態）の解除（P.170）は行わないでください。

1 ホーム画面で⊞→［おすすめ］→［ミュージック］

2 ≡→カテゴリを選択→再生する楽曲を選択

❖お知らせ

- ○をタップするとホーム画面に戻り、バックグラウンドで再生することができます。ホーム画面で⊞→［おすすめ］→［ミュージック］をタップすると、ミュージックの画面を表示できます。また、ステータスバーを下にドラッグして楽曲の操作パネルをタップすると、楽曲再生画面を表示できます。
- ハイレゾ・オーディオ音源は、ハイレゾ・オーディオ対応機器を接続することでハイレゾ・オーディオとして再生できます。
- ハイレゾ・オーディオ音源をオリジナル音質で再生するには、「再生音質」（P.162）で以下のいずれかに設定してください。
  - 「オーディオエフェクト」をオフにする
  - 「オーディオエフェクト」をオンにし、「音質重視」に設定する
  - 「オーディオエフェクト」をオンにし、「カスタム」に設定して、エフェクト設定の各アプリで「DSEE Ultimate」を適用する
- 「オーディオ設定」について詳しくは、「再生音質」（P.162）をご覧ください。
- 画面右上に📡が表示された場合は、Google Cast対応機器で音楽を再生できます。📡をタップして、画面の指示に従って接続します。Google Cast対応機器で再生するには、あらかじめGoogle Cast対応機器と同一のWi-Fiネットワークに接続しておきます（P.146）。

楽曲を共有する

楽曲データをBluetoothやメール添付などで送信することができます。

1 楽曲一覧画面で送信する楽曲をロングタッチ→［共有］

2 アプリを選択

- 以降の操作は、選択したアプリにより異なります。

❖お知らせ

- DRM管理コンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。

位置情報サービスについて

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワークを使用して現在地を測位できます。

GPS機能

本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。
現在地の測位にGPS機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分たっても現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ部（P.30）を覆わないようにしてください。
GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に数分かかることがあります。

- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出ることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内

- 本端末の周囲に障害物（人やもの）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

❖注意

- 一部、または全部のGPS機能を使用できない場合は、契約内容にインターネットの利用が含まれていることをご確認の上、Wi-Fi（P.145）やモバイルデータ通信（P.150）がオンになっていることを確認してください。
- 当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

GPS機能／位置情報サービスをオンにする

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワーク基地局からの情報を元にした現在地の特定などができます。

1 ホーム画面で→［設定］→［位置情報］

2 「位置情報を使用」のをタップ

3 位置情報の注意文を読んで［同意する］

❖お知らせ

- Google位置情報サービスにより、個人を特定しない形で位置情報が収集されます。なお、アプリが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

Googleマップを使用する

Googleマップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索、経路の検索などができます。

- Googleマップを利用するには、ネットワークに接続されていることをご確認ください（P.61）。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- Googleマップについて詳しくは、マップ画面でGoogleアカウントメニューを表示→［ヘルプとフィードバック］→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

地図上で現在地を検出する

位置情報サービスを利用して現在地を検出できます。

- 現在地を検出するには、あらかじめ「位置情報を使用」（P.138）をオンに設定する必要があります。

1 ホーム画面で［Google］→［マップ］

現在地が青い印で表示されます。

- 現在地が表示されていない場合に現在地を表示するには ⌖ をタップします。

スケジュール

スケジュールを表示する

1 ホーム画面で⊞→［ツール］→［スケジュール］

2 ［月］／［週］／［日］のいずれかをタップ

- カレンダー部分を左右にスワイプ（フリック）すると、前後の月や週、日を表示します。

❖ お知らせ

- 現在の日付にカーソルを移動するには、手順2で⋮→［日付移動］→［今日］をタップします。
  任意の日付にカーソルを移動するには、手順2で⋮→［日付移動］→カレンダー部分を左右にスワイプ（フリック）して月を選択し日付をタップ→［移動］をタップします。
- 手順2で［一覧］をタップすると、登録されているすべてのスケジュールを一覧で表示します。
- 手順2で［メモ・ToDo］をタップすると、「メモ」アプリの表示に切り替えられます。
- 表示が月の場合は、手順2で画面下部の▲をタップすると、カーソルのある日のスケジュールが一覧で表示されます。

スケジュールの予定を作成する

1 ホーム画面で→［ツール］→［スケジュール］

2 →項目を入力

3 ［保存］

❖お知らせ

- スケジュールのアラームを設定している場合は、設定時刻になると通知音が鳴動し、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にドラッグ→［お知らせ時間になりました］をタップすると、予定の詳細を表示することができます。

スケジュールの予定を表示する

1 ホーム画面で→［ツール］→［スケジュール］→予定のある日付／時間を表示

- 表示が月または週の場合は、予定のある日付をタップします。

2 詳細を表示する予定をタップ

- 予定を編集するには、［編集］をタップします。

❖お知らせ

- 予定を削除するには、手順2で削除する予定をロングタッチ→［1件削除］→［削除する］をタップします。
- すべての予定を削除するには、ホーム画面で→［ツール］→［スケジュール］→→［選択削除］→［全選択］→［削除実行］→［削除する］をタップします。

スケジュールの表示条件を設定する

表示条件を設定すると、特定のデータのみ表示することができます。

1 ホーム画面で→［ツール］→［スケジュール］

2 →［表示条件］

3 表示条件を選択→［OK］→をタップ

❖お知らせ

- 手順3で［フリーワード検索］→検索する語句を入力→［OK］→［OK］→をタップすると、「タイトル」「場所」「本文」で入力した内容を検索することができます。

時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチ、おやすみ時間を利用できます。

- 時計について詳しくは、時計の表示中画面で⋮→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

アラームを設定する

1 ホーム画面で⊞→［ツール］→［時計］→「アラーム」タブをタップ

2 ＋→時刻を設定→［OK］

- 必要に応じてアラームを選択し、詳細を設定します。

❖お知らせ

- アラーム画面で⋮→［設定］をタップすると、消音までの時間や音量などの設定ができます。
- アラームの時刻を編集するには、アラーム画面で時刻をタップします。
- アラームを削除するには、アラーム画面で削除するアラームを左右にスワイプ（フリック）します。

アラームのオン／オフを切り替える

1 ホーム画面で⊞→［ツール］→［時計］→「アラーム」タブをタップ

2 オン／オフを切り替えるアラームの／をタップ

アラーム音を止める

1 アラームが鳴っているときに［ストップ］

❖お知らせ

- ［スヌーズ］をタップすると、一定時間の経過後に再度アラームが鳴ります。スヌーズの時間は、アラーム画面で⋮→［設定］→［スヌーズの長さ］をタップして設定できます。
- 画面の点灯時（ロック画面を除く）は画面上部の通知をタップしても操作できます。

世界時計を利用する

世界各地の都市の時刻や所在地との時差などを表示できます。

1 ホーム画面で⊞→［ツール］→［時計］→「世界時計」タブをタップ

2 ＋→都市名を入力→一覧から都市を選択

- 都市を追加するには操作を繰り返します。

❖お知らせ

- 追加した都市を左右にスワイプ（フリック）すると、都市を削除できます。
- サマータイム期間中の時差は、表示される時差とは異なる場合があります。

タイマーを利用する

1 ホーム画面で→［ツール］→［時計］→「タイマー」タブをタップ

2 数字をタップして時間を設定

3 をタップ

4 タイマー音を止めるにはをタップ

❖お知らせ

- タイマー画面で→［設定］をタップすると、タイマー音などの設定ができます。

ストップウォッチを利用する

1 ホーム画面で→［ツール］→［時計］→「ストップウォッチ」タブをタップ

2 ［開始］

3 ［停止］

- 再開するときは、［開始］をタップします。
- ［リセット］をタップすると、計測結果を消去します。

おやすみ時間を利用する

睡眠中や起床時の本端末の動作を設定したり、睡眠前に心地よいサウンドを再生したりするなど、快適な睡眠をサポートする設定ができます。

1 ホーム画面で→［ツール］→［時計］→「おやすみ時間」タブをタップ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

本体設定

設定メニューを表示する

1 ホーム画面で⊞→［設定］

Google	P.144
ネットワークとインターネット	P.144
接続設定	P.157
アプリ	P.158
通知	P.161
音設定	P.162
モード	P.165
画面設定	P.165
壁紙とスタイル	P.168
ストレージ	P.169
バッテリー	P.170
システム	P.171
デバイス情報	P.177
セキュリティ	P.178
プライバシー	P.183
位置情報	P.185
ドコモのサービス／クラウド	P.186
パスワードとアカウント	P.187
Digital Wellbeing、保護者による使用制限	P.188
安全性と緊急情報	P.189
ユーザー補助	P.189

❖ お知らせ

- 画面上部の「設定を検索」欄にキーワードを入力すると、設定項目などを検索できます。
- 設定の状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

1 ホーム画面で→［設定］→［Google］

2 各項目を設定

ネットワークとインターネット

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］

インターネット	NTT DOCOMO※	使用するSIMの名称が表示され、タップするとインターネット接続をモバイルネットワークに切り替えられます。 • をタップすると、モバイルネットワークに関する設定／確認ができます（P.148）。
	Wi-Fi	P.145
	ネットワークを追加	P.147
	ネットワーク設定	P.147
	保存済みネットワーク※	保存済みのWi-Fiネットワークの確認／削除や、自動接続の設定、Wi-Fiの共有などの操作ができます。
	モバイルデータ以外の通信量	モバイルデータ通信以外でのデータ使用量を確認できます。
SIM		P.148
機内モード		P.153
アクセスポイントとテザリング		P.153
データセーバー		P.156
VPN		P.156

プライベートDNS	対応するDNSサーバーに接続したとき、通信を暗号化するかどうかを設定します。プライベートDNSを登録することもできます。
データSIM自動切替	2つのSIMを同時に利用している場合に、モバイルデータ通信で使用するSIMを自動的に切り替え、快適な通信環境を保つように設定できます。
スマートコネクティビティ	自動で最適なネットワーク（モバイルネットワーク／Wi-Fi）に切り替え、快適な通信環境を保つように設定できます。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

Wi-Fi

Wi-Fi機能で自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n/ax/be）とBluetooth機器は同一周波数（2.4GHz）を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などに通信が途切れたり、音声が乱れたりすることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は、約10m以上離してください。
- 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-Fiをオンにする

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［インターネット］

2 「Wi-Fi」のをタップ

- Wi-Fiがオンになるまで、数秒かかる場合があります。

❖お知らせ

- Wi-Fiがオンのときでもパケット通信を利用できます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にモバイルネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったまま利用すると、パケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- Wi-Fi機能を使用しないときは、オフにすることで電池の消費を抑制できます。
- Wi-Fi機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようにご注意ください。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［インターネット］

2 接続するWi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、Wi-Fiネットワークのパスワードを入力→［接続］をタップします。

❖お知らせ

- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、利用できなくなったりする場合があります。
- Wi-Fiネットワークへの接続が成功すると、「接続済み」と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。
  なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。Wi-Fiネットワークへの接続操作をしてから、接続結果が表示されるまでに5分以上かかる場合があります。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続すると!が表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、アクセスポイントへの接続時に表示されるインターネットにアクセスできないことをお知らせする通知をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です（P.45）。
- 接続済みのWi-Fiネットワークをタップして表示される「最大リンク速度（理論値）」欄の速度は、本端末で利用可能な最大通信速度を表します。

接続中のWi-Fiネットワークの設定を削除する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［インターネット］

2 接続中のWi-Fiネットワークをタップ

3 ［削除］

- ［接続を解除］をタップすると、Wi-Fiネットワークの接続を解除できます。

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

- あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります（P.145）。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［インターネット］

2 ［ネットワークを追加］

3 追加するWi-Fiネットワークのネットワーク名（SSID）を入力

- ⊞をタップすると、Wi-FiネットワークのQRコードをスキャンしてWi-Fiネットワークに接続できます。

4 「セキュリティ」の設定項目をタップ→追加するWi-Fiネットワークのセキュリティタイプをタップ

5 必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力

6 ［保存］

❖お知らせ

- ステルス設定を有効にした非公開のWi-Fiネットワークを追加する場合は、手順5で［詳細設定］→「非公開ネットワーク」の［いいえ］→［はい］をタップします。

ネットワーク設定を行う

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［インターネット］→［ネットワーク設定］

Wi-Fiを自動的にONにする※	高品質の保存済みWi-Fiネットワークを検出したとき、自動的にWi-Fiをオンにして接続するかどうかを設定します。
利用可能なパブリックネットワークを通知する	高品質のWi-Fiオープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。
WEPネットワークを許可	暗号化方式がWEPのWi-Fiネットワークへの接続を許可するかどうかを設定します。
証明書をインストール	証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct	P.148

※ 位置情報（P.185）をオンにすると設定できます。

Wi-Fi Direct機能を利用する

アクセスポイントを設定しなくても、Wi-Fi Direct®機能に対応した機器間で直接Wi-Fi接続ができます。

- あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります（P.145）。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［インターネット］

2 ［ネットワーク設定］→［Wi-Fi Direct］

3 接続するWi-Fi Direct対応機器名を選択

- ⋮→［デバイスの検索］をタップすると、検出一覧を更新できます。
- 検出されたWi-Fi Direct対応機器側に表示される本端末の名前を変更するには、⋮→［デバイス名を変更］をタップします。

❖お知らせ

- Wi-Fi Direct機能は、対応したアプリをインストールすることで利用可能となります。

SIM

- SIMカードとeSIMの同時利用については、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［SIM］

- SIMの選択画面が表示されます。
- eSIMのみを利用する場合、SIMの設定を行っていないとeSIMの設定画面が表示されます（P.150）。

NTT DOCOMO※1	使用するSIMの名称が表示されます。○／●をタップすると、SIMを使用するかどうかを設定できます。
SIMを追加	eSIMを追加します（P.150）。
モバイルデータ	P.150
自動データ切り替え※2	モバイルデータ通信で優先して使用するSIMが通信できなくなったとき、一時的に別のSIMに切り替えるかどうかを設定します。
通話※2	通話で優先して使用するSIMを指定します。
テキストメッセージ※2	SMSで優先して使用するSIMを指定します。
モバイルデータ※2	モバイルデータ通信で優先して使用するSIMを指定します。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。

※2 2つのSIMを同時に利用している場合に表示されます。

2 表示されたSIMをタップ

- 2つのSIMを同時に利用している場合は、設定するSIMを選択してください。

	SIMの名称や、対応するアプリで表示される色を設定します。
このSIMを使用する	SIMを使用するかどうかを設定します。
XXX使用	モバイルデータ使用量や、設定したデータ使用量の警告値などが表示されます。
モバイルネットワーク	ネットワークの名称が表示されます。
電話番号	自分の電話番号が表示されます。
データローミング	P.203
アプリのデータ使用量	「モバイルデータの使用サイクル」（P.151）で設定した期間のアプリごとのモバイルデータ使用量を確認したり、⚙をタップしてデータ使用量の警告と制限を設定したりできます（P.151）。 • グラフの下に表示されるアプリを選択すると、アプリごとにバックグラウンドでのモバイルデータ通信の制限などを設定できます。
データ使用量の警告と制限※1	P.151
優先ネットワークの種類	P.204
IMEI※2	IMEIなどを確認できます。
EID※3	EIDのQRコードを表示します。
衛星接続	P.198
ネットワークを自動的に選択する	P.203
ネットワークを選択	「ネットワークを自動的に選択する」をオフに設定しているとき、利用可能なネットワークを検索します。
アクセスポイント名	P.151
2Gネットワークの保護	GSMネットワークを使用するかどうかを設定します。
eSIMへの変換※4	SIMカードをeSIMに変換します。 • 変換すると、SIMカードは使用できなくなりますのでご注意ください。
eSIMを消去する※3	eSIMのSIM情報を削除します。

※1 「モバイルデータ」（P.150）がオンのときに設定できます。2つのSIMを同時に利用している場合は、SIMの選択画面で、モバイルデータ通信で優先して使用するSIMを選択したときに設定できます。
※2 SIMの利用状況に応じて「（プライマリ）」が表示されます。
※3 SIMの選択画面で、eSIMを選択したときに表示されます。
※4 SIMの選択画面で、SIMカードを選択したときに表示されます。

❖お知らせ

- 「このSIMを使用する」をオフにすると、電話やパケット通信などの機能は利用できません。また、設定メニューの項目が非表示になったり、表示が変わったり、機能が利用できなくなったりする場合があります。

eSIMを設定する

初めてeSIMを利用するときは、eSIMを設定する必要があります。

- eSIMの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］

2 ［SIM］

- Wi-Fi接続を促す画面が表示された場合はWi-Fiに接続し、手順1から操作し直してください。
- SIMの選択画面が表示された場合は、［SIMを追加］をタップします。

3 ［eSIMを設定］

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- 手順3で「他のデバイスからSIMを移行する」が表示された場合は、タップすると他の端末のeSIMを本端末に移行できます。ただし、他の端末およびそのeSIMが移行に対応していない場合は移行できません。

モバイルデータ通信を有効／無効にする

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［SIM］

- SIMの選択画面が表示されます。

2 「モバイルデータ」の／をタップ

データ使用量の警告と制限を設定する

モバイルデータ使用量の使用サイクル（測定期間）を設定したり、モバイルデータ使用量の警告値や上限値を設定したりできます。

- 「モバイルデータ」（P.150）がオンのときに設定できます。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［SIM］

- SIMの選択画面が表示されます。

2 表示されたSIMをタップ

- 2つのSIMを同時に利用している場合は、モバイルデータ通信を優先して使用するSIMを選択してください。

3 ［データ使用量の警告と制限］

モバイルデータの使用サイクル	モバイルデータ使用量の使用サイクル（測定期間）を設定します。
データ使用量を警告	モバイルデータ使用量が指定した警告値に達したとき、警告の通知を表示するかどうかを設定します。
警告するデータ使用量	モバイルデータ使用量の警告値を設定します。
データ使用量を制限	モバイルデータ使用量が指定した上限値に達したとき、モバイルデータ通信を使用できなくするかどうかを設定します。
データ上限	モバイルデータ使用量の上限値を設定します。

❖ お知らせ

- モバイルデータ使用量が指定の上限値に達した場合は、モバイルデータ通信が使用できなくなります。ご注意ください。
  モバイルデータ通信を再開するには、データ上限に達したことをお知らせする画面で［再開］をタップします。データ上限に達したことをお知らせする画面が表示されていない場合は、ステータスバーを下にドラッグ→［モバイルデータの上限に達しました］→［再開］をタップします。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（docomo）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

mopera Uをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

https://www.mopera.net/

■ 利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［SIM］

- SIMの選択画面が表示されます。

2 **表示されたSIMをタップ**
- 2つのSIMを同時に利用している場合は、設定・確認するSIMを選択してください。

3 **[アクセスポイント名]**
- 現在使用されているアクセスポイントには、右側のラジオボタンにチェックが付いています。

■ アクセスポイントを追加で設定する

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]**
- SIMの選択画面が表示されます。

2 **表示されたSIMをタップ**
- 2つのSIMを同時に利用している場合は、設定・確認するSIMを選択してください。

3 **[アクセスポイント名]**

4 **＋をタップ**
- アクセスポイントを編集する場合は、編集するアクセスポイントをタップします。

5 **[名前]→任意の名前を入力**

6 **[APN]→アクセスポイント名を入力**

7 **通信事業者によって要求されているその他すべての情報をタップして入力**

8 **[保存]**

❖お知らせ
- あらかじめ登録されているアクセスポイントは、編集せずにそのままお使いいただくことをおすすめします。

■ アクセスポイントを初期化する

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]**
- SIMの選択画面が表示されます。

2 **表示されたSIMをタップ**
- 2つのSIMを同時に利用している場合は、設定・確認するSIMを選択してください。

3 **[アクセスポイント名]**

4 **⋮→[初期設定にリセット]**

機内モード

電話、インターネット接続（メールの送受信を含む）など、電波を発する一部の機能を無効にします。

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］

2 「機内モード」のをタップ

- ステータスバーにが表示されます。

❖お知らせ

- 機内モードがオンの場合でもWi-FiやBluetooth機能をオンにできます。電波の使用を禁止された区域ではこれらの機能をオンにしないでください。
- 機内モードをオンにしても、使用状況によってはWi-FiやBluetooth機能がオンのままになる場合があります。

テザリング機能を利用する

テザリング機能を利用すると、本端末をモデムとして無線LAN対応機器やUSB対応機器、Bluetooth機器、LANポート搭載機器をインターネットに接続させることができます。

❖お知らせ

- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末でWi-Fi、モバイルデータ通信のいずれも利用できない場合は、テザリング機能を利用できません。
- 最大で15台（Wi-Fiアクセスポイント：10台、USBテザリングまたはイーサネットテザリング：1台、Bluetoothテザリング：4台）の機器を同時に接続できます。
- データセーバー（P.156）をオンに設定中は、テザリング機能を利用できません。

Wi-Fiアクセスポイントをオンにする

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時に接続できます。

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［アクセスポイントとテザリング］

2 「Wi-Fiアクセスポイント」のをタップ

❖ お知らせ

- Wi-Fiネットワーク接続中にWi-Fiアクセスポイントをオンにすると、Wi-Fi接続は切断されます。Wi-Fiアクセスポイントをオフにすると、自動的にWi-Fiネットワークに接続されます。
- 手順2で［Wi-Fiアクセスポイント］→「Wi-Fiアクセスポイントを使用する」の→「アクセスポイント名」のをタップすると、Wi-Fiアクセスポイントの情報のQRコードを表示できます。

Wi-Fiアクセスポイントの設定を変更する

お買い上げ時の状態で設定されているアクセスポイント名やセキュリティの種類、アクセスポイントのパスワードなどを変更できます。

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［アクセスポイントとテザリング］→［Wi-Fiアクセスポイント］

2 設定する項目をタップ

❖ お知らせ

- 「アクセスポイント名」は、お買い上げ時には「Xperia_（ランダムな4桁の数字）」が設定されています。
- 「セキュリティ」の設定変更時に「アクセスポイントのパスワード」が表示される場合は、パスワードの設定が必要です。「アクセスポイントのパスワード」はお買い上げ時にはランダムに設定されていますが、任意のパスワードに変更することもできます。
- 「アクセスポイントを自動的にOFFにする」をオンにした場合、無線LAN対応機器が約10分間接続されないと、Wi-Fiアクセスポイントは自動的にオフになります。
- 「速度と互換性」を「2.4/6GHz」に設定する場合は、「セキュリティ」を「WPA3-Personal」、「WPA2/WPA3-Personal」または「Enhanced Open」に設定してください。

USBテザリングをオンにする

1 本端末をUSBケーブル（市販品）でパソコンに接続（P.41）

- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。

2 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［アクセスポイントとテザリング］

3 「USBテザリング」の◯をタップ

- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。

❖お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は次のとおりです。
  - Microsoft Windows 11
- USBテザリング中は、パソコンで本端末の内部ストレージおよびmicroSDカードにアクセスすることはできません。

Bluetoothテザリングをオンにする

Bluetooth機器をインターネットに4台まで同時に接続できます。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［アクセスポイントとテザリング］

2 「Bluetoothテザリング」の◯をタップ

❖お知らせ

- Bluetooth機器から本端末に接続するには、ペア設定（P.194）を行い、Bluetooth機器で本端末との接続方法を設定する必要があります。Bluetooth機器からの操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

イーサネットテザリングをオンにする

USB-LANアダプタ（市販品）などを使用して、LANポート搭載機器をインターネットに接続できます。

1 本端末にUSB-LANアダプタを接続し、LANケーブルで本端末とLANポート搭載機器を接続

2 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［アクセスポイントとテザリング］

3 「イーサネットテザリング」の◯をタップ

❖お知らせ

- USB-LANアダプタのプラグを無理に接続しないでください。無理に接続すると破損の原因となります。

データセーバー

アプリがバックグラウンドで行うモバイルデータ通信を制限し、データ使用量を抑制します。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［データセーバー］

2 「データセーバーを使用」の◯をタップ

❖お知らせ

- データセーバーでモバイルデータ通信を制限しないアプリを設定するには、手順2で［モバイルデータの無制限利用］→設定するアプリの◯をタップします。
- データセーバーをオンに設定中は、テザリング機能を利用できません。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）を使うと、企業や学校などの保護されたローカルネットワーク内の情報に外部からアクセスできます。

VPNを追加する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［VPN］

2 ＋をタップ

3 ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を入力／設定

4 ［保存］

❖お知らせ

- VPNを編集するには、手順2でVPNの⚙→各項目を入力／設定→［保存］をタップします。
- VPNを削除するには、手順2でVPNの⚙→［削除］をタップします。

VPNに接続する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［VPN］

2 接続するVPNをタップ

3 ［接続］

- VPNに接続すると、ステータスバーに🔑が表示されます。
- 認証情報の入力欄が表示された場合は、必要な認証情報を入力→［接続］をタップしてください。

❖お知らせ

- VPNを切断するには、手順2で接続中のVPNをタップ→［切断］をタップします。

接続設定

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［接続設定］

新しいデバイスとペア設定	P.194
保存済みのデバイス	ペア設定したBluetooth機器が表示されます。
すべて表示	ペア設定したすべてのBluetooth機器が表示されます。
接続の詳細設定	P.157

❖ お知らせ

- 本端末と他の機器を接続しているときは、「新しいデバイスとペア設定」の上に機器情報が表示される場合があります。項目または⚙をタップすると接続方法の変更や、接続の解除などの操作ができます。

接続の詳細設定を行う

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［接続設定］→［接続の詳細設定］

Bluetooth	Bluetooth機能のオン／オフを切り替えたり、Bluetooth機器とペア設定をしたりします。
音声の共有	P.196
複数デバイス間サービス	複数デバイス間サービスを使用するかどうかを設定します。
NFC／おサイフケータイ	**NFC／おサイフケータイ**	P.134
	NFC／おサイフケータイロック ON/OFF	P.135
	非接触型決済	P.135
キャスト	Google Cast対応機器などに本端末の画面を表示します。
印刷	印刷サービスのアプリをインストールします。
Chromebook	本端末とChromebookをリンクします。
Quick Share	付近の対応機器とファイルを共有します。
Android Auto	Android Auto対応機器と接続したり、接続時の動作などを設定したりします。 • アプリの更新画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

アプリ

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［アプリ］

最近開いたアプリ※	最近起動したアプリが表示されます。アプリをタップすると、アプリ情報を表示できます。
XX個のアプリをすべて表示※	P.158
デフォルトのアプリ	標準で使用するアプリの設定を確認／変更します。
アシスタント	Googleのアシスタントに関する設定をします。
利用時間	アプリごとの利用時間を確認したり、アプリごとにタイマーを設定して1日の利用時間を制限したりできます。
クラウドメディアの設定	写真や動画の選択を求められたときにアクセスするクラウドメディアを選択します。
連絡先アプリのストレージ	連絡先の保存先を設定します。
使用されていないアプリ	使用されていないアプリを確認できます。
アプリのバッテリー使用量	アプリごとにバッテリーの利用方法を設定できます。
特別なアプリアクセス	本端末の機能や情報にアクセスするアプリなどの設定を確認／変更します。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

アプリ情報

インストールされたアプリの管理やアンインストールができます。また、アプリごとに通知や権限の設定を変更したり、データやキャッシュを削除したりできます。

アプリを管理する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［アプリ］→［XX個のアプリをすべて表示］

- ⋮→［システムアプリを表示］をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

2 管理するアプリをタップ

↗	アプリを起動します。
アーカイブ	データなどを残した状態でアプリをアンインストールし、内部ストレージの空き容量を増やすことができます。 • アーカイブすると「復元」が表示され、タップするとアプリを復元できます。
アンインストール	P.159
無効にする	P.160
強制停止	P.160
通知	通知の設定を変更します。
権限	アプリの権限の設定を確認／変更します。

ストレージとキャッシュ	データやキャッシュなどを削除します。
モバイルデータ使用量※	データ通信の使用状況を確認したり、バックグラウンドでのモバイルデータ通信の制限などを設定したりできます。
利用時間	利用時間を確認したり、タイマーを設定して1日の利用時間を制限したりできます。
アプリのバッテリー使用量	前回のフル充電からの電池の使用状況を確認したり、バッテリーの利用方法を設定したりできます。
デフォルトで開く	特定の操作で使用するデフォルトのアプリの設定を消去します。
使用していないアプリを管理する	数か月使用されていないアプリがある場合、権限と一時ファイルを削除して通知を停止し、アプリをアーカイブします。
バージョン	アプリのバージョンが表示されます。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

❖ お知らせ

- アプリや使用状況によって、表示される項目が異なる場合や、項目が選択できない場合などがあります。

アプリをアンインストールする

- アンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［アプリ］→［XX個のアプリをすべて表示］

2 アンインストールするアプリをタップ

3 ［アンインストール］→［OK］

❖ お知らせ

- プリインストールされているアプリはアンインストールできない場合があります。アンインストールできない一部のアプリは、無効化（P.160）できる場合があります。
- Google Playから入手したアプリはGoogle Playの画面からアンインストール（P.132）することをおすすめします。
- 手順3で⋮→［アップデートのアンインストール］が表示された場合は、タップするとアプリをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

アプリを無効化する

アンインストールできないアプリやサービスは無効化できる場合があります。

- 無効化したアプリはホーム画面などに表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［アプリ］→［XX個のアプリをすべて表示］

- ⋮→［システムアプリを表示］をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

2 無効化するアプリをタップ

3 ［無効にする］→画面の内容を確認して［アプリを無効にする］

❖お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効化することで正しく動作します。

アプリを強制停止する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［アプリ］→［XX個のアプリをすべて表示］

- ⋮→［システムアプリを表示］をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

2 強制停止するアプリをタップ

3 ［強制停止］→画面の内容を確認して［OK］

アプリの設定をリセットする

アプリの無効化（P.160）やデフォルトのアプリの設定（P.159）、バックグラウンドデータの制限（P.159）、アプリの権限（P.53）などをリセットできます。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［アプリ］→［XX個のアプリをすべて表示］

2 ⋮→［アプリの設定をリセット］

3 ［アプリをリセット］

通知

通知表示のオン／オフを設定したり、通知の履歴を確認したりできます。また、ロック画面の通知表示の設定などを変更することもできます。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［通知］

アプリの通知	アプリごとに通知のオン／オフなどを設定できます。
通知履歴	通知履歴を表示するかどうかを設定したり、通知の履歴を確認したりできます。
会話	通知を「優先」（P.63）に設定したメッセージアプリの会話などが表示され、設定の確認／変更ができます。
バブル	フローティングアイコン（バブル）（P.63）の表示を許可するかどうかを設定します。
通知の確認、返信、管理	通知を読み取るアプリとデバイスに、通知へのアクセスを許可するかどうかを設定します。
ロック画面上の通知	ロック画面に表示する通知の種類を設定します。
機密性の高い通知※	ロック画面の通知に機密性の高い情報を表示するかどうかを設定します。
通知のクールダウン	短時間に多くの通知があったとき、音量を下げて通知を最小限に抑えるようにするかどうかを設定します。
点滅による通知	通知を受信したときやアラームが鳴ったとき、ライト／フラッシュや画面を点滅させるかどうかを設定します。
緊急速報メール	緊急速報「エリアメール」の設定をします。
ステータスバーにサイレント通知を表示しない	「サイレント」（P.63）に設定した通知アイコンを、ステータスバーに表示するかどうかを設定します。
通知のスヌーズを許可する	通知にスヌーズを設定し、設定した時間に再表示できるようにするかどうかを設定します。スヌーズを設定するには、通知パネルで通知を開く（P.63）→ をタップします。
アプリアイコン上の通知ドット	アイコンにドット（点）や数字を表示して、アプリの通知を知らせるかどうかを設定します。 • アプリによっては、設定に従って動作しない場合があります。

拡張通知	通知に操作や返信の候補を自動的に表示させるかどうかを設定します。
通知からポップアップウィンドウへ	通知からポップアップウィンドウを起動できるようにするかどうかを設定します。

※「画面ロック」（P.180）を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定している場合に表示されます。

音設定

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［音設定］

再生音質	**オーディオエフェクト**	音楽・動画再生時にエフェクトを利用するかどうかを設定したり、エフェクトの種類を選択したりします。
	360 Reality Audio	360 Reality Audioは、臨場感豊かな音場を実現し、360度すべての方向からの音を楽しむことができる立体音響技術です。360 Reality Audio認定ヘッドホン（市販品）では、耳の形を撮影し、聴感特性を解析することで、よりリアルな臨場感を楽しめます。
録音音質	**風ノイズ除去**	録音・動画撮影時に、マイクに風があたることで発生する雑音を除去するかどうかを設定します。
メディアの音量		P.164
音声の再生先※		音声などの出力先の切り替えや、音量の調節をします。
通話の音量		P.164
着信音の音量		P.164
通知の音量		P.164
アラームの音量		P.164
着信音-SIM1		P.164

着信音-SIM2		P.164
自動字幕起こし		本端末がメディアや通話などの音声を検出したとき、字幕を表示させるかどうかを設定します。
メディア		クイック設定パネルやロック画面に表示される音楽などの操作パネルについて設定します。
バイブレーションとハプティクス	**バイブレーションとハプティクスを使用する**	バイブレーションとハプティクスを使用するかどうかを設定します。
	着信時のバイブレーション	着信中の振動の強さを変更したり、オフに設定したりします。
	バイブレーションから着信音	着信時にバイブレーションだけを動作させ、徐々に着信音が聞こえるように設定します。
	通知時のバイブレーション	通知があったときの振動の強さを変更したり、オフに設定したりします。
	アラームのバイブレーション	アラームが鳴ったときの振動の強さを変更したり、オフに設定したりします。
	タッチ操作時のバイブレーション	キーアイコンなどをタップしたときの振動の強さを変更したり、オフに設定したりします。
	メディアのバイブレーション	メディアの振動の強さを変更したり、オフに設定したりします。
デフォルトの通知音		P.164
デフォルトのアラーム音		P.164
ダイヤルパッドの操作音		電話発信時のキーパッドをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロックの音		電源ボタンを押して画面ロックをかけたときや、画面ロックを解除したときに音を鳴らすかどうかを設定します。
充電時の音とバイブレーション		充電の開始を音と振動でお知らせするかどうかを設定します。
タッチ／クリック操作音		メニューを選択したときなどに音を鳴らすかどうかを設定します。
バイブレーションモードのときにアイコンを常に表示		マナーモード（バイブレーション）を設定したとき、ステータスバーにを表示するかどうかを設定します。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

❖ お知らせ

- マナーモードについては、「マナーモードを設定する」（P.51）をご参照ください。
- 「360 Reality Audio」は、対応するアプリでコンテンツを再生したときに動作します。
- 再生するコンテンツやアプリ、「オーディオエフェクト」の設定によっては、オリジナルの音表現で再生される場合があります。

各種音量を調節する

メディア再生音、通話、着信音、通知音、アラームの音量を調節します。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［音設定］

2 「メディアの音量」／「通話の音量」／「着信音の音量」／「通知の音量」／「アラームの音量」のスライダーを設定する位置でタップ、または左右にドラッグ

❖ お知らせ

- メディアの音量は音量ボタン（＋／－）を押しても調節できます。また、通話中に音量ボタン（＋／－）を押すと、通話音量を調節できます。
- 着信時に音量ボタン（＋／－）または電源ボタンを押すと、着信音を消音にすることができます。

着信音／通知音／アラーム音を設定する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［音設定］

2 ［着信音-SIM1］／［着信音-SIM2］／［デフォルトの通知音］／［デフォルトのアラーム音］のいずれかをタップ

- SIMスロット1のSIMの着信音を設定する場合は［着信音-SIM1］、SIMスロット2のSIMの着信音を設定する場合は［着信音-SIM2］をタップします。

3 設定する音を選択→［OK］

❖ お知らせ

- お買い上げ時に登録されている着信音や通知音、アラーム音以外の音を設定する場合は、手順3で［音を追加］／［通知の追加］／［アラームの追加］のいずれかをタップします。
- 手順3で着信音や通知音を選択すると、「着信音の音量」や「通知の音量」で設定した音量で鳴ります。ただし、消音にしている場合は鳴りません。

モード

就寝中や仕事中、運転中などの特定の状況に適したモードに設定し、通知を最小限に抑えて集中できるようにします。オリジナルのモードを作成することもできます。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［モード］

サイレントモード	必要な通知のみ届くように設定することで、通知を最小限に抑えます。
おやすみ時間	指定した時間は画面を暗くして、通知をブロックします。
運転※	運転に集中できるように通知をブロックします。
独自のモードを作成する	独自のモードを作成します。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

❖ お知らせ

- クイック設定パネルからも設定できます。

画面設定

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［画面設定］

画質設定	P.166
低残像設定	動画のぶれや残像の少ない映像表現にします。
明るさのレベル	P.167
明るさの自動調節	「明るさのレベル」の設定を基準に、周囲の明るさなどに応じて自動で画面の明るさを調節します。
ロック画面	P.167
画面自動消灯	画面が消灯するまでの時間を設定します。
ダークモード	対応する画面や表示にダークモードを適用します。自動的にオン／オフにするスケジュールを設定することもできます。

表示サイズとテキスト	フォントサイズ	文字サイズを設定します。
	表示サイズ	画面に表示されるアイコンなどの表示サイズを拡大／縮小します。
	テキストを太字にする	文字を太字で表示するように設定します。
	アウトラインテキスト	テキストの背景色を黒または白にして、コントラストが際立つようにするかどうかを設定します。
	設定をリセット	「表示サイズとテキスト」の各設定をリセットします。
ナイトライト		画面を黄色みがかった色にして、薄明かりの場所でも画面を見やすくします。自動的にオン／オフにするスケジュールを設定することもできます。
画面の自動回転		P.51
スクリーンセーバー		スクリーンセーバーを設定します。
画面OFF時の誤操作防止		かばんやポケットの中などで本端末のボタンが押されて画面が点灯しても、ディスプレイ（タッチスクリーン）を無効にして誤動作を防ぎます。
キー操作で画面を点灯		スリープモード中に音量ボタン（＋／－）やシャッターボタンを押して画面を点灯できるようにするかどうかを設定します。

画質を設定する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［画面設定］→［画質設定］

2 ［おすすめ］／［カスタム］

- 「おすすめ」を選択すると、使用用途や表示コンテンツに最適化された画質設定になります。設定をカスタマイズする場合は「カスタム」を選択します。

スタンダードモード	画質モードを「スタンダードモード」に設定します。
自動クリエイターモード	画質モードが「スタンダードモード」のとき、特定のアプリで自動的に「クリエイターモード」を適用するかどうかを設定したり、適用するアプリを確認／追加／削除したりします。
クリエイターモード	画質モードを「クリエイターモード」に設定します。

色の自動調節	画質モードが「スタンダードモード」のとき、環境や利用状況に合わせて画面の色を自動で調節するかどうかを設定します。
ホワイトバランス	画面上のホワイトバランスを調整します。 • 「色の自動調節」がオフのとき、または画質モードが「クリエイターモード」のときに設定できます。
リアルタイムHDRドライブ	対応するHDRコンテンツの視認性を、視聴環境に応じて最適化するかどうかを設定します。
動画再生時の高画質処理	画質モードが「スタンダードモード」のとき、動画の再生時に模様や輪郭を強調し、きめ細かな質感や鮮鋭感を再現します。

画面の明るさを調節する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［画面設定］→［明るさのレベル］

2 スライダーを設定する位置でタップ、または左右にドラッグ

ロック画面の設定をする

ロック画面の表示や操作に関する設定をしたり、スリープモード中に時間と情報を表示するように設定したりできます。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［画面設定］→［ロック画面］

プライバシー	ロック画面に通知内容を表示するかどうかを設定します。※
ロック画面からユーザーを追加	ロック画面のクイック設定パネル（P.64）からゲストやユーザーを追加できるようにするかどうかを設定します。
ロック画面にテキストを追加	ロック画面に表示するテキストを入力します。
デバイスコントロールを使用	ロック画面で⌂をロングタッチしたとき、画面ロックを解除しなくても本端末に接続されているスマートホームデバイス（市販品）などを操作できるように設定します。
ショートカット	ロック画面に表示するショートカットを選択します。
時間と情報を常に表示	スリープモードにしたとき、常に時間と情報を表示するかどうかを設定します。

画面をダブルタップして通知を確認	スリープモード中に画面をダブルタップしてロック画面を表示できるようにするかどうかを設定します。
持ち上げて通知を確認	スリープモード中に本端末を持ち上げたとき、ロック画面を表示するかどうかを設定します。
通知で画面をONにする	スリープモード中に通知を受信したとき、時間と情報を表示するかどうかを設定します。

※「画面ロック」の設定により表示される項目は異なります。

壁紙とスタイル

ホーム画面やロック画面の壁紙を設定したり、画面の配色をカスタマイズしたりできます。また、ロック画面に表示するショートカットや時計を設定したり、アプリアイコンをモノクロ表示にしたりすることもできます。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［壁紙とスタイル］

- 壁紙とスタイル画面が表示されます。

2 ［ロック画面］／［ホーム画面］

（画面の画像）※1	ロック画面の時計を設定します。時計を設定するには、画面の画像部分を左右にスワイプ（フリック）します。
時計の色とサイズ※1	時計の色やサイズを設定します。
（カラーパレット）	壁紙の色調を基に用意されたカラーパレットから、お好みの配色を選択できます。 • ⋯をタップすると、すべてのカラーパレットまたは「その他の色」から配色を選択したり、対応する画面や表示などにダークモードを適用するかどうかを設定したりできます。 • 選択したパレットに従って、対応する画面やアプリの配色などが自動的にカスタマイズされます。
壁紙の変更	設定する壁紙を選択します。

ショートカット※1	ロック画面に表示するショートカットを選択します。
ロック画面に通知を表示する※1	ロック画面に通知を表示するかどうかを設定します。
ロック画面のその他の設定※1	P.167
テーマアイコン※2※3	対応するアプリアイコンを、モノクロ表示にするかどうかを設定します。 • 選択したカラーパレットや、ダークモードの設定に合わせて配色が変更されます。
色のコントラスト※2	色やテキストのコントラストを設定します。
アプリグリッド※2※4	ホーム画面に配置できるアプリアイコンの数を設定します。

※1 手順2で「ロック画面」を選択したときに表示されます。
※2 手順2で「ホーム画面」を選択したときに表示されます。
※3 ホームアプリが「かんたんホーム」のときは表示されません。
※4 ホームアプリが「Xperiaホーム」のときのみ表示されます。

❖ お知らせ

- 壁紙とスタイル画面に「リセット」が表示された場合は、タップすると設定中の変更内容をリセットできます。
- 手順2で項目が正しく表示されない場合は、タスクマネージャ（P.66）で「壁紙とスタイル」のサムネイルを削除し、手順1から操作し直してください。

ストレージ

内部ストレージやUSBストレージ、microSDカードの容量を確認したり、USBストレージやmicroSDカードを初期化（フォーマット）したりできます。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ストレージ］

このデバイス※1	本端末にUSBストレージ／microSDカードを取り付けている場合に表示されます。［このデバイス］→［USBドライブ］／［SDカード］をタップすると、USBストレージ／microSDカードのストレージ画面が表示されます。
XX使用　合計256GB	内部ストレージの使用容量と合計容量が表示されます。
空き容量を増やす※1	「Files」アプリを表示してファイルを管理できます。
アプリ※2	アプリの使用容量を確認できます。
ゲーム※2	ゲームの使用容量を確認したり、データやキャッシュなどを削除したりできます。
動画※2	動画ファイルを確認・管理できます。
音声※2	音声ファイルを確認・管理できます。
画像※2	画像ファイルを確認・管理できます。

ドキュメント※2	ドキュメントファイルなどを確認・管理できます。
その他※2	その他のファイルを確認・管理できます。
ゴミ箱※2	ゴミ箱に移動したファイルの確認／復元／削除ができます。
Android 16	オペレーティングシステムなどの使用容量が表示されます。
一時システムファイル	オペレーティングシステムに必要なキャッシュや一時ファイルなどの使用容量が表示されます。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。
※2 使用状況により、項目の並び順が異なります。

❖ お知らせ

- USBストレージ／microSDカードのストレージ画面で［ファイル］をタップすると、ファイルを確認・管理できます。
- USBストレージ／microSDカードの認識を解除（マウント解除）するには、USBストレージ／microSDカードのストレージ画面で⋮→［取り出し］をタップします。再度認識させる場合は、ホーム画面で⊞→［設定］→［ストレージ］→［このデバイス］→［USBドライブ］／［SDカード］→⋮→［マウント］をタップします。
- USBストレージ／microSDカードのフォーマットを行うには、USBストレージ／microSDカードのストレージ画面で⋮→［フォーマット］→［フォーマット］→［フォーマット］をタップします。
  フォーマットを行うと保存されている内容がすべて消去されますのでご注意ください。

バッテリー

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［バッテリー］

XX% XX※	電池残量と残りの使用可能時間（目安）などが表示されます。
バッテリー使用量	前回のフル充電からの電池の使用状況を確認したり、アプリごとにバッテリーの利用方法を設定したりできます。
STAMINAモード	本端末の動作と一部の機能を制限し、電池の消費を抑えることができます。 • 「STAMINAモードの使用」の／をタップすると、STAMINAモードを手動でオン／オフにできます。 • ［節電レベル］をタップすると、節電のレベルを設定できます。 • 「スケジュールの設定」を「残量に応じて自動でON」に設定すると、指定した電池残量になったときにSTAMINAモードが自動的に有効になります。 • 「90%充電されたらOFFにする」をオンにすると、充電中に電池残量が90%になったとき、STAMINAモードが自動的にオフになります。
自動調整バッテリー	使用頻度の低いアプリによる電池の使用を制限するかどうかを設定します。

バッテリー残量	ステータスバーに電池残量（%）を表示するかどうかを設定します。
いたわり充電	P.38
おすそわけ充電	P.40
処理性能の効率化	操作性を維持したまま処理性能を調整し、消費電力を抑えるように設定します。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

❖ お知らせ

- アプリごとの電池消費量の情報は、本端末をフル充電するとリセットされます。

システム

1 ホーム画面で→［設定］→［システム］

言語と地域	P.172
キーボード	P.173
ジェスチャー	P.173
日付と時刻	P.175
バックアップ	バックアップを行うGoogleアカウントを追加したり、バックアップを行うかどうかを設定したりします。
システムアップデート	P.217
ユーザー	P.175
デバイス診断	本端末のバッテリーやストレージなどの状態を確認したり、評価モードを利用して本端末または別の端末を評価したりします。

リセットオプション	モバイルネットワークの設定をリセット	モバイルネットワークの設定をリセットします。 • eSIMを利用している場合は、「eSIMを消去」にチェックを入れると、eSIMのSIM情報も削除されます。
	BluetoothとWi-Fiをリセット	BluetoothとWi-Fiの設定をリセットします。
	アプリの設定をリセット	P.160
	eSIMを消去	eSIMのSIM情報を削除します。
	プライベートスペースの削除	プライベートスペース（P.184）を削除します。
	すべてのデータを消去（初期設定にリセット）	P.176

言語と地域

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［システム］→［言語と地域］

システムの言語	P.172
アプリの言語	言語の選択に対応しているアプリの表示言語を、アプリごとに設定します。
音声	音声認識と音声出力を管理します。
地域	「システムの言語」で設定した言語の地域を選択します。
温度	温度の表示をカスタマイズします。
測定単位	測定単位の表示をカスタマイズします。
週最初の曜日	週最初の曜日の表示をカスタマイズします。

使用する言語を変更する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［システム］→［言語と地域］→［システムの言語］

2 ［言語を追加］→使用する言語を選択→必要に応じて国・地域を選択

3 使用する言語の＝を最上段（「1」の位置）までドラッグ→［変更］

❖ お知らせ

- 間違った言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、次のホームページのQ&Aをご覧ください。
  https://www.sony.jp/xperia/support/

キーボード

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［システム］→［キーボード］

画面上のキーボード	Gboard	P.60
	Google音声入力	P.60
スペルチェック		スペルチェックを行うかどうかを設定します。
単語リスト		スペルチェックなどのアプリで使用できる単語を追加します（P.59）。
ポインタの速度		マウス（市販品）などを使用時のポインターの速度を設定します。

ジェスチャー

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［システム］→［ジェスチャー］

シャッターボタン		シャッターボタンを押したとき／長押ししたときの動作を設定します。
サイドセンス		P.174
電源ボタンを2回押す		電源ボタンを2回押して起動できるアプリ／機能を設定します。
ナビゲーションモード		キーアイコンの操作を変更したり、かこって検索（P.72）の利用やGeminiの起動方法について設定したりします。
片手モード		P.70
画面をダブルタップして通知を確認		スリープモード中に画面をダブルタップしてロック画面を表示できるようにするかどうかを設定します。
持ち上げて通知を確認		スリープモード中に本端末を持ち上げたとき、ロック画面を表示するかどうかを設定します。
電源ボタンを長押し	電源ボタンを長押ししてアクセスする	電源ボタンを長押ししたときの動作を設定します。 • 「電源ボタンメニュー」に設定すると、電源ボタンを長押ししたときに電源ボタンメニューが表示され、「緊急通報」「電源を切る」「再起動」の操作ができます。
	長押しの長さ	電源ボタンを長押ししてGeminiを起動するときの、長押しの反応速度を設定します。
キー操作で画面を点灯		スリープモード中に音量ボタン（＋／－）やシャッターボタンを押して画面を点灯できるようにするかどうかを設定します。

サイドセンスを設定する

サイドセンスを利用するための設定を行います。サイドセンスとは、本端末の片手での操作をサポートする機能で、画面端に表示されるサイドセンスバーを操作して利用できます。

- サイドセンスについて詳しくは、サイドセンスの活用ガイドをご覧ください。

1 ホーム画面で→［設定］→［システム］→［ジェスチャー］→［サイドセンス］

2 「サイドセンスバーを使用する」の をタップ

- 画面端にサイドセンスバーが表示されます。

画面内側にフリック	サイドセンスバーを画面内側にフリックしたときの操作を割り当てます。
上方向にフリック	サイドセンスバーを上方向にフリックしたときの操作を割り当てます。
下方向にフリック	サイドセンスバーを下方向にフリックしたときの操作を割り当てます。

サイドセンスのカスタマイズ	**アプリランチャーメニュー設定**	アプリランチャーメニューに表示する、メイン画面（全画面）起動用のアプリやショートカットを設定します。
	マルチウィンドウメニュー設定	マルチウィンドウメニューに表示するアプリのペア（組み合わせ）を設定します。
	ヘッドホン調整パネルを表示※	ダッシュボードに「Sony | Sound Connect」アプリのヘッドホン調整パネルを表示させるかどうかを設定します。
	サイドセンスバーを使用するアプリ	アプリごとにサイドセンスバーの表示／非表示を設定できます。
	サイドセンスバーの詳細設定	サイドセンスバーの表示に関する設定をします。
活用ガイド		サイドセンス、分割画面（マルチウィンドウ）、ポップアップウィンドウの活用ガイドを確認できます。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

日付と時刻

- 日付、時刻、タイムゾーンを手動で設定する場合は、「日時の自動設定」「タイムゾーンの自動設定」をオフにする必要があります。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［システム］→［日付と時刻］

日時の自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正します。
日付	日付を手動で設定します。
時刻	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正します。
タイムゾーンの設定に位置情報を使用	タイムゾーンの設定に位置情報を使用するかどうかを設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示	24時間表示にするかどうかを設定します。

❖お知らせ

- 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。

ユーザー

ユーザーを追加することで、本端末を複数のユーザーで共有できます（ユーザーやゲストが利用できる機能）。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［システム］→［ユーザー］

2 「ユーザーの切り替えを許可する」の◯をタップ

自分（所有者）※	ユーザー情報の確認や編集ができます。 • 所有者以外が使用中の場合は「所有者」※と表示され、タップすると所有者に切り替えることができます。
ユーザーを追加	ユーザーを追加します。追加したユーザーに初めて切り替えるときは、ユーザー情報の編集や初期設定を行います。画面の指示に従って設定してください。 • 所有者が使用中に追加したユーザーをタップすると、ユーザーへの切り替えや、電話とSMSの使用許可の設定、ユーザーの削除ができます。 • 使用中のユーザーをタップすると、ユーザー情報の確認や編集ができます。

ゲストを追加	ゲストを追加して、ゲストモードを開始します。 • ゲストモード中は「ゲストモードを終了」と「ゲストセッションをリセット」が表示されます。[ゲストモードを終了]をタップすると、所有者に切り替えることができます。[ゲストセッションをリセット]をタップすると、現在のゲストセッションをリセットして、新しいゲストセッションを開始します。 • ゲストモードを終了すると、ゲストが使用したアプリやデータは削除されます。
ゲストアクティビティを削除	ゲストモードの終了時に、ゲストが使用したアプリやデータを削除するかどうかを設定します。 • オフにすると、ゲストモードの終了時にゲストアクティビティの保存画面が表示され、保存して所有者に切り替えると「ゲスト」が表示されます。[ゲスト]をタップすると、保存したゲストに切り替えることができます。
ゲストに通話を許可する	通話履歴の共有や電話の使用を、ゲストに許可するかどうかを設定します。
ロック画面からユーザーを追加	ロック画面のクイック設定パネル（P.64）からゲストやユーザーを追加できるようにするかどうかを設定します。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

❖ お知らせ

- 所有者とゲストを合わせて、最大5人のユーザーを登録できます。ただし、プライベートスペース（P.184）を設定している場合は、「ユーザーを追加」で追加できるユーザーは最大2人になります。
- 使用者がユーザー／ゲストの場合は、表示される機能が異なったり、アプリや機能の利用が制限されたりします。

本端末をリセットする

本端末をリセットすると、端末内のすべてのデータおよびアカウントなどが削除され、本端末は初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。

- 削除されるデータにはダウンロードしたアプリや内部ストレージに保存したデータ（音楽や画像など）も含まれます。
- 必ず本端末の重要なデータをバックアップしてからリセットしてください。
- リセットは充電しながら行うか、電池が十分に充電された状態で行ってください。
- 初期設定について（P.43）

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［システム］→［リセット オプション］→［すべてのデータを消去（初期設定にリセット）］

2 **[すべてのデータを消去]**

- eSIMを利用している場合は、「eSIMを消去」にチェックを入れると、eSIMのSIM情報も削除されます。
- 必要に応じて画面ロックの解除方法（「パターン」／「PIN」／「パスワード」）を入力します。

3 **[すべてのデータを消去]**

❖お知らせ

- プリインストールされているコンテンツによっては再度ダウンロードできます。ダウンロードするには、ホーム画面で⊞→［おすすめ］→［Xperia Lounge］→［サポート］→［スマートフォン／タブレット関連（プリインストールコンテンツなどの再ダウンロード）］→［ドコモ］をタップして表示される画面から本端末を選択してください。ただし、ダウンロードするコンテンツがない場合、コンテンツは表示されません。

デバイス情報

1 **ホーム画面で⊞→［設定］→［デバイス情報］**

デバイス名	本端末の名前を登録します。
電話番号（SIMスロット1）	SIMスロット1のSIMに登録されている電話番号が表示されます。
電話番号（SIMスロット2）	SIMスロット2のSIMに登録されている電話番号が表示されます。
法的情報	Xperia™のプライバシーポリシーやサードパーティライセンス、Google利用規約などを確認できます。
認証	P.224
お客様のXperia ID	お使いの端末の識別子が表示されます。
詳細な診断データ	本端末の詳細な診断データを送信するかどうかを設定します。
Xperiaサービス設定	マーケティングのためのデータ利用に同意するかどうかを設定します。
SIMステータス（SIMスロット1）	SIMスロット1のSIMのステータスを確認できます。
SIMステータス（SIMスロット2）	SIMスロット2のSIMのステータスを確認できます。

モデル	本端末のモデル名やシリアル番号を確認できます。
EID※1	EIDを確認できます。タップすると、EIDのQRコードを表示できます。
IMEI（SIMスロット1）※2	SIMスロット1のIMEIなどを確認できます。
IMEI（SIMスロット2）※2	SIMスロット2のIMEIなどを確認できます。
Androidバージョン	Androidバージョンなどを確認できます。
IPアドレス	IPアドレスを確認できます。
Wi-Fi MACアドレス	保存済みネットワークのWi-Fi MACアドレスを確認できます。
デバイスのWi-Fi MACアドレス	Wi-Fi MACアドレスを確認できます。
Bluetoothアドレス	Bluetoothアドレスを確認できます。
稼働時間	本端末の稼働時間を確認できます。
ビルド番号	ビルド番号を確認できます。

※1 SIMの利用状況によって表示が異なる場合があります。
※2 SIMの利用状況に応じて「(メイン)」が表示されます。

セキュリティ

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［セキュリティ］

Google Playプロテクト※	本端末を定期的にスキャンし、セキュリティ上の脅威を確認するかどうかを設定します。
Find Hub※	紛失した端末などを探すことができるFind Hub機能の設定をしたり、使用方法を確認したりします。
セキュリティアップデート※	ソフトウェアアップデートの有無を確認します (P.217)。
Google Playシステムアップデート※	システムアップデートの有無を確認します。
画面ロック	P.180
指紋	P.181
セキュリティの詳細設定	P.179

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

セキュリティの詳細設定を行う

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［セキュリティ］→［セキュリティの詳細設定］

ロック解除延長	画面ロックの解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定している場合に、自動的にロックを解除する条件を設定します。
Androidセーフブラウジング※1	対応しているアプリを確認したり、最新バージョンのセーフブラウジングを使用するかどうかを設定したりします。
盗難保護※1	本端末が盗難にあったときの保護機能について設定します。
虚偽の振る舞いをするアプリをスキャンする※1	フィッシングなどの不正な動作を行っているアプリを検出するかどうかを設定します。
デバイス管理	本端末を管理するアプリを有効にするかどうかを設定します。
SIMロック※2	P.47

暗号化と認証情報	**スマートフォンの暗号化**	内部ストレージはお買い上げ時に暗号化されています。
	信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
	ユーザー認証情報	本端末に保存されているユーザー認証情報を管理します。
	証明書のインストール	証明書をインストールします。
	認証情報の消去	認証情報ストレージ※3に保管したすべての証明書や認証情報を削除します。※4
	証明書管理アプリ	証明書管理アプリを確認します。
信頼エージェント		画面ロックの解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定しているとき、信頼エージェントを有効にするかどうかを設定します。
アプリ固定		アプリを固定できるようにするかどうかを設定します。オンに設定すると、タスクマネージャ（P.66）でサムネイルの上部に表示されるアイコンをタップしたときに、「固定」が表示されます。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。
※2 SIMカードを取り付けていない場合や、使用状況によっては表示されません。

※3 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。
※4 VPNの設定も削除されます。

画面ロックの解除方法を設定する

本端末の電源を入れたりスリープモードを解除したりしたときに、画面ロックの解除方法（パターン／PIN／パスワード）を入力するように設定できます。

1 ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］→［画面ロック］

2 ［パターン］／［PIN］／［パスワード］のいずれかをタップ

3 画面の指示に従って設定

- 設定が完了すると、設定メニューの「セキュリティ」に戻ります。
- 「PIN」を選択したときは4～16桁の数字、「パスワード」を選択したときは4～16文字の英数字・記号を登録します。
- 「PIN」で6桁以上の数字を入力すると、「正しいPINを自動で確認する」が表示されます。チェックを入れると、ロック画面で正しいPINが入力されたときに画面ロックが自動的に解除されます。

4 必要に応じて「画面ロック」の⚙をタップ

パターンを表示する※1	パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。
ロック解除を自動で確認する※2※3	ロック画面で6桁以上の正しいPINが入力されたとき、自動的に画面ロックを解除するかどうかを設定します。
PINのプライバシーを強化する※2	ロック画面でPINを入力するとき、タップした数字キーのアニメーションを無効にするかどうかを設定します。
画面が自動消灯してからロックまでの時間	画面が消灯してから自動で画面ロックがかかるまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロックする	電源ボタンを押して画面を消灯したとき、すぐに画面ロックがかかるようにするかどうかを設定します。

※1「パターン」に設定したときのみ表示されます。
※2「PIN」に設定したときのみ表示されます。
※3 6桁以上のPINを設定したときに表示されます。

❖ お知らせ

- 画面ロックの解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定すると、電源ボタンと音量ボタン（＋）を同時に押したときに表示される電源ボタンメニューに「ロックダウン」が表示されます。［ロックダウン］をタップして画面ロックをかけると、ロック解除延長や指紋認証によるロック解除を無効にしたり、通知を非表示にしたりできます。

画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定（P.180）した後に、電源ボタンを押してスリープモードにする、または画面が消灯してから「画面が自動消灯してからロックまでの時間」で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

■ 画面ロックを解除する場合

1 画面ロック中に電源ボタンを押して画面を点灯→画面を上にスワイプ（フリック）→画面ロックの解除方法を入力

■ 画面ロックを無効にする場合

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［セキュリティ］→［画面ロック］→設定したパターン／PIN／パスワードを入力→［なし］→［削除］

❖お知らせ

- パターン／PIN／パスワードの入力を5回連続して間違えると、画面ロックを解除できなくなります。約30秒経過してから再度画面ロック解除の操作を行ってください。
- 設定したパターン／PIN／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

指紋認証機能を設定する

本端末には指紋センサー（P.30）が搭載されており、登録した指で触れることで、画面ロックを指紋認証で解除できます。

指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変えるなどで、認証性能が改善されることがあります。
  - 風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたりしている
  - 指に汗や脂（ハンドクリームなど）が多く付着している
  - 泥や油などで指が汚れている
  - 手荒れしているか、指に損傷（切り傷やただれなど）がある
  - 指が極端に乾燥している
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
  - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる

- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。また、表面をひっかいたり、先の尖ったものでつついたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- 指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- 指紋センサーが汚れると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。

指紋を登録する

1 ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］→［指紋］

- 指紋を登録済みの場合は画面ロックの解除方法を入力する画面が表示され、解除方法を入力すると指紋画面が表示されます。

2 画面ロックの解除方法を選択

- 以降は画面の指示に従って操作してください。登録が終了すると指紋が追加されたことをお知らせする画面が表示されます。［完了］をタップすると登録を終了、［別の指紋を登録］をタップすると別の指紋を登録できます。
- 画面ロックの解除方法は、指紋認証を利用できないときに使用します。
- 画面ロックの解除方法を入力する画面が表示された場合は設定した解除方法を入力し、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- 指紋画面では、次の操作ができます。
  - 指紋の名前を変更するには、登録した指紋をタップ→名前を入力→［OK］をタップします。
  - 指紋を削除するには、登録した指紋の→［削除］をタップします。
  - 他の指紋を登録するには、［指紋を追加］をタップします。

指紋認証を行う

1 ロック画面表示中に、登録した指で指紋センサーに触れる

- ロック画面で画面を上にスワイプ（フリック）すると、設定した画面ロックの解除方法を入力する画面が表示されます。

❖ お知らせ

- 指紋認証が20回連続して認識されなかった場合は、画面ロックの解除方法を入力する画面が表示されます。設定した画面ロック解除方法を入力してください。

プライバシー

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［プライバシー］

ユーザー補助の使用※1	本端末へのフルアクセスを許可しているアプリの確認・設定をします。
プライバシーダッシュボード	権限を最近使用したアプリを確認したり、権限の設定を変更したりします。
権限マネージャー	アプリの権限の設定を確認／変更します。
位置情報を共有する方法の更新	位置情報を共有する方法が変更されたアプリを確認します。
パスワードを表示	PIN／パスワードなどの入力画面で、「●」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。 • 入力画面によっては、設定に従って動作しない場合があります。
ロック画面上の通知	ロック画面に通知内容を表示するかどうかを設定します。※2
ロック画面にメディアを表示する	音楽などの操作パネルを、ロック画面に表示したままにするかどうかを設定します。
Android System Intelligence	学習した情報に基づいた提案などをキーボードの候補リストに表示するように設定したり、音声文字認識機能で使用するオフライン言語について管理・設定したりします。また、学習内容を削除します。

アプリのコンテンツ	Androidシステムにコンテンツを送信することをアプリに許可するかどうかを設定します。
クリップボードへのアクセスを表示	クリップボードにコピーしたテキストや画像などにアプリがアクセスしたとき、メッセージを表示して通知するかどうかを設定します。
ヘルスコネクト	ヘルスコネクトにアクセスするアプリの権限の設定を確認／変更したり、ヘルスコネクトのデータを管理したりします。
Googleの自動入力サービス	保存された情報を確認したり、設定を変更したりします。
アクティビティ管理	アクティビティを有効にするかどうかを設定したり、Googleに保存を許可するアクティビティと情報を選択したりします。
プライベートスペース	プライベートなアプリとアプリ内のデータを他人の目から守ることができます。プライベートスペースは、アプリを隠して整理することができる、本端末内で隔離されたスペースです。
広告	広告プライバシー※1を設定したり、広告IDを削除／取得したりします。
使用状況と診断情報	使用状況などをGoogleに送信するかどうかを設定します。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。
※2「画面ロック」の設定により表示される項目は異なります。

❖ お知らせ

- 「ユーザー」（P.175）の「ユーザーを追加」で、3人のユーザーを追加している場合は、プライベートスペースを利用できません。

位置情報

1 ホーム画面で→［設定］→［位置情報］

2 「位置情報を使用」のをタップ

3 位置情報の注意文を読んで［同意する］

最近のアクセス	最近の位置情報データを使用したアプリやサービスが表示されます。
すべて表示	最近の位置情報データを使用したすべてのアプリやサービスが表示されます。
アプリへの位置情報の利用許可	位置情報を使用するアプリの権限を確認／変更したり、正確な位置情報の使用を許可するかどうかを設定したりします。
位置情報サービス	**Googleロケーション履歴※**	タイムラインの設定をします。
	Google現在地の共有機能	現在地の共有状況を確認したり、共有を停止したりします。
	位置情報の精度	Wi-Fiやモバイルネットワークなどを使用して、位置情報の精度を改善するかどうかを設定します。
	信頼できる場所※	信頼できる場所を追加したり、信頼できる場所を使用する設定を確認したりします。
	地震アラート※	地震アラートを利用するかどうかを設定します。
	災害情報アラート※	災害情報アラートを利用するかどうかを設定します。
	緊急位置情報サービス	緊急位置情報サービス（ELS）を利用するかどうかを設定します。
	Wi-Fiスキャン	Wi-Fi機能がオフの場合でも、Wi-Fiネットワークのスキャンを許可するかどうかを設定します。
	Bluetoothのスキャン	Bluetooth機能がオフの場合でも、Bluetooth機器のスキャンを許可するかどうかを設定します。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

ドコモのサービス／クラウド

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ドコモのサービス／クラウド］

dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します（P.45）。また、端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモアプリ管理	ドコモアプリの管理をしたり、通知や自動アップデートの設定をしたりします。
おすすめアプリ	おすすめアプリの設定をしたり、過去に受信した通知を確認したりします。
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントを表示するかどうかを設定したり、過去に表示されたヒントを確認したりします。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定をします。
端末情報送信	端末情報をドコモが管理するサーバに送信するかどうかを設定します。
会員情報／プロフィール情報設定	ドコモの各種サービスで利用する会員情報／プロフィール情報の確認や変更ができます。
ドコモ初期設定	P.44
USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定をします。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

❖お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

パスワードとアカウント

1 ホーム画面で→［設定］→［パスワードとアカウント］

優先するサービス	自動入力で優先的に使用するサービスの変更や設定を行います。
アカウントを追加	P.187
アプリデータを自動的に同期する※	P.187

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

アカウントを追加する

オンラインサービスのアカウントを追加したり、削除したりできます。

- Googleアカウントの設定について（P.45）
- 自動同期について（P.187）

1 ホーム画面で→［設定］→［パスワードとアカウント］→［アカウントを追加］

2 アカウントの種類をタップ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- docomoのアカウントは、お買い上げ時から設定されています。

アカウントを削除する

1 ホーム画面で→［設定］→［パスワードとアカウント］→削除するアカウントを選択

2 ［アカウントを削除］→［アカウントを削除］

❖お知らせ

- docomoのアカウントは削除できません。

アカウントの自動同期を設定する

本端末とオンラインサービス上の情報を自動的に同期できます。本端末およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

- 自動同期を設定すると、同期するときに通信が発生し、パケット通信料がかかる場合があります。

1 ホーム画面で→［設定］→［パスワードとアカウント］

2 「アプリデータを自動的に同期する」の／をタップ→［OK］

手動同期する

自動同期がオフのとき、登録されたアカウントを手動で同期します。

- アカウントの種類によっては操作できない場合があります。

1 ホーム画面で→［設定］→［パスワードとアカウント］

2 アカウントを選択→［アカウントの同期］→同期する項目を選択

Digital Wellbeing、保護者による使用制限

本端末の利用習慣を確認したり、アプリタイマーなどのツールで利用時間を管理したりして、本端末の使いすぎを防止することができます。また、保護者による使用制限を設定することもできます。

1 ホーム画面で→［設定］→［Digital Wellbeing、保護者による使用制限］

2 各項目を確認・設定

安全性と緊急情報

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［安全性と緊急情報］

緊急情報サービスを開く	緊急情報サービスを設定／表示します。
医療に関する情報	医療に関する情報を登録／確認します。
緊急連絡先	緊急連絡先を追加／確認します。
緊急SOS	緊急SOSを使用するかどうかを設定したり、緊急SOSを使用したときの動作を設定したりします。
緊急位置情報サービス	緊急位置情報サービス（ELS）を利用するかどうかを設定します。
地震アラート※	地震アラートを利用するかどうかを設定します。
災害情報アラート	災害情報アラートを利用するかどうかを設定します。
不明なトラッカーのアラート※	不明なトラッカーが検出されたときに通知するかどうかを設定します。
運転中の通知をサイレントにする※	運転に集中できるように通知をブロックします。
緊急速報メール	緊急速報「エリアメール」の設定をします。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

ユーザー補助

1 ホーム画面で⊞（アプリ一覧）→［設定］→［ユーザー補助］

Voice Access	Voice Accessを使用するかどうかを設定します。
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントサービスを使用するかどうかを設定します。 • あらかじめ使用するための設定が必要です（P.186）。
音声文字変換	音声を文字に起こして画面に表示します。
音検知通知	特定の音を検知したときに通知するように設定します。
TalkBack	画面上の情報などを読み上げるように設定します。 • TalkBackをオンにすると、本端末の操作方法や動作が変更されます。TalkBackについて詳しくは、画面の説明やチュートリアルなどをご覧ください。
選択して読み上げ	画面上の選択したテキストなどを読み上げるように設定します。
表示サイズとテキスト	P.166

色と動き	**色補正**	色が区別しにくい場合に色補正します。
	色反転	画面の色を反転させるかどうかを設定します。
	ダークモード	対応する画面や表示にダークモードを適用します。自動的にオン／オフにするスケジュールを設定することもできます。
	アニメーションを無効化	画面表示のアニメーション効果を無効にするかどうかを設定します。
さらに輝度を下げる		「明るさのレベル」（P.167）で設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くすることができます。
拡大操作		拡大操作ができるようにするかどうかを設定します。
スイッチアクセス		本端末に接続した対応機器から操作できるように設定します。
ユーザー補助機能メニュー		ユーザー補助機能メニューを表示できるように設定します。

タイミングの調節	**長押し感知までの時間**	画面をロングタッチして操作するときの反応速度を設定します。
	操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）	画面上部に表示される、操作メニューが表示された通知メッセージなどの表示時間を設定します。 • アプリや機能によっては、設定に従って動作しない場合があります。
システム操作	**ナビゲーションモード**	キーアイコンの操作を変更したり、かこって検索（P.72）の利用やGeminiの起動方法について設定したりします。
	片手モード	P.70
	電源ボタンで通話を終了※	電源ボタンを押して通話を終了できるようにするかどうかを設定します。
	画面の自動回転	P.51
バイブレーションとハプティクス		P.163
自動字幕起こし		本端末がメディアや通話などの音声を検出したとき、字幕を表示させるかどうかを設定します。
字幕の設定		字幕を表示するかどうかを設定したり、字幕のサイズやスタイルなどを設定したりします。

音声による説明		対応する映画や番組で、画面の表示内容の説明を読み上げるように設定します。
点滅による通知		通知を受信したときやアラームが鳴ったとき、ライト／フラッシュや画面を点滅させるかどうかを設定します。
補聴器		対応するBluetooth補聴器（市販品）とペア設定を行います。
音声の調整	**モノラル音声**	音声をモノラル再生するかどうかを設定します。
	オーディオバランス	オーディオバランスを設定します。
ユーザー補助機能のショートカット	**ユーザー補助機能ボタン**	ユーザー補助機能ボタンの表示を設定します。
	ロック画面での音量ボタンのショートカット	ロック画面で音量ボタン（＋）と音量ボタン（－）を同時に押してショートカットを使用できるようにするかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定		P.191

※「電源ボタンで通話を終了」がオンの状態で、通話中にスリープモードになった場合は、電源ボタンを押してスリープモードを解除してから電源ボタンを押すと通話を終了できます。

❖お知らせ

- TalkBackをオンにするには、ホーム画面で（アプリ一覧）→［設定］→［ユーザー補助］→［TalkBack］→「TalkBackを使用」の（オフスイッチ）→［許可］をタップします。TalkBackをオフにする場合は、「TalkBackを使用」をオフにします。
- TalkBackショートカットを設定すると、音量ボタン（＋）と音量ボタン（－）を同時に3秒以上押しても、TalkBackのオン／オフを切り替えられます。設定するには、ホーム画面で（アプリ一覧）→［設定］→［ユーザー補助］→［TalkBack］→［TalkBackのショートカット］→［許可］→「音量ボタン」にチェックを入れます。

テキスト読み上げを設定する

1 ホーム画面で（アプリ一覧）→［設定］→［ユーザー補助］→［テキスト読み上げの設定］

優先するエンジン	テキスト読み上げエンジンの選択や設定を行います。
言語	テキスト読み上げの言語を設定します。
音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
音の高さ	テキストを読み上げる音声の高さを設定します。
再生	読み上げのサンプルを再生します。
リセット	「音声の速度」「音の高さ」の設定を標準に戻します。

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

アプリや各アプリが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。

microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

• microSDカードの取り付けについて（P.34）

ファイル操作

「Files」アプリを利用して、内部ストレージやmicroSDカードなどに保存されているデータを操作します。

1 ホーム画面で［Google］→［Files］

• 最近使用したファイル、カテゴリ、コレクション、すべてのストレージが表示されます。

2 「すべてのストレージ」の［内部ストレージ］

• 本端末の内部ストレージが表示されます。
• microSDカードを取り付けている場合は、「すべてのストレージ」に「SDカード」が表示されます。
• クラウドストレージなどを使用する場合は［その他のストレージ］をタップします。

3 必要に応じてフォルダをタップ

4 ファイルをタップ

• データが表示されます。

❖お知らせ

• データを検索する場合は、手順2で🔍をタップしてファイル名を入力し、ソフトウェアキーボードの🔍をタップします。

■ フォルダを作成する

1 **ホーム画面で［Google］→［Files］**

2 **ストレージをタップ**

3 **必要に応じてフォルダをタップ**

4 **⋮→［新しいフォルダを追加］**

5 **フォルダ名を入力→［フォルダを作成］**

■ フォルダまたはファイルの名前を変更する

1 **ホーム画面で［Google］→［Files］**

2 **ストレージをタップ**

3 **必要に応じてフォルダをタップ**

4 **名前を変更するフォルダまたはファイルをロングタッチ**

5 **⋮→［名前を変更］→名前を入力→［OK］**

■ フォルダまたはファイルを削除する

1 **ホーム画面で［Google］→［Files］**

2 **ストレージをタップ**

3 **必要に応じてフォルダをタップ**

4 **削除するフォルダまたはファイルをロングタッチ**

5 **⋮→［完全に削除］→［削除］**

■ フォルダまたはファイルをコピー／移動する

1 **ホーム画面で［Google］→［Files］**

2 **ストレージをタップ**

3 **必要に応じてフォルダをタップ**

4 **コピー／移動するフォルダまたはファイルをロングタッチ**

5 **⋮→［コピー］／［移動］**

6 **コピー先／移動先のストレージをタップ**

7 **任意の場所で［ここにコピー］／［ここに移動］**

データ通信

Bluetooth機能

Bluetooth機能は、パソコンやハンズフリーヘッドセットなどのBluetooth機器とワイヤレス接続できる技術です。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth機器と無線LAN対応機器は、約10m以上離してください。
- 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth機能をオン／オフにする

1 ホーム画面で→［設定］→［接続設定］→［接続の詳細設定］→［Bluetooth］

2 「Bluetoothを使用」の／をタップ

- ［デバイス名］をタップすると他のBluetooth機器に表示される本端末の名前を変更できます。

❖ お知らせ

- Bluetooth機能のオン／オフの設定は、電源を切っても変更されません。
- 使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth機能をオフにしてください。

Bluetooth機器とペア設定する

本端末とBluetooth機器を接続するには、ペア設定が必要です。

- 一度ペア設定を行うと、ペア設定情報は記録されます。
- ペア設定を行うときに、パスコード（PIN）の入力が必要になる場合があります。本端末のパスコード（PIN）は「0000」です。「0000」を入力してもペア設定できない場合は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

• あらかじめペア設定を行う機器側を検出可能な状態にしてください。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［接続設定］→［新しいデバイスとペア設定］

• 「使用可能なデバイス」欄に検出されたBluetooth機器名が表示されます。

2 ペア設定を行うBluetooth機器名をタップ

3 確認画面でBluetoothペア設定コード（パスコード）を確認→［ペア設定する］

• ペア設定されたBluetooth機器名が表示されます。

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

確認画面でBluetoothペア設定コード（パスコード）を確認し、［ペア設定する］をタップします。

❖ お知らせ

• ペア設定されたBluetooth機器名の右側の⚙をタップすると、相手のBluetooth機器の名前を変更したり、使用目的を設定したりできます。
• ペア解除する場合は、解除するBluetooth機器名の右側の⚙→［削除］→［このデバイスとのペア設定を解除］をタップします。
• 本端末はLE Audioに対応しています。LE Audioは、Bluetooth技術の音声通信規格です。
• 完全ワイヤレスイヤホンやサラウンドスピーカーなどの分離型のLE Audio対応機器は、1つの機器として認識され、ペア設定されます。機器によっては個別に認識されてしまう場合もあります。
• LE Audio対応機器がどのような名前で表示されるかについては、LE Audio対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth機器と接続する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［接続設定］

2 ［すべて表示］→接続するBluetooth機器名をタップ

Bluetooth機器の接続を解除する

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［接続設定］

2 接続中のBluetooth機器名の右側の⚙をタップ

3 ［接続を解除］

• 再接続するときは、［接続］をタップします。

ブロードキャストを楽しむ（Bluetooth LE Audio）

ブロードキャストは、Bluetooth技術の新しい音声通信規格であるLE Audioの機能のひとつです。
ブロードキャスト機能を使うと、本端末から音声を共有（ブロードキャスト）して複数の人で楽しんだり、他のユーザーからの音声の共有（ブロードキャスト）を自分のヘッドホンで聞いたりできます。
ブロードキャスト機能を使うには、共有側と受信側の両方の機器がLE Audioのブロードキャスト機能に対応している必要があります。

- 本端末で操作するLE Audio対応のヘッドホンは、あらかじめ本端末とペア設定を行ってください。
- 本端末はAuracast™に対応しています。

本端末から音声を共有する

1 ホーム画面で→［設定］→［接続設定］→［接続の詳細設定］→［音声の共有］

2 「音声を共有」のをタップ

- 音声の共有が始まり、本端末とペア設定したヘッドホンから音が聞こえます。
- 音声の共有を停止するには、「音声を共有」のをタップします。

❖注意

- 本端末から共有した音声を本端末のメインスピーカーで聞くことはできません。

❖お知らせ

- クイック設定パネルからも音声を共有できます。2本の指でステータスバーを下にドラッグ→［Bluetooth］→［音声を共有］をタップします。
- 通知からも音声の共有を停止できます。ステータスバーを下にドラッグ→音声の共有通知の［共有を停止］をタップします。

他機器から共有された音声を本端末とペア設定したヘッドホンで聞く

1 ホーム画面で→［設定］→［接続設定］→［接続の詳細設定］→［音声の共有］→［音声ストリームを探す］

2 機器の名称をタップ

3 必要に応じてパスワードを入力→［接続］

- 音声共有の受信が始まり、本端末とペア設定したヘッドホンから音が聞こえます。
- 音声共有の受信を停止するには、ホーム画面で→［設定］→［接続設定］→［接続の詳細設定］→［音声の共有］→［音声ストリームを探す］→機器の名称をタップ→［接続を解除］をタップします。

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ相手のBluetooth機器とペア設定を行ってください。

データを送信する

1 各アプリの共有メニューで［Bluetooth］

2 送信する相手のBluetooth機器名をタップ

データを受信する

1 相手のBluetooth機器からデータを送信

- ステータスバーにが表示されます。

2 ステータスバーを下にドラッグ→［着信ファイル］→［承諾］

❖お知らせ

- 受信したデータを確認するには、ホーム画面で［Google］→［Files］→「カテゴリ」の［ダウンロード］をタップします。

docomo Starlink Direct

本サービスは、SpaceX社が提供する衛星通信サービス「Starlink」を活用し、衛星とスマートフォンが直接通信できるサービスです。スマートフォンが地上の基地局を介さずに衛星と直接接続することで、山間部や離島、海上など今までエリア化が困難だった地域や、災害発生時など地上の通信設備が被災した地域において、テキストメッセージの送受信や対応アプリにおけるデータ通信が可能になります。

- docomo Starlink Directは、お申し込み不要で当面無料でご利用いただけます。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
  https://www.docomo.ne.jp/service/starlink_direct/
- ドコモ回線をご利用で、本サービス対応機種および対応SIMをご利用中のお客様にご利用いただけます。あわせて、本サービスをご利用いただくには、OSが最新の状態であることをご確認ください。
  ※ 本サービスのご利用には5GもしくはXiのご契約が必要です。
- サービスエリアは、日本国内（領海を含む）のドコモ5G／4Gエリア外です。
  ※ 本サービスは圏外時専用のため、ドコモ5G／4Gエリア内またはWi-Fiに接続している場合はご利用いただけません。
  ※ 条件を満たすと、自動的に衛星通信に切り替わります。
  ※ 領海は基線から12海里（約22.2km）までの範囲を指します。

対応アプリの確認方法

ご利用中の端末にインストールされているアプリのうち、本サービスに対応しているアプリを確認できます。

1 **ホーム画面で⊞→［設定］**

2 **［ネットワークとインターネット］→［SIM］→［NTT DOCOMO］※→「衛星接続］**
  ※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

外部機器接続

パソコンとの接続

パソコンに接続すると、本端末とパソコンとの間でデータのやり取りができます。

❖お知らせ

- 表示される画面はパソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。
- 著作権で保護された画像や音楽などは操作ができない場合があります。

USBケーブルでパソコンに接続する

- 以下のオペレーティングシステム（OS）に対応しています。
  - Microsoft Windows 11

1 本端末をUSBケーブル（市販品）でパソコンに接続（P.41）

- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。

2 ステータスバーを下にドラッグ→[このデバイスをUSBで充電中]→[このデバイスをUSBで充電中 タップしてその他のオプションを表示します。]→[ファイル転送／Android Auto]

- パソコン上の画面に本端末がポータブルデバイスとして表示され、本端末の内部ストレージおよびmicroSDカードにアクセスできるようになります。

❖お知らせ

- USBの接続用途を変更するには、ステータスバーを下にドラッグ→USBの接続用途の通知をタップ→もう一度通知をタップし、USBの接続用途を選択します。

USBケーブルを安全に取り外す

- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

1 データ転送中でないことを確認し、USBケーブルを本端末とパソコンから取り外す

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。
国際ローミング（WORLD WING）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/world/roaming/

❖お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

○：利用可能

主な通信サービス	5G	LTE	3G	3G850	GSM（GPRS）
電話	○	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○	○
パケット通信※	○	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、「データローミング」（P.203）をオンに設定する必要があります。

❖お知らせ

- 海外で「＋メッセージ」アプリをご利用いただくには「＋メッセージ」アプリでの設定が必要です（P.113）。
- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、「クイック設定パネル」（P.64）で確認できます。

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約・料金について

- 事前にWORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。ご利用いただいている料金プランによってはお申し込みが不要です。
- 海外でのご利用料金は日本国内とは異なります。
- 詳細については、ご利用いただいている料金プランのホームページをご確認ください。

■ 充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

事前設定

オプションサービスの設定について

オプションサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのオプションサービスをご利用になれます。ただし、一部のオプションサービスはご利用になれません。

- 海外でオプションサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始に設定する必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
  詳しい設定方法についてはドコモのホームページをご確認ください。
- 設定／解除などの操作が可能なオプションサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
- 海外から操作した場合は、滞在先から日本までの通話料がかかります。

滞在先での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者／ネットワークに接続されます。

接続について

「ネットワークを自動的に選択する」（P.203）をオンに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、「データローミング」をオンに設定する必要があります。

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［SIM］

2 表示されたSIMをタップ

- 2つのSIMを同時に利用している場合は、設定するSIMを選択してください。

3 「データローミング」のをタップ→注意文を読んで［OK］

ネットワークの設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［SIM］

2 表示されたSIMをタップ

- 2つのSIMを同時に利用している場合は、設定するSIMを選択してください。

3 「ネットワークを自動的に選択する」のをタップ

- ネットワークの検索を行います。

4 利用可能なネットワークの中から使用するネットワークをタップ

❖お知らせ

- ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。
- 「ネットワークを自動的に選択する」をオンに設定するには、手順3で「ネットワークを自動的に選択する」のをタップします。

優先ネットワークの種類の設定

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［SIM］

2 表示されたSIMをタップ

- 2つのSIMを同時に利用している場合は、設定するSIMを選択してください。

3 ［優先ネットワークの種類］

4 設定する優先ネットワークの種類を選択

- 「5G（推奨）」を選択すると、利用できるネットワークタイプを自動的に5G/4G/3G/GSMに切り替えます。

日付と時刻について

「日付と時刻」の「日時の自動設定」「タイムゾーンの自動設定」がオンの場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻の設定について（P.175）

お問い合わせについて

- 本端末やSIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在先に割り当てられている「国際電話アクセス番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

海外に到着後、本端末の電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

- 電池の残量および受信レベルが十分であることを確認してください。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されなかったりすることがあります。
  この場合、通話履歴から電話をかけることはできません。
- 接続可能な国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

滞在先から（日本含む）他の国・地域に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在先から他の国・地域へ電話をかけることができます。

- 先頭に「＋」を付けてから相手先の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国・地域へ国際電話をかけることができます。

1 ホーム画面で→「キーパッド」タブをタップ

2 ＋（[0]をロングタッチ）→国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 [音声通話]

4 通話が終了したら をタップ

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在先から他の国・地域へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用して国際電話をかけることができます。

- あらかじめ「ダイヤル アシスト」（P.207）をオンに設定する必要があります。
- 地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。
- 電話帳からの発信時には国際ダイヤルアシストがご利用になれませんので、次の操作で電話をかけてください。

1 ホーム画面で→「キーパッド」タブをタップ

2 地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力

3 [音声通話]

- 電話番号の下には、国・地域名が表示されます。また、電話番号の上には、国番号を付けて発信している旨のメッセージが表示される場合があります。

4 通話が終了したら をタップ

滞在国・地域内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で→「キーパッド」タブをタップ

2 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。

3 [音声通話]

- 電話番号の下には、国・地域名が表示されます。また、電話番号の上には、国番号を付けて発信している旨のメッセージが表示される場合があります。

4 通話が終了したら をタップ

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、同じ国・地域にいる場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先に関わらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。
  ＋（[0] をロングタッチ）- 81（日本の国番号）- 先頭の「0」を除いた電話番号

滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

❖ お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国・地域からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信元の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信元の国際電話アクセス番号 - 81 - 90（または80、70） - XXXX - XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

ダイヤル アシストの設定

1 ホーム画面で→「ホーム」タブをタップ→≡→［設定］

2 ［ダイヤル アシスト］

ダイヤル アシスト	国際ダイヤルアシストを利用するかどうかを設定します。
デフォルトの居住国	国際ダイヤルアシストで自動的に追加される国番号を選択します。

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■ 海外でパケット通信を利用した場合

「データローミング」（P.203）をオフに設定してください。

■ 帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- 「優先ネットワークの種類」（P.204）を「5G（推奨）」に設定してください。
- 「ネットワークを自動的に選択する」（P.203）をオンに設定してください。

付録

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。
  詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.217）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

■ 電源

状況	原因と対処
本端末の電源が入らない	電池切れになっていませんか。→P.36
画面が動かない、電源が切れない	画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合は、電源ボタンと音量ボタン（＋）を同時に10秒以上押し、1回振動してさらに連続して3回振動した後に指を離すと本端末の電源を強制的に切ることができます。 ※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

状況	原因と対処
充電ができない（電池アイコンが充電中の表示に変わらない）	• アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリーソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと本端末が正しく取り付けられていますか。→P.38 • ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタまたはUSBケーブルのType-Cプラグが本端末と正しく接続されていますか。→P.38 • USBケーブル（市販品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止する、充電が完了しない、または電池残量が減少する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
いたわり充電が開始されない	自動設定の場合、充電の習慣に規則性を見つけられないと学習が完了しないため、いたわり充電は開始されません。手動設定または常時設定にすると、指定した時間帯で充電を開始したり、設定した制限容量になるまで充電を行ったりできます。→P.38
満充電にならない	いたわり充電中に充電器を取り外すと、満充電されていない場合があります。 満充電にするには、通常の充電に切り替えてください。→P.38

■ 端末操作

状況	原因と対処
操作中・充電中に熱くなる	• 通話中に、電波環境や通話時間によっては受話口／セカンドスピーカー周辺が温かくなることがありますが、異常ではありません。 • 操作中や充電中、充電しながらアプリや動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。 • 本端末の温度が高くなると、通知パネルに本端末の温度が上昇した旨が表示され、テザリングなどいくつかのアプリやサービスが使用できなくなる場合があります。 この場合は、本端末の温度が下がるのを待ってから、再度ご使用ください。

状況	原因と対処
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態になるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外の状態が続く場所では電源を切るか、機内モードに設定してください。→P.42、P.153 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.223 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、内蔵電池の交換時期です。 内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」（P.220）をご確認ください。 • 複数のアプリを起動していませんか。 使用していないアプリを終了してください。→P.66

状況	原因と対処
電池の使用時間が短い	• Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、設定をオフにしてください。→P.145、P.194 • STAMINAモードを設定すると、本端末の動作と一部の機能を制限し、電池の消費を抑えることができます。→P.170
タップしたり、ボタンを押したりしても動作しない	• 電源が切れていませんか。→P.42 • 画面ロックを設定していませんか。→P.180
タップしたり、ボタンを押したりしたときの画面の反応が遅い	本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに起きる場合があります。
SIMカードを認識しない	SIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.31
時計がずれる	長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「日時の自動設定」「タイムゾーンの自動設定」がオンになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。→P.42、P.175

状況	原因と対処
端末動作が不安定	お買い上げ後に本端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。 セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 セーフモードを起動するには、電源を切った状態で本端末が振動するまで電源ボタンを長押しし、Androidロゴが表示されたら音量ボタン（−）を長く押し続けてください。 電源を入れている状態では、電源ボタンと音量ボタン（＋）を同時に押す→［電源を切る］をロングタッチ→［OK］をタップすると、本端末が再起動してセーフモードで起動できます。 セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 ※ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ※ アプリやウィジェットによっては非表示になる場合があります。 ※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

状況	原因と対処
アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→P.160 • アプリの権限を許可していますか。→P.53、P.158

■ 通話

状況	原因と対処
［音声通話］をタップしても発信できない	機内モードを設定していませんか。→P.153
着信音が鳴らない	• 「着信音の音量」を消音にしていませんか。→P.164 • 次の機能を起動していませんか。 – マナーモード→P.51 – 機内モード→P.153 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。詳しい設定方法についてはドコモのホームページをご確認ください。 • 伝言メモの応答時間設定を「0秒」にしていませんか。→P.103 • 着信拒否の設定をしていませんか。→P.104

状況	原因と対処
通話ができない（場所を移動してもの表示から切り替わらない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、SIMカードを取り付け直してください。→P.31、P.42 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態はを表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 着信拒否の設定をしていませんか。→P.104 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

状況	原因と対処
ディスプレイが暗い	• 「画面自動消灯」を短い時間で設定していませんか。→P.165 • 画面の明るさを変更していませんか。→P.167 • 「明るさの自動調節」をオンにしている場合は、周囲の明るさに応じて画面の明るさが変わります。→P.165 • 近接センサー／照度センサー、背面の照度センサーを指やシールなどでふさいでいませんか。→P.29、P.30 • 使用中に本端末の温度が高くなるとディスプレイが暗くなる場合がありますが、異常ではありません。

■ 音声

状況	原因と対処
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	通話音量を変更していませんか。→P.100、P.164

■ カメラ

状況	原因と対処
カメラで撮影した写真や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないか、フィルムを貼り付けていないかを確認してください。 • 動画撮影の場合、「手ブレ補正」を設定して撮影してください。
フラッシュ撮影時に写真や動画が白っぽくなる	メインカメラ周辺に指やカバーがあると、フラッシュの光が反射して撮影した写真や動画に悪影響を与える場合があります。

■ おサイフケータイ

状況	原因と対処
おサイフケータイが使えない	• おまかせロックを設定すると、NFC／おサイフケータイ ロック ON/OFFの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • NFC／おサイフケータイ ロック ON/OFFを設定していませんか。→P.135 •「NFC／おサイフケータイ」をオフにしていませんか。→P.134 • 本端末のNFC／おサイフケータイかざし位置を読み取り機にかざしていますか。→P.133

■ 海外利用

状況	原因と対処
海外で本端末が使えない（が表示されている場合）	WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。
海外で本端末が使えない（が表示されている場合）	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 –「優先ネットワークの種類」を「5G（推奨）」に設定してください。→P.204 –「ネットワークを自動的に選択する」をオンにしてください。→P.203 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P.42
海外でデータ通信ができない	「データローミング」をオンにしてください。→P.203
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミング（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

状況	原因と対処
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

状況	原因と対処
データ転送が行われない	USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	microSDカードを取り付け直してください。→P.34
画像を表示しようとすると正しく表示されない	画像データが壊れている場合は黒色の画面が表示されるなどして、画像が正しく表示されません。

■ Bluetooth機能

状況	原因と対処
Bluetooth機器と接続ができない／検索しても見つからない	Bluetooth機器（市販品）側を検出可能な状態にしてから、本端末側からペア設定を行う必要があります。ペア設定済みの機器を解除して再度ペア設定を行う場合には、本端末とBluetooth機器（市販品）の両方でペア設定を解除してから行ってください。→P.194
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。→P.42

■ 外部機器接続

状況	原因と対処
USBケーブルで接続した外部機器が認識されない	• 外部機器を取り付け直してください。 ただし、機器によっては検出されない場合があります。 • USB Type-C接続端子に水分を検出すると、USB機器の自動検出が無効になり、外部機器は認識されません。 USB Type-C接続端子に水滴が残っていないことを確認してからUSB機器を接続して、表示されているメッセージをタップしてください。
本端末の画面が接続先のディスプレイに表示されない	DisplayPort対応のUSB Type-Cケーブル（市販品）を使用しないと接続先のディスプレイに表示できません。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因と対処
通信サービスなし／通信サービスはありません	• サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。 • SIMカードが正しく機能していません。 SIMカードを取り付け直す（P.31）ことで改善する可能性があります。 改善しない場合は、裏表紙のお問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。
モバイルネットワークが利用できません	SIMカードを正しく取り付けて（P.31）、電波の届く場所まで移動してください。
緊急通報以外は発信制限が設定されています	回線の混雑などにより通常通話音声サービスが受けにくい場合に表示されます。
通話の発信制限が設定されています	回線の混雑などにより通常／緊急通話音声サービスが受けにくい場合に表示されます。
音声通話サービス停止	通常通話音声サービスが受けられない場合に表示されます。
音声サービスと緊急通報のブロック	通常／緊急通話音声サービスが受けられない場合に表示されます。
モバイルデータサービスのブロック	データサービスが受けられない場合に表示されます。
SIMカードはロックされています	PINコード（P.47）を正しく入力してください。
SIMカードはPUKでロックされています	PUK（PINロック解除コード）（P.47）を正しく入力してください。
PINロック解除コードがロックされています	PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
空き容量わずか	内部ストレージの空き容量が低下しています。このままご使用になると一部の機能やアプリが動作しない場合があります。不要なアプリをアンインストール（P.159）してください。
メモリーがいっぱいです	内部ストレージやmicroSDカードの空き容量がありません。不要なデータを削除（P.193）して容量を確保してください。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデート※とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。
ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

※本端末ではシステムアップデートと表示されます。

- Android OSバージョンアップ
  Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質などが向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- 新機能追加
  プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- 品質改善
  プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- セキュリティパッチの更新
  セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ソフトウェアアップデートを行う

更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
  本端末のステータスバーから通知をタップし、更新を開始します。
- 定期的に表示される画面から
  本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。
  確認画面にて動作を選択し、更新を進めてください。
- 本体設定から
  ホーム画面で→［設定］→［システム］→［システムアップデート］をタップし、更新を開始します。
  アップデートが不要な場合、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。

更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステムアップデートを進めてください。

※ 通信料金が発生すると表示される場合がありますが、アクセスポイント（APN）をdocomoに設定し、docomoをモバイルデータ通信の優先設定にした場合、本アップデートにおいて通信料金は発生しません。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。
  ［今すぐ再起動］をタップすると、すぐに本端末が再起動します。
  ［2:00以降に再起動］をタップすると、夜間に自動で再起動します。

※ 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内に［後で行う］をタップしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデートには再起動が伴い、その間は電話の発着信を含めすべての機能をご利用いただけません。

- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続が必要です。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
  - 通話中
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - 必要な電池残量がないとき
  - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
  - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切らないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- サポート期間中にソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
- サポート期間終了後にソフトウェアアップデートが配信される場合がございますが、ソフトウェアアップデートについてはお客様の責任において実施してください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください（付属品がある場合は対象に含みます）。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

無料修理規定

1　保証期間内に取扱説明書などの注意に従った使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）

2　保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
1. 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
2. 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイおよび外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
3. 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
4. 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
5. 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
6. ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。

3　本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only on Japan.

4　本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではございません。

5　お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、すべて修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。

6　修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。

7　修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

＜販売元＞
株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.209）をご覧になってお調べください。

修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付いたします。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 内蔵電池の交換は

内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。

内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。

十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換は、有料修理となります。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。

お願い

● 本端末の改造はおやめください。

- 火災・けが・故障の原因となります。
- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

  以下のような場合は改造とみなされる場合があります。

  - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

主な仕様

ソフトウェアアップデートなどにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、ドコモのホームページをご覧ください。

■ 本体

サイズ		高さ：約162mm 幅：約74mm 厚さ：約8.3mm
重量		約200g
ディスプレイ	**サイズ**	約6.5インチ
	種類	有機EL
	解像度（ピクセル数　横×縦）	Full HD+（1080×2340）
内蔵メモリ		RAM：12GB ROM：256GB※1
バッテリー容量	**バッテリー容量**	5000mAh
	ワット時定格値	18.9Wh
連続待受時間（静止時）※2※3	**4G（LTE）**	約560時間
連続通話時間※3※4	**LTE（VoLTE）**	VoLTE（HD+）：約2210分
充電時間		ACアダプタ08：約100分 ACアダプタ09M：約100分
無線LAN	**対応規格**	IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax/be準拠（IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz、IEEE802.11ax対応周波数帯：2.4GHz/5GHz/6GHz（Wi-Fi 6E）、IEEE802.11be対応周波数帯：2.4GHz/5GHz/6GHz）
Bluetooth	**バージョン**	6.0※5
イヤホンマイクジャック		対応
カメラ	**有効画素数**	メインカメラ①：約4800万画素 メインカメラ②：約4800万画素 メインカメラ③：約4800万画素 フロントカメラ：約1200万画素
伝言メモ		対応

※1　メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」（P.169）をご参照ください。

※2　連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※3　各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。

※4　連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※5 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやり取りができない場合があります。

認証および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）について確認できます。

1 ホーム画面で→［設定］→［デバイス情報］

2 ［認証］

VCCIについて

本端末は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、適合マークを画面に電子的に表示しています。

携帯電話機の電波防護への適合性について

携帯電話機の電波防護への適合性

この機種SO-51Gの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1を遵守するよう設計されています。この技術基準は、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）や米国電気電子学会（IEEE）電磁界安全に係る国際委員会（ICES）が定める電波防護許容値との整合性を考慮しつつ国が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate、6 GHz以下の周波数の場合）および電力密度（PD: Power Density、6 GHzを超える周波数の場合）で定めており、携帯電話機に対するSAR、PDの許容値はそれぞれ2 W/kg、2 mW/cm^{2}です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が1以下であれば、許容値を満足しています。

この携帯電話機の総合照射比は、側頭部における最大値：0.75※2、身体に装着した場合の最大値：0.46※3となっています※4。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SAR、PDはより小さい値となります。個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準に適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

携帯電話機の電波防護について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
ドコモのホームページ
https://www.docomo.ne.jp/product/sar/
Xperiaオフィシャルサイトのサポートホームページ
https://www.sony.jp/xperia/product/SAR/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 5G／LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※3 5G／LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※4 この携帯電話機の総合照射比を算出するために使用した値は、側頭部：SAR 1.49 W/kg、PD（吸収電力密度）0 mW/cm^2、PD（入射電力密度）0 mW/cm^2、身体装着時：SAR 0.64 W/kg、PD（吸収電力密度）0.16 mW/cm^2、PD（入射電力密度）0.11 mW/cm^{2}です。

Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Phones

This model SO-51G mobile phone complies with the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves (*1). These technical regulations are consistent with the limits of human exposure to radio waves established by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the International Committee on Electromagnetic Safety (ICES) in the IEEE. The permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations set out the limits of exposure to radio waves as the SAR (Specific Absorption Rate, for up to 6 GHz) and the PD (Power Density, for

above 6 GHz), and the limits for the SAR and the PD for mobile phones are 2 W/kg and 2 mW/cm^2, respectively. If mobile phone supports simultaneous transmission of the frequency bands which should be evaluated in the SAR and PD, the technical regulations require that the Total Exposure Ratio (TER) should be used to indicate its compliance. The TER of less than or equal to 1 indicates the mobile phone satisfies the limits.

The TER for this mobile phone when tested for use near the head is 0.75 (*2), and that when worn on the body is 0.46 (*3)(*4). There may be slight differences of the SAR and PD values in individual product, but they all satisfy the limits. The actual values of SAR and PD of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding protection against human exposure to radio waves.
Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.docomo.ne.jp/english/product/sar/

Support page on Xperia official website: https://www.sony.jp/xperia/product/SAR/ (in Japanese only)

※1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.

※2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.

※3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.

※4 The SAR and PD values used for obtaining TER for this mobile phone are: SAR of 1.49 W/kg, Absorbed Power Density (APD) of 0 mW/cm^2 and Incident Power Density (IPD) of 0 mW/cm^2 for use near the head, and SAR of 0.64 W/kg, Absorbed Power Density (APD) of 0.16 mW/cm^2 and Incident Power Density (IPD) of 0.11 mW/cm^2 when worn on the body.

Radio-Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

FCC RF Exposure Information

THIS MODEL OF PHONE HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

This model of phone has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age or health. The radio-wave exposure guidelines

employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

The highest SAR value as reported to the authorities for this model of phone was 0.75 W/kg* when tested for use at the ear, 0.61 W/kg* for body-worn operation, and 0.60 W/kg for the Wi-Fi hotspot mode. For body-worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this phone or an accessory that contains no metal and that positions the phone at a minimum of 5 mm from the body.

For devices that include “Wi-Fi hotspot” functionality, SAR measurements for the device operating in the Wi-Fi hotspot mode were taken using a separation distance of 5 mm. When using the phone as a charger, it should be placed on a flat surface at a separation distance of 20 cm from the user in the charging mode.

Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.

** Before a model of phone is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed with the phone positioned at the ear or worn on the body as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model of phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this model of phone is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on FCC ID PY7-30515Z.

Additional SAR-related information can also be found on the FCC website at https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0 .

* In the United States, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

European RF Exposure Information

This model of phone has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all individuals, regardless of age or health.

The radio-wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.

While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

SAR data information for residents in countries/regions that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) grams of tissue (for example, the European Union, Japan, Brazil, and New Zealand):

For body-worn operation, this phone has been tested with no separation from the body and meets RF exposure guidelines at this distance. When using the phone as a charger, it should be placed on a flat surface at a separation distance of 20 cm from the user in the charging mode.

The highest SAR value for this model of phone when tested by Sony for use at the ear was 0.51 W/kg (10 g).

In the case where the phone is worn on the body, the highest tested SAR value was 0.80 W/kg (10 g).

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference.

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment.
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC ID

To view the regulatory compliance mark

1 **Find and tap [Settings]→[About phone]→[Certificates].**
- A regulatory compliance mark such as an FCC ID is displayed on the screen.

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国再輸出規制の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載したりするなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「dアカウント」「dカード」「d払い」「dフォト」「dポイントマーケット」「dメニュー」「FOMA」「LIVE UX」「my daiz」「WORLD CALL」「WORLD WING」「Xi／クロッシィ」「イマドコサーチ」「エリアメール」「おサイフケータイ」「オフィスリンク」「おまかせロック」「公共モード」「マチキャラ」「dmenu」ロゴ、「dカード」ロゴ、「d払い」ロゴ、「dフォト」ロゴ、「dポイントマーケット」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「スマホ故障診断」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「ドコモ留守電」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。Auracast™ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標です。ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Direct®はWi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。
- キャッチホンはNTT株式会社の登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- 「Qi」はワイヤレスパワーコンソーシアムの商標です。
- DisplayPortはVideo Electronics Standards Associationの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Googleマップ、Googleマップ ロゴ、Google Calendar、Google Calendar ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、Google ドキュメント、Google ドキュメント ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Googleスプレッドシート、Googleスプレッドシート ロゴ、Googleスライド、Googleスライド ロゴ、YouTube Music、YouTube Music ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google Meet、Google Meet ロゴ、Googleフォト、Googleフォト ロゴ、Googleウォレット、Googleウォレット ロゴ、Google One、Google One ロゴ、Google TV、Google TV ロゴ、Google レンズ、Google レンズ ロゴ、Google Home、Google Home ロゴ、Messages、Messages ロゴ、Gemini、Gemini ロゴ、Fitbit、Fitbit ロゴ、Gboard、Google Cast、Chromebook、Android Autoは、Google LLCの商標または登録商標です。
- 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。
  利用条件は利用規約（ディズニー）をご覧ください。
- FacebookおよびFacebookロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- Amazon、Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標または登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Microsoft Word」は、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、Dolby Atmos、ドルビー及びダブルD記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。
  非公開機密著作物。著作権 2012–2024 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術を本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- イーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i) MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および／または（ii）商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および／または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をVia Licensing Alliance LLCによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、Via Licensing Alliance LLCより入手できます（https://www.via-la.com/）。
- 「ソニー」および「SONY」、ならびに本書で使用される商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは称号です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
  patentlist.accessadvance.com

HEVC Advance™

- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

索引

あ

アカウントを削除 187
アカウントを追加 187
明るさのレベル 167
アクセスポイント
　初期化 152
　設定 151
アクセスポイントとテザリング 153
　イーサネットテザリング 155
　Bluetoothテザリング 155
　USBテザリング 154
　Wi-Fiアクセスポイント 153
アプリ
　アンインストール（docomo LIVE UX） 76
　アンインストール（Playストア） 132
　アンインストール（Xperiaホーム） 88
　一覧 89
　検索（docomo LIVE UX） 77
　検索（Xperiaホーム） 87
　設定 158
　ホーム画面に追加（docomo LIVE UX） 75
　ホーム画面に追加（Xperiaホーム） 87
　リセット 160
　docomo LIVE UX 77
　Xperiaホーム 87
アプリ画面
　かんたんホーム 84
　docomo LIVE UX 77
　Xperiaホーム 87
アプリ情報 158
アプリ選択画面 53
アプリデータを自動的に同期する 187
アプリの権限 53
アラーム 141
アラーム音 164
アラームの音量 164
暗証番号
　ネットワーク暗証番号 46
　PINコード 47
　PINロック解除コード（PUKコード） 47
あんしんセキュリティ 89
安全性と緊急情報 189
いたわり充電 38
位置情報 185
位置情報サービス 137
　オンにする 138
ウォレット 89
エリアメール 118
応答拒否メッセージ 99
おサイフケータイ 132
　おサイフケータイ対応サービス 134
　設定 134
　ロック 135
おすすめアプリ 89
おすそわけ充電 40
音設定 162
おやすみ時間 142
音声検索 71
音声入力 58
音量調節 164

か

かこって検索 …… 72
画質設定 …… 166
片手モード …… 70
壁紙
　設定 …… 168
　docomo LIVE UX …… 76
　Xperia ホーム …… 82
壁紙とスタイル …… 168
カメラ …… 124
　起動 …… 125
　クイックメニュー …… 129
　撮影モード …… 125
　写真撮影 …… 125
　設定 …… 129
　動画撮影 …… 127
　ハンドシャッター …… 126
　メニュー …… 129
画面設定 …… 165
画面の自動回転 …… 51
画面ロック …… 181
　解除 …… 43
　設定 …… 180
カレンダー …… 90
かんたんホーム …… 83
キーアイコン …… 50
キーボード …… 173
機内モード …… 153
緊急情報 …… 90
緊急速報「エリアメール」 …… 118
緊急通報 …… 95
近接センサー／照度センサー …… 29
クイック設定パネル …… 64
クラウドメニュー …… 107
言語と地域 …… 172
検索 …… 71
国際電話
　滞在先でかける …… 205
　日本からかける …… 97
国際ローミング …… 201
故障かな？と思ったら …… 209

さ

災害用キット …… 90
サイドセンスの設定 …… 174
ジェスチャー …… 173
システム …… 171
自分のプロフィール …… 109
指紋認証機能 …… 181
　登録 …… 182
　認証 …… 183
充電 …… 36
　パソコンを使って …… 41
　ワイヤレスチャージャーを使って …… 39
　ACアダプタを使って …… 38
　DCアダプタを使って …… 39
仕様 …… 223
初期設定 …… 43
スクリーンショット …… 52
スクリーンレコード …… 52
スケジュール
　作成 …… 140
　表示 …… 139
ステータスアイコン …… 61
ステータスバー …… 60
ストップウォッチ …… 142
ストレージ …… 169
　内部ストレージ …… 192

microSDカード ····· 33
スプレッドシート ····· 90
スマホ故障診断 ····· 90
スライド ····· 90
スリープモード ····· 42
世界時計 ····· 141
セキュリティ ····· 178
セキュリティの詳細設定 ····· 179
接続設定 ····· 157
接続の詳細設定 ····· 157
設定メニュー ····· 143
ソフトウェアアップデート ····· 217
ソフトウェアキーボード ····· 55

た

タイマー ····· 142
タスクマネージャ ····· 66
縦画面表示 ····· 51
単語リスト ····· 59
着信音 ····· 164
着信音の音量 ····· 164
着信拒否の設定（ブロック中の電話番号） ····· 104
通知 ····· 161
通知アイコン ····· 61
通知音 ····· 164
通知音の音量 ····· 164
通知パネル ····· 62
通話音量
設定 ····· 164
通話中 ····· 100
通話設定 ····· 104
通話履歴 ····· 101
削除 ····· 102
電話帳に登録 ····· 101
ディスプレイ（タッチスクリーン） ····· 49
スクロール ····· 49
スワイプ ····· 49
タップ ····· 49
ドラッグ ····· 49
ピンチ ····· 50
フリック ····· 49
ロングタッチ ····· 49
データセーバー ····· 156
データ保管BOX ····· 90
テキスト編集 ····· 59
テキスト読み上げの設定 ····· 191
テザリング機能 ····· 153
デバイス情報 ····· 177
電源を入れる／切る ····· 42
伝言メモ ····· 103
電卓 ····· 90
電池残量 ····· 37
電波防護への適合性 ····· 225
電話 ····· 95
アプリ起動中 ····· 99
受ける ····· 98
応答拒否 ····· 99
音声出力先 ····· 100
かける ····· 95
スピーカー ····· 100
設定 ····· 104
着信音量 ····· 98
着信画面 ····· 98
着信拒否 ····· 104
通話終了 ····· 100
通話中画面 ····· 100
伝言メモで応答 ····· 98
保留 ····· 100
ミュート ····· 100

録音 …… 100
電話帳 …… 105
インポート …… 109
エクスポート …… 109
お気に入り …… 107
自分のプロフィール（編集）…… 109
新規登録 …… 106
全件データ送信（共有）…… 109
電話をかける …… 106
ラベル（グループ）設定 …… 108
連絡先を編集 …… 107
ドキュメント …… 90
トグル入力 …… 58
時計 …… 141
ドコモ電話帳 …… 105
ドコモのサービス／クラウド …… 186
ドコモメール …… 110
ドライブ …… 91

な

ニュース …… 91
ネットワークとインターネット…… 144

は

バイブレーション
音設定 …… 162
マナーモード …… 51
パスワードとアカウント …… 187
バッテリー …… 170
非接触型決済 …… 135
日付と時刻 …… 175
フォト …… 130
不在着信 …… 102
ブックマーク …… 122
プライバシー …… 183
フリック入力 …… 58
ブロック中の電話番号（着信拒否の設定）
…… 104
分割画面 …… 67
防水／防塵性能…… 23
ホームアプリ
かんたんホーム…… 83
切り替え …… 73
docomo LIVE UX …… 73
Xperiaホーム …… 80
ホーム画面 …… 73
ウィジェット（Xperiaホーム）…… 82
壁紙（docomo LIVE UX）…… 76
壁紙（Xperiaホーム）…… 82
かんたんホーム…… 83
設定（docomo LIVE UX）…… 76
設定（Xperiaホーム）…… 83
フォルダ（Xperiaホーム）…… 81
docomo LIVE UX …… 74
Xperiaホーム …… 80
ホーム（電話）画面 …… 101
ポップアップウィンドウ …… 68

ま

マーケット …… 92
マップ …… 138
マナーモード …… 51
マルチウィンドウ…… 67
ミュージック …… 136
再生 …… 136
メッセージ …… 116
メディアの音量…… 164
メモ …… 91
モード …… 165

文字入力 ····· 54
設定 ····· 60
ツールアイコン ····· 57
入力方法 ····· 56
編集 ····· 59

や

ユーザー ····· 175
ユーザー補助 ····· 189
ユーザーやゲストが利用できる機能 ····· 175
優先ネットワークの種類 ····· 204
横画面表示 ····· 51

ら

リセット ····· 176
連絡先一覧画面 ····· 106
ロック画面の設定 ····· 167

英数字・記号

Amazonショッピング ····· 91
Bluetooth ····· 194
オン／オフにする ····· 194
機器名の変更 ····· 194
受信 ····· 197
送信 ····· 197
ブロードキャスト ····· 196
ペア設定 ····· 194
Booking.com ····· 91
Chrome ····· 119
シークレットタブ ····· 120
設定 ····· 121
タブの追加 ····· 120
テキストの検索 ····· 121
ブックマーク ····· 122
ブラウザアプリの変更 ····· 119
履歴 ····· 123
リンク ····· 122
Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Phones ····· 226
Creators' App ····· 91
dアカウント ····· 45
d払い ····· 91
dフォト ····· 91
dポイント ····· 91
dポイントマーケット ····· 92
dメニュー ····· 131
dcard ····· 92
Digital Wellbeing、保護者による使用制限 ····· 188
Disney DX ····· 92
docomo Starlink Direct ····· 198
European RF Exposure Information ··· 230
Facebook ····· 92
FCC ID ····· 232
FCC RF Exposure Information ····· 228
FCC Statement for the USA ····· 231
Files ····· 192
Find Hub ····· 92
Fitbit ····· 92
Game enhancer ····· 92
Gboard ····· 60
Gemini ····· 92
Gmail ····· 117
Google ····· 144
Googleアカウント ····· 45
Google音声検索 ····· 71
Google検索 ····· 71
Googleマップ ····· 138

現在地検出 …… 139
Google One …… 93
Google TV …… 93
GPS機能 …… 137
オンにする …… 138
Home …… 93
iDアプリ …… 135
Kindle …… 93
LE Audio …… 196
LinkedIn …… 93
Meet …… 93
microSDカード …… 33
フォーマット …… 170
マウント解除 …… 170
my daiz …… 93
my daiz NOW …… 79
NFC …… 132
PINコード …… 47
PINロック解除コード（PUKコード） …… 47
Playストア …… 131
アンインストール …… 132
インストール …… 132
PS App …… 93
QWERTY …… 56
Reader by Sony …… 93
SIM …… 148
SIMカード …… 31
取り扱い上のご注意 …… 19
SIMロック …… 47
SmartNews for docomo …… 78
SMS …… 113
Sony | Sound Connect …… 93
Sound Connect …… 93
STAMINAモード …… 170
USBストレージ …… 169
USB接続 …… 199
Video Creator …… 94
VPN …… 156
Wi-Fi …… 145
Wi-Fi Direct …… 148
WORLD CALL …… 97
WORLD WING …… 201
Xperia Lounge …… 94
YouTube …… 94
YT Music …… 94
12キー …… 56
＋メッセージ …… 110
公式アカウント …… 115
受信 …… 114
スレッドの削除 …… 114
設定 …… 115
送信 …… 112
転送 …… 114
メッセージの削除 …… 114
SMSアプリの変更 …… 116

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

●マナーモード（P.51）
着信音や操作音など、本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

●公共モード（電源OFF）
電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
詳しい設定方法についてはドコモのホームページをご確認ください。

●バイブレーション（P.163）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

●伝言メモ（P.103）
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。
詳しい設定方法についてはドコモのホームページをご確認ください。

オンラインでのご利用料金・データ通信量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から　　dメニュー →［My docomo］
パソコンから　My docomo（https://mydocomo.docomo.ne.jp/top）

※ システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
※「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントの認証」が必要です。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合

「＋」を画面表示　-81-3-6832-6600（無料）

（「＋」は「0」をロングタッチします。）
※「＋」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号　-81-3-6832-6600（有料）

※日本向け通話料がかかります。
※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱拠点へご持参ください。



ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ

お問い合わせはこちら▶

ドコモのホームページ
https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話専用窓口（無料）

151 ※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ・修理お申込み先

ドコモの携帯電話専用窓口（無料）

113 ※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などから

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

- ●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- ●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
- ●オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモのホームページ
https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/repair/

危険です、歩きスマホ。

キケン！水ぬれ充電

あぶない！電池への衝撃

Li-ion 00

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　ソニー株式会社
’26.4（1版）5-073-559-01（1）

SONY®